

水戸の教育

令和6年度版



みとちゃん

水戸市教育委員会



教育長
志 田 晴 美



委 員
(教育長職務代理者)
富 田 教 代



委 員
篠 崎 和 則



委 員
丸 山 陽 子



委 員
内 田 和 子

職 名	氏 名	就任年月日	期 数	備 考
教 育 長	志 田 晴 美	令和元年12月27日	2 期	行政経験者
委 員 (教育長職務代理者)	富 田 教 代	平成28年 7 月 1 日	3 期	大 学 教 授
委 員	篠 崎 和 則	平成29年12月21日	2 期	弁 護 士
委 員	丸 山 陽 子	令和元年10月 4 日	2 期	医 師
委 員	内 田 和 子	令和 5 年 4 月 1 日	1 期	元中学校長

は じ め に

本市の教育行政の推進にあたっては、知性にとみ、心身ともに健全で、調和のとれた人間の形成を目指し、水戸市教育施策大綱の基本理念に掲げる「水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成」を図るため、先人の教えである先見性や実践性、国際的な視野を念頭に置き、近世の教育遺産群として日本遺産に認定された弘道館の魁の精神を受け継ぐ文教の府にふさわしい、水戸ならではの魅力ある教育を推進しております。

ここに、「水戸の教育（令和6年度版）」を発行いたしましたので、本市の教育行政の沿革と現況を御理解いただく上で御活用いただければ幸いです。

令和6年7月

水戸市教育委員会教育長 志 田 晴 美

梅が丘小学校（長寿命化改良屋内運動場完了）



柳河小学校 小規模特認校制度開始



目 次

教育行財政

水戸市教育施策大綱	1
教育委員会のあゆみ	2
令和6年度水戸市教育行政方針	12
教育委員会機構	24
令和6年度当初予算	26

学校教育

学校教育の振興	28
総合教育研究所	31
就学奨励	54
学校保健	56
学校安全	58
学校給食	59
学校施設	64

社会教育

生涯学習の推進	70
みと好文カレッジ	72
市民センターにおける生涯学習活動の推進	77
図書館	83
青少年教育の推進	88
青少年の健全育成	88
青少年の非行防止	90
少年自然の家	93
文化の継承と振興	96
歴史的資源の保全と活用	96
博物館	105
大塚農民館	108
大串貝塚ふれあい公園	109
内原郷土史義勇軍資料館	111
くれふしの里古墳公園	111

資 料

附属機関等一覧	112
水戸市立小中学校及び義務教育学校・幼稚園・ 幼稚園型認定こども園・社会教育施設位置図	114

教育目標 知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる

基本理念 水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成を図るため、先人の教えである先見性や実践性、国際的な視野を念頭に置き、近世の教育遺産群として日本遺産に認定された弘道館の魁の精神を受け継ぐ文教の府にふさわしい、水戸ならではの魅力ある教育を推進する。

基本的方向1 子どもをしっかりと育てる環境づくりの推進

基本目標1 人間としての基礎を育む家庭づくり

家庭において、親子などの深い情愛をもったふれあいを通して、社会的なマナーを身につけ、豊かな情操等を育てよう、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭の教育力の向上を図ります。

基本目標2 安心で安全な地域づくり

地域住民によるボランティア活動等を通して、地域で子どもを守り育てる体制づくりに努めるとともに、放課後を含めて、安心して過ごせる環境を整備します。

基本目標3 子どもをしっかりと育てる学校づくり

子どもの心身の健やかな成長と発達を支援するため、安全で快適な教育環境の整備に努めるとともに、人間形成の上で重要な幼児期の教育を基盤として、地域の理解と参画を得ながら、より質の高い学校教育を推進します。さらに、中核市としての特色を生かした研修を実施し、教員の指導力や資質の向上を図るとともに、誇りや生きがいをもって子ども一人一人と確実に向き合える環境を整えます。

基本的方向2 一人一人の確かな学びと夢を実現する水戸スタイルの教育の推進

基本目標4 確かな学びと学習意欲を高める教育

子どもの「生きる力」の育成を目指し、確かな学力の定着や自ら学ぼうとする意欲を育成する「チャレンジプラン」を推進し、基本的生活習慣の確立や個に応じた学習指導の充実を図ります。

基本目標5 世界で活躍できる資質を磨く教育

英会話力や情報活用能力の向上を図るとともに、防災リーダーなど次世代リーダーを育成する「グローバルプラン」を推進し、新しい時代を切り拓き、一人一人の夢の実現に向かって世界で活躍できる資質・能力を育成します。

基本目標6 郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育

郷土への理解と関心を深める教育や水戸芸術館を活用して豊かな感性を育む教育を充実するとともに、さまざまな体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進し、社会に貢献しようとする態度や困難を乗り越える強い精神力を育成します。

基本目標7 いのちや人権を大切にする教育

いじめの未然防止や解決に向けて取り組む「ふれあいプラン」を推進し、いのちや人権を尊重する態度やいじめを許さない気運を醸成するとともに、規範意識や思いやりの心を育成します。

基本的方向3 参画と協働の人づくりの推進

基本目標8 社会に参画する若者づくり

地域と一体となって、若者の健やかな成長を促し、豊かな人間性や社会性を備え、さまざまな地域活動へ積極的に参画し、社会で躍動する自信あふれる若者を育成します。

基本目標9 社会や地域のために自ら活動する人づくり

市民一人一人があらゆる場所、機会において、自ら学び、その成果を地域に生かす環境づくりを進め、変化に対応して新たな価値を創造し、地域社会を牽引する人材を育成します。

基本目標10 歴史を学び未来へ受け継ぐ人づくり

市民との協働により、風格ある歴史まちづくりを進め、郷土への誇りと愛着を深めるとともに、歴史や文化、芸術に親しみ、国際社会で活躍できる人材を育成します。

水戸市長 高橋 靖

教育委員会のあゆみ

年月日	事 項	年月日	事 項
昭20. 8. 2	戦災により市立図書館焼失（昭19. 10. 1 柵町1丁目に開館）	4. 1	赤塚村合併により河和田小、上中妻小、山根小、赤塚中、山根中の各学校と赤塚公民館編入
21. 5. 1	県立水戸商業学校の教室の一部を借用し、市立図書館再開		中学校の統合が進み、吉田中学校、酒門中学校を統合して第四中学校を開校
12	市庁舎、南三の丸に再建	34. 6.	五軒小学校に初めて水泳プール完成
22. 3. 31	学校教育法・教育基本法公布	11. 3	水戸市歌制定
4. 1	市立女子専門学校旧42部隊跡に開設（昭27. 3. 31 廃校）	35. 5. 1	この年、市立小学校20校（内分校1校）375学級、児童数17,097人、中学校10校167学級、生徒数8,271人、幼稚園7園22学級、園児数983人
	6・3制義務教育実施される		市立図書館巡回文庫開設
23. 3. 31	市立高等女学校（現水戸三高）県移管となる（大15年創立）	7	水戸市体育協会発足
	第一中学校、第三中学校開校	9. 15	第一中学校分校を堀町に設置
7. 15	教育委員会法公布	36. 4. 1	第1回市体育祭実施（以後毎年実施）
9. 21	「年少者の不良化防止に関する条例」を全国に先がけて水戸市が制定・施行する（昭51. 3. 31 廃止）	10. 10	第一中学校分校を第五中学校として独立
24. 4. 1	第二中学校開校	12. 25	水戸市立小中学校区審議会発足
4. 5	水戸市子どもの歌制定	37. 6. 1	副読本「みと」発行、小学3年生に配布（以後毎年実施）
4. 30	この年、市立小学校6校169学級、児童数8,318人、中学校3校85学級、生徒数3,893人	7. 1	行政組織の見直しにより、学校教育課に学校施設係を新設
5. 1	三の丸、五軒、新荘、城東、浜田、常磐に市立幼稚園再開園	38. 3. 30	副読本「水戸」発行、中学1年生に配布（以後毎年実施）
25. 1. 15	市での初の成人式举行（於茨城会館）	3. 31	渡里中学校を廃校し第五中学校へ統合
26. 2	小学校で完全給食（4校）開始	4	教科書無償給与始まる
27. 3. 29	弘道館国の特別史跡に指定される	7. 25	公民館吉田分館開設
4. 1	緑岡村合併により緑岡小・中学校編入	9. 1	竹隈公民館開設
8. 22	市文化財保護条例を制定	39. 3. 18	新荘小学校北西校舎焼失（昭40. 11 鉄筋校舎復旧工事完成）
10. 5	教育委員選挙実施	4. 1	見川幼稚園開設（市移管）
11. 1	水戸市教育委員会発足 事務局機構2室3課（教育長室、指導室、庶務課、学校教育課、社会教育課）		青少年センター設置
28. 4. 6	新荘小学校に初めて特殊学級を設置	40. 2. 1	緑岡小学校見川分校を見川小学校として独立
11	弘道館内の八卦堂再建		行政組織の見直しにより、教育次長をおき、保健体育課（体育係、保健給食係）を新設、社会教育課に青少年係を新設、学校教育課の学校教育係を学事係に、同課学校施設係を施設係に改称
12. 4	城東小学校焼失（昭29. 7 復旧工事完成）	4. 1	小・中学校心身障害児判別委員条例制定
29. 4. 30	市庁舎新築のため水高跡に市役所仮事務所を開設	4. 30	敦賀市と姉妹都市の盟約を結ぶ
5. 1	市立図書館、県立水戸商業高校同窓記念館に移転開設	11. 3	第1回市民運動会実施（以後毎年実施）
30. 4. 1	上大野村、柳河村、渡里村、吉田村、酒門村、河和田村（一部）合併により、上大野小・中学校、柳河小・中学校、渡里小・中学校、吉田小・中学校、酒門小・中学校及び渡里公民館編入	41. 4. 1	五軒小学校に初めて「ことばの教室」を開設
	緑岡幼稚園開園	4	留守家庭児童会始める（石川小）
6. 5	新市庁舎竣工（南三の丸）	9. 28	水戸市学校教育振興会発足
8. 1	中央公民館設置（後に梅香公民館と改称）		新荘小学校（東、東南校舎、給食室）、同幼稚園舎焼失（昭42. 8 鉄筋校舎復旧工事完成）
11	五軒小学校校舎の一部が市で初めての鉄筋校舎となる	42. 3	姉妹都市敦賀市と少年交流（以後毎年相互に派遣）
31. 4. 1	石川小学校開校	5	上大野小学校に初めて防音校舎完成
	学校統合により柳河中学校を廃校し、第一中学校、第二中学校に編入		見川小学校を最後に市内全小学校完全給食へ
4. 11	行政組織の見直しにより、教育長室を廃止	43. 4. 1	千波公園内にテニスコート開設
10. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行		公民館柳河分館を市役所連絡所に併設
32. 4. 1	上大野中学校を第三中学校へ統合		寿幼稚園開園
	緑岡小学校寿分校を寿小学校として独立	5. 1	社会センター竣工開館（勤労青少年ホーム併設）（昭56. 9. 1 中央公民館と改称）
6. 1	飯富村、国田村合併により飯富小・中学校、国田小・中学校編入	9	明治百年記念事業として第1回文化祭（後に芸術祭と改称）開催（以後毎年開催）
33. 2. 28	好文亭復元工事完成	10. 1	交通安全都市宣言
		44. 4. 1	奨学金支給制度発足（高校生対象）

年月日	事 項	年月日	事 項
44. 9. 24	水戸市総合計画策定		センター) 開設
10. 1	柳河市民運動場開設	11. 3	市民総合運動会実施 (各地区運動会代表参加, 以後昭和 61 年度まで実施)
45. 3. 31	学校法人の助成に関する条例制定	51. 3. 11	水戸市第 2 次総合計画策定
4. 1	赤塚公民館大塚町に移転	4. 1	梅が丘小学校開校, 梅が丘・酒門・飯富各幼稚園開園
	青柳公園を県より移管		見和公民館開設
5	学校施設夜間開放始める (中学校体育館 5 校)	12. 21	米国アナハイム市と国際親善姉妹都市の盟約を結ぶ
5. 1	公民館上水戸分館開設, 上大野・酒門・飯富・国田の各公民館分館を連絡所に併設	52. 4. 1	中城・吉田が丘各幼稚園開園
	この年, 市立小学校 20 校 423 学級, 児童数 15, 364 人, 中学校 10 校 176 学級, 生徒数 6, 997 人, 幼稚園 9 園 31 学級, 園児数 1, 372 人	9. 4～	第 1 回市民軟式野球大会実施 (以後毎年実施)
5. 5	公民館宮西分館を開設	53. 3. 7	第 1 回親善都市水戸・高松児童生徒作品展開催 (以後毎年実施)
5. 11	青柳公園内に体育施設管理事務所を設置	4. 1	双葉台小中学校開校, 双葉台・柳河各幼稚園開園
7. 1	青柳公園内に市民プール開設		水戸市教育研究所開設
	全小中学校にプール設置完了		米飯給食 (週 1 回) を導入
8. 31	私立幼稚園在籍幼児の保護者に対する補助金支給制度発足	10. 1	双葉台公民館開設
12. 1	水戸市民憲章制定	11. 19	桜川サイクリングロード完成
46. 3. 31	国指定文化財薬王院本堂全面修理	54. 1. 22	水戸市総合運動公園建設事務所設置
4. 1	見川中学校開校	4. 1	上水戸分館を改築し, 常磐公民館として開設
5. 22	公民館緑岡分館開設		堀幼稚園開園
6. 1	桜川公民館開設	6. 16	東野市民運動場開設
6. 30	青柳公園内に県立屋内水泳場設置	11. 3	「水戸郷土かるた」制作
10. 1	市派遣内地留学生制度発足 (派遣先茨城大学)	12. 1	寿公民館開設
11. 1	青柳公園内に市民プール合宿所設置	55. 3. 29	水戸市青少年育成連絡協議会発足
47. 1. 8	公民館城東分館開設	4. 1	山根幼稚園開園
4. 1	石川幼稚園開園		上大野公民館開設, 宮西分館を増築し, 宮西公民館として開設
	公民館谷津分館開設		上水戸児童遊園開園 (国際児童年記念)
	城東市民運動場開設		五軒小学校に難聴学級「きこえの教室」開設
7. 10	行政組織の見直しにより, 庶務課を総務課に改称し, 庶務係, 経理係を設置		米飯給食を週 1 回から週 2 回に増やす
9. 15	市庁舎移転 (中央 1 丁目 4 番 1 号)	4. 15	移動図書館車「こうぶん」運行開始
11. 1	学校給食共同調理場開設, 中学校での完全給食始める	5. 1	この年, 市立小学校 23 校 583 学級, 児童数 22, 423 人, 中学校 11 校 224 学級, 生徒数 9, 036 人, 幼稚園 22 園 54 学級, 園児数 1, 950 人
48. 2. 10	「水戸の歴史」発行, 小学 5 年生に配布 (以後毎年実施)		教育研究所に教育相談室を開設
4. 1	学校無人化実施 (小中学校 21 校)	6. 1	総合運動公園軟式野球場開設 (見川町)
4. 7	小吹野球場開設	7. 1	総合運動公園市民球場開設
6. 18	新荘小学校に初めて「情緒障害児学級」を開設	7. 7	水戸市スポーツ指導員本部発足
8. 27	市立図書館, 末広町に移転開設	8. 10	児童生徒のコンピュータによる健康度判定実施 (以後毎年実施)
11. 1	田野市民運動場開設	56. 4. 1	笠原小学校開校, 笠原幼稚園開園
49. 4. 1	山根中学校を赤塚中学校へ統合		渡里公民館改築, 城東分館を増築し城東公民館として開設, 飯富公民館開設
4. 13	高松市と親善都市の盟約を結ぶ		水戸市総合運動公園管理事務所開設
5. 3	渡里小学校管理棟の 2 教室焼失		飯富市民運動場開設
6. 23	市民体育館開設 (昭 48. 1 着工)	6. 1	総合運動公園テニスコート開設
9～10	第 29 回国民体育大会開催	6. 14	総合運動公園相撲場開設
11. 23	国体記念市内一周歩く会実施 (以降毎年実施)	7. 1	渡里市民運動場開設
	第 10 回全国身体障害者スポーツ大会開催		ちとせ市民運動場開設
50. 1. 15	行政組織の見直しにより, 青少年課 (育成係, 補導係) を新設, 社会教育課に文化係を新設	9. 1	小吹野球場を清掃第一課へ移管
4. 1	千波小学校開校, 千波・上大野・国田各幼稚園開園		行政組織の見直しにより, 保健体育課を体育課に, 同課の保健給食係を保健係に, 学校給食共同調理場の庶務係を管理係に, 社会センターを中央公民館に改称し, 青少年課の補導係, 少年自然の家の庶務係及び総合運動公園建設事務所を廃止
4. 15	緑岡分館を増築し, 緑岡公民館として開設		文化福祉会館を市長部局へ移管
	交通遺児就学奨励金支給制度発足 (小中学生対象)		
	少年自然の家開設		
8. 10	親善都市高松市への文化使節団派遣 (茨城交響楽団)		
9. 12	文化福祉会館 (障害者センター, 勤労婦人センター, 勤労青少年ホーム, 児童文化センター, 文化		

年月日	事 項	年月日	事 項
9. 24	市指定文化財（現県指定）旧水戸城城内御門復元（水戸一高内）	63. 4. 1	元石川市民運動場夜間照明塔設置
10. 3	三の丸幼稚園にことば・こころの教室「ひまわり学級」開設		中央公民館を廃止し、同所に三の丸公民館開設
11. 1	吉田公民館開設	5. 9	五軒公民館開設
57. 4. 1	赤塚小学校開校		常磐幼稚園にことば・こころの教室「すぎの子学級」開設
	新庄、千波各公民館開設		若宮市民運動場開設
5. 2	身体障害者（肢体障害１級～３級）に郵送による図書の貸出し開始	10. 1	山根公民館開設
5. 11	15周年記念水戸市芸術祭開催	平1. 4. 1	行政組織の見直しにより、社会教育課の文化係を文化振興係に、水戸市立図書館を水戸市立中央図書館に改称
9. 1	飯富市民運動場開設		米飯給食を週２回から週３回に増やす
11. 7	青柳公園改修屋内プール完成	4. 2	東部図書館開設
11. 11	第１回貧血検査実施９校（小学校６、中学校３）	8. 1	図書館の電子計算機本稼働
58. 4. 1	笠原、石川各中学校開校	2. 5. 1	中学校全校（１３校）に英語指導助手を配置
	（任意）水戸市スポーツ振興協会設立		この年、市立小学校２７校５３１学級、児童数１７,８６２人、中学校１３校２４９学級、生徒数９,３７６人、幼稚園２３園３９学級、園児数１,０６３人
	体育施設の管理運営を水戸市スポーツ振興協会へ委託		中学校３校で初めて船中泊を実施
	大塚池公園野球場開設	5	
	身体障害者（内機能障害１級～３級）に郵送による図書の貸出し開始	3. 4. 1	千波中学校開校
5. 1	柳河、笠原各公民館開設	4. 3. 2	小学校２５校の給食用食器改善実施（以後４年計画で樹脂製に改善）
6. 9	田野市民運動場へ透水管布設工事が完成		総合運動公園テニスコート１２面を砂入り人工芝コートに改修
10. 1	酒門公民館開設		常澄村合併により、下大野小・幼、稲荷第一小・幼、稲荷第二小・幼、大場小・幼、常澄中、常澄中央公民館、大串貝塚ふれあい公園、常澄健康管理トレーニングセンター、常澄運動場、常澄学校給食センターを編入
59. 4. 1	吉沢小学校開校	4. 23	西部図書館開設
	見川、国田各公民館開設		石川市民運動場開設
	国田市民運動場開設	5. 16	緑岡幼稚園にことば・こころの教室「たんぽぽ学級」開設
5. 1	千波テニスコート２面を全天候型舗装へ改修	5. 4. 16	五軒公民館移転開設
60. 3. 17	国際科学技術博覧会（「科学万博－つくば’ 85」）開催	5	市内全中学校で船中泊を実施
4. 1	堀原小学校開校、五軒・上中妻各小学校移転開校	11. 1	水戸市生涯学習推進本部設置
	五軒幼稚園移転開園		水戸市生涯学習推進基本計画策定
	赤塚、吉沢各公民館開設	6. 3. 31	三の丸、中城、双葉台、堀幼稚園を廃園
	赤塚公民館新設により、旧赤塚公民館は上中妻公民館に名称変更（赤塚連絡所に併設）	4. 1	行政組織の見直しにより、指導室と教育研究所を一体化し総合教育研究所開設、三の丸公民館にみと好文カレッジ開設、社会教育課を生涯学習課に改称
7. 1	ME F（英語指導主事助手）を招致		幼稚園長専任制導入
11. 2	図書館整備計画策定		ことば・こころの教室「ひまわり学級」を三の丸幼稚園から浜田幼稚園に移転
11. 5	田野市民運動場に夜間照明塔設置（４面）		水戸市立幼稚園全園２年保育実施
11. 26	移動図書館「こうぶん２号」運行開始	6. 13	水戸市第４次総合計画策定
61. 2. 27	第１回水戸市学校保健大会開催	6. 30	総合運動公園市民球場スコアボードを磁気反転式スコアボードに改修
3. 25	青柳公園市民プールをタイル貼りに改修	12. 20	三の丸公民館を旧教育研究所跡へ移転開設
3. 31	少年自然の家多目的ホール完成		旧三の丸公民館をみと好文カレッジに名称変更
4. 1	市立幼稚園２年保育実施（上大野・国田・柳河・山根各幼稚園）	7. 3. 31	新庄幼稚園を廃園
	上中妻公民館、上中妻小学校跡地へ新築移転	4. 1	国田小学校、国田中学校移転開校
	財団法人水戸市スポーツ振興協会発足	7. 19	総合運動公園に砂入り人工芝コート５面を増設
	小吹運動公園屋内プール・体育館・野球場開設	7. 29	宮西公民館を石川公民館に名称変更し、移転開設
4. 17	大塚農民館開設	8. 3. 25	少年自然の家キャンプ場・飯ごう場増築
6. 5	水戸市第３次総合計画策定	4. 1	稲荷第二小学校移転開設
62. 4. 1	水戸市立競技場開設		市立博物館に新博物館開設準備室を設置
	上中妻市民運動場開設		
	堀原公民館開設		
6. 10	千波公園テニスコート開設（近代美術館建設に伴う移転）		
7. 1	元石川市民運動場開設		
10. 1	元吉田市民運動場開設		
10. 25	「市民総合運動会」を「市民スポーツの祭典」に名称変更（以後平成１０年度まで実施）		

年月日	事 項	年月日	事 項
9. 2. 1	大場公民館開設	16. 3. 24	構造改革特別区域計画「水戸市幼・小・中英会話教育特区」認定
3. 8	総合運動公園市民球場照明塔完成	3. 29	茨城大学教育学部と水戸市教育委員会との地域連携に関する協定締結
3. 15	少年自然の家創作のやかた完成	5. 1	飯富市民運動場廃止
4. 1	稲荷第二幼稚園移転開設	12. 20	双葉台小学校管理・教室棟の1階特別支援教室及び廊下の部分焼失
9. 1	稲荷第二公民館開設	17. 2. 1	内原町合併により鯉淵小・幼、妻里小・幼、内原小中、内原中央公民館、内原くれふしの里古墳公園、内原郷土史義勇軍資料館、内原ヘルスパーク、鯉淵市民運動場、中妻市民運動場及び内原市民運動場を編入
11. 26	三の丸小学校校舎・プール完成	2. 10	新庄小学校校舎及び屋内運動場完成
12. 10	図書館の電子計算機新システム本稼動	3. 7	水戸市第5次総合計画策定
10. 7. 13	水戸市青少年育成連絡協議会を解散し、水戸市青少年育成推進会議に再編	3. 11	双葉台小学校開放学級の資料室及び廊下の部分焼失
10. 29	常澄中学校校舎完成	3. 23	稲荷第一幼稚園園舎完成
11. 2. 1	水戸市立図書館基本計画策定	4. 1	中央・東部・西部図書館内奉仕係を図書係に、中央図書館館外奉仕係を普及係に改称、同館に新館開設準備係を設置
3. 19	酒門小学校特別教室棟完成	6. 1	教育委員会ホームページ運用開始
	国田市民運動場、渡里市民運動場廃止	18. 1. 11	総合教育研究所ホームページから安全対策情報の提供開始
4. 1	第二中学校に「言語障害通級学級」開設	4. 1	行政組織の見直しにより、生涯学習課に文化財係を設置、みと好文カレッジに指導係を設置、全公民館（内原地区を除く。）に市民センターを併設、中央図書館普及係を同図書係に統合
	行政組織の見直しにより、体育課に市民運動場建設事務所を設置		体育施設の指定管理者に（財）水戸市スポーツ振興協会を指定
10. 31	市制施行110周年記念千波湖スポーツフェスティバル実施（以後毎年実施）		見和図書館開設
11. 11	生涯学習都市宣言	5. 15	各市立幼稚園で預かり保育の実施
12. 1. 1	下大野公民館開設	19. 3. 29	内原幼稚園園舎完成
	常澄中央公民館を稲荷第一公民館に名称変更	3. 31	上大野、柳河、山根、下大野、大場幼稚園を廃園
4. 1	行政組織の見直しにより、体育課に全国高校総体推進室を設置	4. 1	行政組織の見直しにより、事務局の課を「総務課（庶務係・経理係）、学校教育課（学事係・施設係）、生涯学習課（社会教育係・文化振興係・文化財係）、青少年育成センター（育成係・相談指導係）、体育課（体育係・保健係）」から「教育企画課（総務係・教育企画係）、学校教育課（学事係・保健給食係）、学校施設課（経理係・施設係）、生涯学習課（社会教育係・青少年育成係）、文化振興課（文化振興係・文化財係）、スポーツ振興課（市民スポーツ係・体育施設係）」に改編するとともに、学校給食共同調理場管理係を同調理係に統合し、総合教育研究所管理係を放課後児童対策係に、同指導係を学校教育指導係に改称
4. 28	移動天文車「ミレニアムスター」稼動		鯉淵幼稚園を内原幼稚園に名称変更し、移転開設（内原保育所との幼保一体化施設）
5. 1	この年、市立小学校31校456学級、児童数14,423人、中学校15校218学級、生徒数7,504人、幼稚園22園47学級、園児数1,232人	12. 20	水戸市立サッカー・ラグビー場1面を人工芝に改修
12. 26	第三中学校校舎完成	20. 3. 18	第二中学校改築1期校舎完成
13. 3. 15	小中学校インターネット接続拠点整備	3. 31	移動図書館の廃止
4. 1	行政組織の見直しにより、体育課全国高校総体推進室を廃止し、全国高校総体課（総務広報係、競技式典係、保健輸送係）を新設	4. 1	行政組織の見直しにより、文化振興課に世界遺産推進係を設置するとともに、博物館管理係を同学芸係に統合
	市立博物館新博物館開設準備室を廃止		みと好文カレッジを総合教育研究所内に移転
7. 2	水戸市生涯学習推進基本計画改定	4. 20	常澄図書館開設
7. 12	一中節三味線が重要無形文化財となり、宇治文蝶氏が人間国宝となる	6. 9	新庄公民館を移転開設
9. 1	稲荷第一幼稚園仮設園舎に移転		
11. 30	学校間ネットワーク「まごころネット」運用開始		
12. 3	水戸市青少年育成基本計画策定		
14. 4. 1	行政組織の見直しにより、体育課市民運動場建設事務所を廃止		
	水戸市青少年育成推進本部設置		
	水戸市立サッカー・ラグビー場（ツインフィールド）及び河和田市民運動場開設		
6. 1	小中学校に学校評議員設置		
8	全国高等学校総合体育大会開催（市内開催競技：ソフトテニス、弓道、フェンシング）		
	水戸市基礎学力調査実施（平成14年～平成16年）		
15. 2. 6	稲荷第一小学校校舎完成		
4. 1	行政組織の見直しにより、青少年課育成係と青少年センターを再編し、青少年育成センター（育成係、相談指導係）を設置するとともに、全国高校総体課及び常澄学校給食センターを廃止		
	双葉台公民館を移転開設		
6. 1	幼稚園に学校評議員設置		
10. 1	いばらきスポーツ施設予約システム運用開始		

年月日	事 項	年月日	事 項
12. 19	水戸市幼児教育振興基本計画策定		白梅保育所を移転開設
21. 3. 27	水戸市学校給食基本計画策定		単独調理校(常磐小)の調理等の業務を民間委託化
4. 1	行政組織の見直しにより、文化振興課に世界遺産推進室を設置するとともに、総合教育研究所教育相談係を支援相談係に改称	6. 6	鯉淵小学校改築校舎完成
8. 21	市立競技場のネーミングライツスポンサーが決定	27. 3. 1	旧水戸城大手門等復元整備促進実行委員会発足
10. 26	水戸市新生涯学習推進基本計画策定	3. 25	水戸市学校給食基本計画(第2次)策定
	水戸市新図書館基本計画策定	3. 31	浜田幼稚園改築園舎完成
11. 3	市立競技場大規模改修工事竣工、ネーミングライツにより、呼称を「ケーズデンキスタジアム水戸」とする	4. 1	行政組織の見直しにより、教育部を設置
12. 28	常磐小学校改築校舎完成		幼児教育課の教育・保育新制度準備係を廃止し、認定・収納係を設置
22. 1. 26	第二中学校改築2期校舎完成		文化課を歴史文化財課に改称し、芸術文化係を文化交流係として市長部局文化交流課へ移管
2. 2	第二中学校改築屋内運動場及び武道場完成		スポーツ課を市長部局へ移管
2. 4	「水戸市歴史的風致維持向上計画」が主務大臣(文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣)から認定される	4. 24	単独調理校(双葉台小)の調理等の業務を民間委託化
4. 1	行政組織の見直しにより、教育企画課教育企画係を企画係に、文化振興課を文化課に、同課文化振興係を芸術文化係に、同課世界遺産推進室世界遺産推進係を同室世界遺産係に、同課出先機関の大串貝塚ふれあい公園を埋蔵文化財センターに、スポーツ振興課をスポーツ課に、同課体育施設係を施設係に、総合教育研究所放課後児童対策係を放課後児童係に改称	7. 3	酒門幼稚園改築園舎完成
	内原中央公民館を除く31公民館を市民センターに一本化	8. 28	水戸市図書館基本計画(第3次)策定
4. 16	内原図書館開設	12. 11	水戸市教育施策大綱策定
5. 1	この年、市立小学校34校519学級、児童数14,372人、中学校16校233学級、生徒数6,922人、幼稚園19園44学級、園児数976人	28. 3. 23	水戸市生涯学習推進基本計画(第4次)策定
23. 3. 14	23. 3. 11の東日本大震災により、教育企画課、学校教育課、学校施設課及び生涯学習課を総合教育研究所内に、文化課を埋蔵文化財センター内に、スポーツ課を市立競技場内に仮移転		水戸市青少年・若者育成基本計画(第2次)策定
4. 1	学校廃合により、山根小学校を廃校し、双葉台小学校に編入	3. 31	大場小学校改築屋内運動場完成
12. 20	文化課及びスポーツ課を総合教育研究所内に移転	4. 1	行政組織の見直しにより、学校給食共同調理場に経理係を設置
24. 2. 3	教育委員会事務局を水戸市笠原町978番地の5に設置		国田義務教育学校(通称：さわやか国田学園)を開設
2. 18	第10回全国藩校サミットin水戸を開催		学校給食費の公会計化を実施
4. 1	行政組織の見直しにより、幼児教育課(幼児教育係、保育所係)を三の丸臨時庁舎内に設置するとともに、13保育所を教育委員会に移管		単独調理校(浜田・渡里小)の調理等の業務を民間委託化
	学校給食共同調理場の調理等の業務を民間委託化(財)水戸市スポーツ振興協会が公益財団法人に移行		全市民センター所長に生涯学習課長補佐を併任発令
9. 29	第二中学校内に二の丸展示館開設		東部・西部・見和・常澄図書館に指定管理者制度を導入
25. 4. 1	行政組織の見直しにより、学校給食共同調理場調理係を管理係に改称		耐震補強工事及び設備改修に伴い、中央図書館を内原図書館内に移転
10. 1	緑岡幼稚園改築園舎完成		耐震補強工事及び設備改修に伴い、博物館を休館
10. 16	石川幼稚園改築園舎完成	6. 7	見川中学校改築校舎完成
26. 3. 3	水戸市第6次総合計画策定	10. 5	教育委員会新制度へ移行
3. 31	大場小学校改築校舎完成	29. 3. 22	少年自然の家大規模改造工事完了
4. 1	行政組織の見直しにより、幼児教育課に教育・保育新制度準備係を設置	3. 31	学校給食共同調理場改築工事完了
	国田幼稚園を国田小中学校校舎内に移転	4. 1	単独調理校(三の丸小・稲荷第一小)の調理等の業務を民間委託化
	国田小中学校を小規模特認校に指定		市立全小中学校において併設型小学校・中学校に移行
			校務支援システム運用開始
		7. 31	下大野小学校長寿命化改良校舎完成
		9. 25	幼児教育振興基本計画(第2次)策定
		30. 1. 11	水戸市文化財保護・保存・活用基本計画(第2次)策定
		1. 31	浜田小学校長寿命化改良屋内運動場完成
		2. 22	中央図書館・博物館耐震補強及び設備改修工事完了
		3. 15	見川小学校・中学校改築屋内運動場完成
		4. 1	行政組織の見直しにより、「学校教育課(学事係、保健給食係)及び学校給食共同調理場(管理係、経理係)」から「学校管理課(学校管理係、学事係)、学校保健給食課(管理係)及び学校給食共同調理場(給食係)」に改編するとともに、幼児教育課の係を運営管理係、入園入所係、施設給付係に改称

年月日	事 項	年月日	事 項
	上大野, 下大野, 大場小学校を小規模特認校に指定 単独調理校(見川小)の調理等の業務を民間委託化 水戸市地域文化財制度を創設 中央図書館及び博物館を再開 内原図書館に指定管理者制度を導入	5. 1	この年, 市立小学校 32 校 528 学級, 児童数 12, 980 人, 中学校 15 校 237 学級, 生徒数 6, 402 人, 義務教育学校 1 校 9 学級, 児童・生徒数 144 人, 幼稚園 16 園 26 学級, 園児数 367 人, 幼保連携型認定こども園 2 園 12 学級, 園児数 183 人
7	水戸市運動部活動活動方針策定	10. 31	上大野小学校校長寿命化改良校舎完成
10. 1	市立全小・中・義務教育学校に教育用タブレット型端末を導入	3. 1. 28	市立全小・中・義務教育学校に児童生徒 1 人 1 台の教育用タブレット型端末整備完了
11. 9	新市庁舎完成(現・中央 1 丁目 4 番 1 号)	2. 1	水戸市教職員の働き方改革基本方針策定
12. 25	教育企画課, 学校管理課, 学校保健給食課, 学校施設課, 生涯学習課, 歴史文化財課を総合教育研究所内から新市庁舎内に移転	3. 24	見川小学校改築校舎完成
31. 1. 4	幼児教育課を三の丸臨時庁舎内から新市庁舎内に移転	3. 31	飯富幼稚園及び稲荷第二幼稚園を廃園
2. 13	市立全小・中・義務教育学校の普通教室及び特別教室に空調設備を設置	4. 1	行政組織の見直しにより, 学校施設課に事業係を設置 埋蔵文化財センターに調査係を設置 放課後児童課の開放学級係を廃止 総合教育研究所に教育研究課を設置し, 総合教育研究所の各係に加え, 情報教育係を設置
2. 28	市立全小・中・義務教育学校に学校図書館蔵書管理システムを設置		単独調理校(寿小・石川小)の調理等の業務を民間委託化
3. 20	河和田城跡及び薬師堂の民間信仰資料群を水戸市地域文化財第 1 号に認定		石川幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行し, 石川認定こども園を設置
3. 26	水戸市歴史的風致維持向上計画(第 2 期)認定		幼稚園のこぼ・こころの教室を市長部局障害福祉課へ移管
3. 29	内原中学校校長寿命化改良屋内運動場完成		全校で開放学級及び放課後子ども教室の運営を民間委託化
3. 31	内原市民センター設置に伴い, 内原中央公民館を廃止するとともに, 内原郷土史義勇軍資料館及びくれふしの里古墳公園を歴史文化財課へ移管	6. 27	水戸城二の丸角櫓公開
4. 1	行政組織の見直しにより, 放課後児童課(管理係, 開放学級係)を総合教育研究所内に設置するとともに, 総合教育研究所の放課後児童係を管理係に改称	9. 16	笠原小学校増築 1 期校舎完成
	単独調理校(千波小・笠原小・吉沢小)の調理等の業務を民間委託化	10. 8	吉田小学校校長寿命化改良 2 期校舎完成
	梅が丘小の開放学級及び放課後子ども教室の運営を民間委託化	11. 2	酒門小学校校長寿命化改良 1 期校舎完成
令1. 8. 20	市立全小・中・義務教育学校に学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入	4. 3. 15	三の丸小学校校長寿命化改良屋内運動場完成
10. 1	水戸市教育施策大綱を変更	3. 31	城東幼稚園, 千波幼稚園, 梅が丘幼稚園及び妻里幼稚園を廃園
2. 1. 12	成人の日式典をアダストリアみとアリーナで挙行	4. 1	行政組織の見直しにより, 幼児教育課を幼児保育課に改称するとともに, 11 保育所, 2 幼保連携型認定こども園を市長部局へ移管, 放課後児童課を廃止し, こども政策課こども事業係として市長部局へ移管
1. 14	吉田小学校校長寿命化改良 1 期校舎完成		単独調理校(新荘小・稲荷第二小・鯉淵小)の調理等の業務を民間委託化
2. 4	水戸城大手門開門・開通		浜田幼稚園, 常磐幼稚園を幼稚園型認定こども園に移行し, 浜田認定こども園, 常磐認定こども園を設置
2. 25	水戸市立幼稚園の再編方針策定		幼稚園及び幼稚園型認定こども園の事務は, 総務部及びこども部が補助執行
3. 15	水戸市学校施設長寿命化計画策定	11. 24	水戸市学校施設バリアフリー化整備計画策定
3. 31	五軒幼稚園を廃園	11. 25	酒門小学校校長寿命化改良 2 期校舎完成
4. 1	中核市水戸誕生	12. 2	笠原小学校増築 2 期校舎完成
	単独調理校(吉田小・梅が丘小)の調理等の業務を民間委託化	12. 19	渡里小学校校長寿命化改良校舎完成
	稲荷第一幼稚園・常澄保育所を幼保連携型認定こども園に移行し, 常澄認定こども園を設置	5. 2. 22	吉沢小学校増築校舎完成
	内原幼稚園・内原保育所を幼保連携型認定こども園に移行し, 内原認定こども園を設置	4. 1	中学校給食費を無償化
	飯富幼稚園を飯富小学校校舎内に移転		県費負担教職員の行政財産使用料(自家用車)徴収開始
	緑岡小ほか 12 校の開放学級及び放課後子ども教室の運営を民間委託化		単独調理校(酒門小・河和田小・上中妻小・妻里小)の調理等の業務を民間委託化
	総合教育研究所内に笠原小学校通級指導教室を設置		総合教育研究所内に笠原中学校通級指導教室を設置 千波中学校に校内フリースクールを開設

年月日	事 項	年月日	事 項
6. 2. 29	梅が丘小学校長寿命化改良屋内運動場完成		
3. 6	市立全小・中・義務教育学校の校舎の洋式トイレ整備完了		
3. 22	水戸市学校教育情報化推進計画策定		
3. 31	見川幼稚園及び吉田が丘幼稚園を廃園		
4. 1	柳河小学校を小規模特認校に指定		
	小学校給食費を半額に軽減		
	単独調理校（国田義務教育学校・堀原小・内原小）の調理等の業務を民間委託化		
	「適応指導教室」の名称を改め、総合教育研究所内に「教育支援センター（教育相談室・うめの香ひろば）」を設置		
	全中学校で校内フリースクールを開設		



みとちゃん

【歴代の教育委員会委員】

氏 名	就 任	退 任	備 考
鈴木 幹 雄	昭27. 11. 1	昭31. 9. 30	選 挙
中 村 栄 吉	〃	〃	〃
森 戸 う め	〃	〃	〃
須 田 忠	〃	29. 4. 26	〃
野 上 常一郎	〃	29. 3. 8	議会選出
小野瀬 清次郎	29. 3. 8	30. 4. 30	〃
奥 山 勝 一	29. 5. 8	31. 9. 30	〃
石 川 巖	30. 4. 1	〃	隣接合併
石 川 浩	〃	〃	〃
高 場 傳 一	〃	〃	〃
小田野 三 郎	〃	〃	〃
軍 地 清	〃	〃	〃
安 藤 康 一	〃	〃	〃
三 木 隆太郎	30. 5. 17	〃	議会選出
渡 辺 泰 敏	31. 10. 1	36. 9. 30	任 命
鈴木 幹 雄	〃	48. 4. 12	〃
金 澤 正 安	〃	43. 12. 28	〃
村 田 昇	〃	35. 8. 21	〃
柴 沼 陽	〃	47. 9. 30	〃
海 野 龍 夫	35. 10. 1	57. 11. 30	〃
安 廣 輝	36. 11. 1	49. 7. 26	〃
石 島 弘	44. 1. 1	57. 9. 30	〃
多治見 義 長	47. 10. 5	53. 9. 30	〃
志 賀 恒 治	48. 6. 20	62. 10. 3	〃
小 山 稔	49. 10. 1	平12. 10. 4	〃
助 川 明	53. 11. 1	昭59. 10. 4	〃
高 嶋 頼 文	57. 10. 1	平 2. 9. 30	〃
人 見 孔 哉	57. 12. 24	1. 9. 30	〃
益 子 進一郎	59. 10. 5	昭63. 10. 4	〃
新 井 三喜夫	62. 10. 4	平 3. 10. 3	〃
海 野 千 秀	63. 10. 5	4. 10. 4	〃
諸 沢 英 道	平 1. 10. 1	5. 9. 30	〃
丸 山 泰 一	2. 10. 1	4. 3. 31	〃
加 藤 昭	3. 10. 4	7. 10. 3	〃
浜 名 憲 昭	4. 4. 1	14. 9. 30	〃
古 橋 貞 夫	4. 10. 5	8. 3. 2	〃
植 崎 明 夫	5. 12. 21	17. 12. 20	〃
石 渡 千恵子	7. 10. 4	11. 10. 3	〃
堀 川 賢 壽	8. 3. 4	12. 10. 4	〃
石 川 雅 子	11. 10. 4	15. 10. 3	〃
吉 田 仁	12. 10. 5	16. 10. 4	〃
飯 村 清 美	13. 3. 22	17. 3. 21	〃
木 村 正 徳	14. 10. 1	18. 9. 30	〃
伊 藤 道 子	15. 10. 4	23. 10. 3	〃
鯨 岡 武	16. 10. 5	24. 10. 4	〃
川 上 美智子	17. 3. 25	28. 3. 16	〃
阿久津 正 晴	17. 12. 21	29. 12. 20	〃
中井川 正 次	18. 10. 1	22. 9. 30	〃

氏 名	就 任	退 任	備 考
佐 藤 和 夫	22. 10. 1	26. 9. 30	任 命
岩 切 ちひろ	23. 10. 4	令 1. 10. 3	〃
本 多 清 峰	24. 10. 5	※平28. 10. 4	〃
東小川 昌 夫	26. 10. 1	令 4. 9. 30	〃
富 田 教 代	28. 7. 1	在任中	〃
篠 崎 和 則	29. 12. 21	在任中	〃
丸 山 陽 子	令 1. 10. 4	在任中	〃
鬼 澤 真 寿	令 4. 10. 1	令 5. 2. 16	〃
内 田 和 子	令 5. 4. 1	在任中	〃

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、新「教育長」は教育委員会の構成員であるが、委員ではなくなったため。

【歴代の教育委員会委員長】

氏 名	就 任	退 任
鈴木 幹 雄	昭27. 11. 1	昭33. 9. 30
金 澤 正 安	33. 10. 1	38. 9. 30
海 野 龍 夫	38. 10. 1	57. 11. 30
志 賀 恒 治	57. 12. 24	62. 10. 3
高 嶋 頼 文	62. 10. 5	平 2. 9. 30
小 山 稔	平 2. 10. 4	9. 10. 6
浜 名 憲 昭	9. 10. 7	14. 9. 30
植 崎 明 夫	14. 10. 3	17. 12. 20
木 村 正 徳	18. 1. 6	18. 9. 30
川 上 美智子	18. 10. 5	28. 3. 16
阿久津 正 晴	28. 3. 17	28. 10. 4

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育長が委員長を兼ねることとなった。

水戸市教育委員会は、平成 28 年 10 月 5 日付けで改正法に基づく新制度へ移行したため、委員長の選出は行っていない。

【歴代の教育長】（旧制度）

氏 名	就 任	退 任
山 本 正 誠	昭27. 11. 1	昭31. 9. 30
柴 沼 陽	31. 10. 1	47. 9. 30
多治見 義 長	47. 10. 5	53. 9. 30
助 川 明	53. 11. 1	59. 10. 4
益 子 進一郎	59. 10. 5	63. 10. 4
海 野 千 秀	63. 10. 5	平 4. 10. 4
古 橋 貞 夫	平 4. 10. 5	8. 3. 2
堀 川 賢 壽	8. 3. 4	12. 10. 4
吉 田 仁	12. 10. 5	16. 10. 4
鯨 岡 武	16. 10. 5	20. 10. 4
鯨 岡 武	20. 10. 6	24. 10. 4
本 多 清 峰	24. 10. 5	28. 10. 4

【歴代の教育長】（新制度）

氏 名	就 任	退 任
本 多 清 峰	平28. 10. 5	令 1. 10. 4
志 田 晴 美	令 1. 12. 27	在任中

令和6年度水戸市教育行政方針

本市の教育行政の推進に当たっては、生命・人権尊重の精神を基盤として、知性にとみ、心身ともに健全で、調和のとれた人間の形成を目指し、水戸市教育施策大綱に掲げる基本理念「水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成」のもと、先人の教えである先見性や実践性、国際的な視野を念頭に置き、近世の教育遺産群として日本遺産に認定された弘道館の魁の精神を受け継ぐ文教の府にふさわしい、水戸ならではの魅力ある教育の推進に努める。

また、よりよい教育環境の中で、家庭、地域、学校など、社会全体の連携を強化し、未来をリードする子どもの健やかな成長を図るとともに、誰もが生涯を通じて学習できる環境づくりを行い、地域の教育力の向上と地域コミュニティ活動の活性化を図り、地域社会を牽引し、国際社会で活躍できる人材の育成を目指す。

基本的方向1 子どもをしっかりと育てる環境づくりの推進

未来をリードする子どもを健やかで心豊かに育てるため、家庭、地域、学校等が連携、協力し、それぞれの役割を十分に果たしながら、社会全体で子どもをしっかりと育てる体制づくりに努める。

また、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校^{※1}が互いに連携を深めながら、社会で自立して生きるための基礎を育み、子どもの健やかな成長、発達の支援に努める。

基本目標1 人間としての基礎を育む家庭づくり

家庭において、親子などの深い情愛をもったふれあいを通して、社会的なマナーを身につけ、豊かな情操等を育めるよう、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭の教育力の向上を図る。

1 家庭の教育力の向上

市民センターや学校、保育所等と連携しながら、子どもの発達段階に応じた学習機会を幅広く提供するとともに、支援を必要とする家庭に対し、個に寄り添った相談対応や情報提供を行うなど、家庭教育を支援するための取組の充実に努める。

【目標指標】

訪問型家庭教育支援事業（学校等と連携したアウトリーチ型支援）訪問世帯 90件

【主な施策】

施策	主な内容
基本的な生活習慣や学習習慣を身につけさせるための家庭教育への支援	・学校（園）と家庭、地域との連携強化 ・学習習慣確立のための家庭への啓発事業 ・家庭教育講座等の充実 ・訪問型家庭教育支援事業の拡充

※1 小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含むものとする。

基本目標2 安心で安全な地域づくり

地域住民によるボランティア活動等を通して、地域で子どもを守り育てる体制づくりに努めるとともに、放課後を含めて、安心して過ごせる環境を整備する。

1 地域で子どもを見守る体制づくりの推進

子どもたちが安全、安心な学校生活を送るため、警察、PTA、地域ボランティア等の関係機関・団体と、より一層の連携を図りながら、登下校時の安全対策や不審者対策など、地域ぐるみの学校安全対策の強化に努める。

また、地域人材の活用や地域住民によるボランティア活動等を通して、学校や子どもを支援する取組を推進するなど、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を育む体制づくりに努める。

【目標指標】

通学路安全対策（ハード事業）の実施 25 か所

【主な施策】

施策	主な内容
安全対策の推進	・登下校時における安全対策の充実(通学路安全対策, スクールガード活動の促進等) ・安全対策情報（不審者等の情報）の公開 ・学校施設内の防犯カメラの設置・更新
地域の教育力の活用	・地域人材の活用（ゲストティーチャー、スクールボランティア等） ・大学等と連携した学校行事や学習の支援 ・地域スポーツ・文化クラブ活動の推進（部活動改革）

基本目標3 子どもをしっかりと育てる学校づくり

子どもの心身の健やかな成長と発達を支援するため、安全で快適な教育環境の整備に努めるとともに、人間形成の上で重要な幼児期の教育を基盤として、地域の理解と参画を得ながら、より質の高い学校教育を推進する。さらに、中核市としての特色を生かした研修を実施し、教員の指導力や資質の向上を図るとともに、誇りや生きがいをもって子ども一人一人と確実に向き合える環境を整える。

1 幼児教育の充実

幼児教育においては、生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、子どもの心身の発達や特性を考慮し、健全な発達に適した教育環境の整備を図り、「遊び」を中心とした人との関わりや心身の健全な発達に資する総合的な指導に努める。

また、全ての就学前の子どもが分け隔てなく健やかに育つ環境を整備するため、私立等も含めた幼稚園、保育所、認定こども園と小学校等で組織する「幼児教育と小学校教育の接続のための協議会」において、連携を深めるとともに、職員の資質向上を目指した諸施策を推進し、発達や学びの連続性を踏まえた円滑な小学校教育との接続に努める。

【目標指標】

幼児教育と小学校教育の接続のための協議会の参加率 70.0%

【主な施策】

施 策	主な内容
幼児教育の推進	・小学校への円滑な接続（幼児教育と小学校教育の接続のための協議会における研修や情報の共有，小学校への接続のためのカリキュラム「アプローチ・スタートカリキュラム」の実施） ・英語遊びの実施 ・幼稚園等への訪問指導の充実

2 教育環境の整備，充実

子どもが安全かつ快適な環境で過ごすことができるよう，長寿命化改良事業や屋内運動場空調設備整備事業をはじめとする学校施設の整備を推進するなど，教育環境の充実に努める。

【目標指標】

長寿命化改良工事完了 校舎 1 校

【主な施策】

施 策	主な内容
学校施設の整備，充実	・長寿命化改良事業の推進（工事：石川小学校校舎，寿小学校校舎，妻里小学校校舎，設計：緑岡小学校校舎） ・校舎増築事業の推進（工事：酒門小学校，設計：第四中学校） ・学校施設の緊急安全対策の推進 ・学校施設のバリアフリー化の推進 ・新^{※2} 屋内運動場空調設備整備事業の推進（基本計画） ・学校給食施設設備の整備，充実（厨房機器等の計画的な更新）

3 地域とともにある特色ある学校づくり

子どもの教育活動や学校運営に関する情報を家庭や地域に公表するとともに，学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の円滑な運営により，保護者や地域住民等の理解と参画を得ながら，家庭，地域との連携のもと，地域とともにある特色ある学校づくりに努める。

また，市民センターに地域と学校をつなぐコーディネーターとしての役割を持たせ，学校運営協議会で協議された課題の解決や提案の実現を図る地域学校協働活動を進め，学校を核とした地域づくりに努める。

各中学校区における教育活動を推進するため，各中学校区が掲げる小中一貫グランドデザインに基づき，系統的・継続的な教育の充実に努めるとともに，少人数での教育のよさを生かした小規模特認校において，英語教育，理科・環境教育など，学校の特色を生かした教育を推進する。

【目標指標】

学校運営協議会による学校の課題解決に向けた協働活動の年 1 回以上の実施 全小中学校（48 校）

※2 新規事業

【主な施策】

施 策	主な内容
地域住民の学校運営への参画	・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活動の充実（学校の課題解決に向けた協働活動の実施） ・地域学校協働活動の段階的な推進
学校への理解を深めるための取組の推進	・学校ホームページ等を活用した身近な情報の発信 ・「学校へようこそ」等の実施による学校公開
小中一貫教育の推進	・小中一貫教育の推進（9年間を見通した教育課程の編成，小学校等における教科担任制の推進） ・「水戸まごころタイム」の充実 ・各中学校区における小中一貫グランドデザインの推進
学校の特色を生かした教育の推進	・特色ある学校づくりの推進（小規模特認校制度等）

4 健やかな心と体の育成

子どもがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，自己を見つめ，人間としての生き方について考えを深める学習を通して，健やかな心を育成する。

また，子どもの健康の保持・増進と体力の向上を図るため，発達段階や系統性を踏まえながら，生涯にわたって運動に親しむことができる資質や能力の向上に取り組むとともに，定期健康診断等による疾病，異常等の早期発見に努める。

さらに，学校給食を活用した食育の拠点である学校給食共同調理場等において，安全・安心で栄養バランスに優れた給食を提供することはもとより，子どもの望ましい食習慣の形成に向け，研修会を開催するなど，児童生徒をはじめ，広く市民に開かれた食育活動に取り組むとともに，地場産物の活用や大学との連携事業等による食育の推進に努める。

【目標指標】

体力テストA+Bの割合 県平均以上

【主な施策】

施 策	主な内容
道徳教育の充実	・重点内容項目を明確にした道徳授業の実施 ・「道徳 まごころ」の活用
体力・運動能力の向上	・体力アップ推進プランに基づく取組の推進 ・学校外プール施設を活用した水泳授業の実施
学校保健・安全の充実	・児童生徒の健康保持・増進（小児生活習慣病予防健診，中学生ピロリ菌検査，各種健康診断の実施） ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の推進 ・性教育，健康教育（喫煙，飲酒，薬物乱用の防止，生活習慣病，がんの予防）の推進 ・避難訓練の実施
食育の推進	・食育の充実（有機農産物を含む地場産物の活用拡大，大学との連携，食育講演会の開催，学校給食共同調理場の活用等） ・安全で安心な学校給食の提供（衛生管理の徹底，食物アレルギーへの対応等）

5 指導・相談体制の充実

問題行動等生徒指導上の諸課題については、家庭、地域、学校、関係機関と連携、協力しながら、適切な指導を行うなど、子どもが社会の一員として生きる基盤を育てる学校づくりを推進する。

また、不登校の未然防止に向け、一人一人の考えを尊重し、互いの良さを認め合う意識の醸成や集団づくりを進めることで、安心して通える魅力ある学校を目指すとともに、子どもの社会的自立に向け、学校及び学校外の専門機関等と連携を図りながら、多様な学びの場の提供や相談体制を強化するなど、一人一人に寄り添いながら、個々の状況に応じた支援に努める。

さらに、特別な教育的支援を必要とする子どもが、その必要とする支援や発達段階等に応じた適切な教育を受けることができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた就学相談体制や指導の充実に努める。

【目標指標】

学校及び学校外の専門機関等とつながっていない不登校児童生徒 ゼロ

【主な施策】

施 策	主な内容
生徒指導の充実	・不登校の早期発見・早期対応 ・新 1人1台端末を活用した心の健康観察の実施（教育ダッシュボードによるデータの可視化） ・来所相談，電話相談，教育支援センター（教育相談室・うめの香ひろば）における援助指導等の充実 ・学校における相談体制の充実（スクールカウンセラー，心の教室相談員の活用促進等） ・家庭的な問題を抱える児童生徒に対する教育・福祉両面からの専門的支援の充実（スクールソーシャルワーカーの活用促進） ・新 全中学校における校内フリースクール等の設置 ・新 民間フリースクール等と連携した支援
特別支援教育の充実	・特別支援教育支援員の配置，特別支援教育コーディネーターを中心とした校内相談等の体制の充実 ・特別支援教育専門員による教職員や保護者に対する専門的な助言・相談体制の充実 ・早期支援体制，就学相談体制の充実（新 心理検査の専門性を有する調査員の配置，こども発達支援センター等との連携強化）

6 教職員の資質能力の向上・働き方改革の推進

質の高い教育を提供するため、中核市として本市の実情に合ったよりきめ細かな研修等を通して、使命感の醸成や実践的指導力の育成、高度な専門的知識の習得など、さらなる教職員の資質能力の向上に努めるとともに、教育会との連携による研究事業の推進や、訪問指導の充実に努める。

また、教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の働き方改革基本方針に基づき、業務改善に取り組むとともに、教職員の意識改革を推進するなど、長時間勤務の縮減に努める。

【目標指標】

月あたりの時間外在校等時間が 80 時間を超える教職員数の削減 10%

【主な施策】

施 策	主な内容
教職員研修の充実	・市独自の教職員研修（法定研修等）の充実 ・教員の I C T活用能力の向上（教員の研修・支援体制の充実，I C T活用能力調査の実施） ・英語指導力の強化（小学校教員及び英語指導助手（A E T）に対するティーム・ティーチング指導法研修等の充実） ・教育会（研修事業部）との連携
研究事業の推進	・調査研究事業の推進（研究指定校，学力向上調査研究事業） ・教育会（研究事業部，広報事業部）との連携（読解力向上事業等）
指導，助言の充実	・訪問指導（計画訪問，学校支援訪問，要請訪問，随時訪問等）による授業力向上や生徒指導への支援 ・学校事故への迅速な対応
教職員の働き方改革の推進	・職場環境の充実（校務支援システムの活用，学校弁護士相談事業，インターネットバンキングの活用等） ・教職員の意識改革の促進（勤務時間の管理徹底，働き方に関する研修の開催，学校閉庁日の実施）

基本的方向2 一人一人の確かな学びと夢を実現する水戸スタイルの教育の推進

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、子どもの「生きる力」をより一層育むため、創意工夫を凝らした特色ある教育活動の展開や本市の教育資源を活用した学習等を通して、学びの基礎や確かな学力を身につけるとともに、豊かな感性や思いやりの心の育成に努める。

また、教育DX^{※3}を推進し、教育環境を取り巻く変化に柔軟に対応しながら、子ども一人一人の良さや可能性を伸ばすことにより、次の時代をリードし、水戸の明るい未来を創造していける人材、国内外で活躍できる人材の育成に努める。

基本目標4 確かな学びと学習意欲を高める教育【チャレンジプランの推進】

子どもの「生きる力」の育成を目指し、確かな学力の定着や自ら学ぼうとする意欲を育成する「チャレンジプラン」を推進し、基本的生活習慣の確立や個に応じた学習指導の充実を図る。

1 学びの基礎や確かな学力の定着

子どもが主体的に学習に取り組む態度を養い、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう努めるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等のバランスのとれた育成に努める。

また、家庭との連携を図りながら、基本的生活習慣や学習習慣の確立に努める。

【目標指標】

全国学力・学習状況調査の各教科における平均正答率（対全国平均）

（小6）+0.5ポイント以上、（中3）+0.5ポイント以上

【主な施策】

施策	主な内容
確かな学力の定着	・基本的生活習慣の確立（「規律と協働を高める八策」の推進） ・個に応じた学習指導の充実（学力向上サポーターによる指導等） ・学びの診断の実施とA Iドリルによる課題の克服 ・ 新 教育データを活用したきめ細かな学習指導・支援（教育ダッシュボードによるデータの可視化等）
自ら学ぼうとする意欲の育成	・数学・学習相談「SPOT in MITO」の実施 ・大学との連携事業「つながる学び ひと☆Future College」による授業の充実

基本目標5 世界で活躍できる資質を磨く教育【グローバルプランの推進】

英会話力や情報活用能力の向上を図るとともに、防災リーダーなど次世代リーダーを育成する「グローバルプラン」を推進し、新しい時代を切り拓き、一人一人の夢の実現に向かって世界で活躍できる資質・能力を育成する。

1 社会変化に対応した教育の推進

子どもが「Society5.0時代」や「ポストコロナ」をはじめとするこれからの時代を生き抜いていけるよう、ICT教育、国際理解教育の推進とともに、次世代リーダーの育成など、グローバル社会で活躍できる力の育成に努める。

※3 教育Digital Transformation。デジタル技術を活用し、学校教育をよりよいものに変革すること。

【目標指標】

英検 3 級相当以上の生徒の割合（中 3 卒業時） 65%

【主な施策】

施 策	主な内容
英会話力の向上	・実践的なコミュニケーション能力の育成（オール・イン・イングリッシュによる英会話授業や夏季休業期間における A E T との英会話活動プログラム等）
情報を活用できる能力の育成	・ 1 人 1 台端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実（デジタル教材の活用, 外部講師との交流授業の実施等） ・ 情報モラル・セキュリティに関する指導の充実 ・ 新 教科等を横断した実生活における課題解決に向けた探究的な学び（S T E A M 教育※ ⁴ ）の実践
次世代リーダーの育成	・ 市内高等学校等と連携した次世代エキスパート育成事業の充実 ・ 防災リーダー育成事業の実施

基本目標 6 郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育 【キャリアプランの推進】

郷土への理解と関心を深める教育や水戸芸術館を活用して豊かな感性を育む教育を充実するとともに、さまざまな体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進し、社会に貢献しようとする態度や困難を乗り越える強い精神力を育成する。

1 郷土を愛する心を育てる教育の充実

水戸の自然や歴史、文化、産業などについて理解を深めるとともに、地域に伝わる文化や伝統芸能の継承活動、副読本を活用した郷土教育などを通して、ふるさと水戸を愛する心の育成に努める。

また、おもてなしボランティア等の活動を通して、おもてなしの心や社会に尽くす態度の育成に努める。

【目標指標】

日本遺産に関する学習の実施 全校（48 校）

【主な施策】

施 策	主な内容
郷土への理解を深める教育の充実	・「水戸まごころタイム」における水戸教学の推進 ・ 社会科副読本を活用した日本遺産の学習
おもてなしの心を育む教育の推進	・おもてなしボランティア活動の推進（チーム魁, 魁二の丸隊, 子ども梅大使の活動, 水戸黄門漫遊マラソン）

※4 各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育 (Science : 科学, Technology : 技術, Engineering : 工学, Arts : 芸術文化, 生活, 経済, 法律, 政治, 倫理等, Mathematics : 数学)

2 豊かな感性の育成

水戸芸術館等との連携による芸術教育，自然体験活動等を通して，心豊かでたくましい子どもの育成に努める。

また，企業等との連携による職場見学や職場体験活動等を通して，学ぶことや働くこと，生きることを実感させ，将来について考えるキャリア教育等の充実に努める。

【目標指標】

芸術鑑賞会の開催（年間） 3回

【主な施策】

施 策	主な内容
世界に誇る水戸芸術館等と連携した芸術教育の充実	・芸術鑑賞会の開催（演劇・音楽部門） ・「中学校合唱の祭典」の開催（音楽部門） ・水戸芸術館による学校訪問アートプログラムへの参加（美術部門）
体験学習の充実	・民間企業，商工会議所等との連携による職場見学，職場体験の実施 ・船中泊を伴う自然教室の実施

基本目標7 いのちや人権を大切にする教育 【ふれあいプランの推進】

いじめの未然防止や解決に向けて取り組む「ふれあいプラン」を推進し，いのちや人権を尊重する態度やいじめを許さない気運を醸成するとともに，規範意識や思いやりの心を育成する。

1 いじめ解決に向けた取組の推進

いじめの未然防止及び早期発見に向け，小さいいじめも見逃さない学校づくりに努めるとともに，悩みを抱える子どもが安心して相談しやすい環境を整え，いじめ問題に組織的に取り組み，迅速で的確な対応を行うなど，いじめの早期解消を図る。

また，人権教育を通して，子ども一人一人がその発達段階に応じ，人権課題の正しい理解や確かな人権感覚を養うとともに，あらゆる偏見や差別をなくし，互いの大切さを認め合う心の育成に努める。

【目標指標】

いじめ解消率（次年度フォローアップ値） 100%

【主な施策】

施 策	主な内容
いじめの未然防止	・あいさつ運動の実施 ・いじめ解決フォーラム，ワークショップの実施 ・SNSによるいじめに関する講演会の実施
いじめの早期発見・早期対応	・悩みを相談しやすい環境づくり（いじめ相談ダイヤルの設置，1人1台端末のアンケート機能を活用した校内オンライン相談窓口の開設） ・いじめの実態調査
学校における人権教育の充実	・人権課題に関する教育，啓発活動の充実

基本的方向3 参画と協働の人づくりの推進

青少年・若者の成長と自立を社会全体で支え、見守り、育てるとともに、市民一人一人が生涯を通じて自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる機会、場所において学習することができ、その成果を地域に生かすことができるよう努める。

また、歴史的資源を生かした歴史まちづくりを市民との協働で進め、郷土に対する誇りと愛着を深めるとともに、歴史と伝統を基底に、国内外で活躍できる人材の育成に努める。

基本目標8 社会に参画する若者づくり

地域と一体となって、若者の健やかな成長を促し、豊かな人間性や社会性を備え、さまざまな地域活動へ積極的に参画し、社会で躍動する自信あふれる若者を育成する。

1 青少年・若者の健全育成

豊かな人間性や社会性を備えた青少年・若者を育むため、家庭、地域、学校、行政が連携を図りながら、青少年・若者が主体的に活動できる仕組みづくりを進めるとともに、ボランティア活動をはじめ、多様な体験活動の機会を創出する。

また、関係機関・団体と連携し、街頭補導活動や社会環境健全化活動を推進するとともに、電話、来所等による相談活動を通して、青少年の問題行動の早期発見や非行防止に努める。

少年自然の家においては、現代的な教育課題に対応した体験活動の実施や地域の特性を生かしたプログラムの開発をはじめ、移動天文車を活用した天体観測等の体験活動を展開するなど、自然体験活動の拠点としての機能充実に努める。

【目標指標】

少年自然の家利用者（年間） 24,000人

【主な施策】

施策	主な内容
青少年・若者の健全育成のための事業の充実	・青少年・若者の自主的な社会参加活動の促進（高校生社会参加促進事業、青少年育成団体との協働事業等） ・子ども会の活性化に向けた方策の推進 ・少年自然の家における自然体験活動の充実 ・青少年の育成に関する講演会の開催
問題行動の早期発見と非行防止	・青少年相談員による街頭補導 ・電話、来所等による青少年相談

基本目標9 社会や地域のために自ら活動する人づくり

市民一人一人があらゆる場所、機会において、自ら学び、その成果を地域に生かす環境づくりを進め、変化に対応して新たな価値を創造し、地域社会を牽引する人材を育成する。

1 学習機会の充実

市民が自ら学び、豊かな心を養うことができるよう、市民ニーズや社会の要請に応じた多様な学習機会、学習情報の提供に努める。

さらに、学習によって得られた成果をまちづくりや人づくりに生かしていくための環境づくりに努める。

図書館においては、図書や資料の収集等をはじめ、学校図書館と連携し、子どもが読書に親しむ環境づくりを進めるなど、市民の自主的な学習活動の支援に努める。

人権教育においては、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づく基本計画を踏まえ、全ての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消と人権に関わる問題の解決に努める。

【目標指標】

生涯学習サポーター等による現代的課題や地域が抱える課題解決のための講座開催（年間）

10 講座

【主な施策】

施 策	主な内容
学習環境の充実	・現代的課題や地域が抱える課題解決のための学習機会の提供 ・みと好文カレッジ、市民センターにおける「みと弘道館大学」の充実
みと好文カレッジ事業の充実	・生涯学習サポーターをはじめとする生涯学習推進のための人材の活用 ・生涯学習活動への参加促進
人権教育の充実	・部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題に関する教育、啓発活動の充実
図書館事業の充実	・レファレンスサービスの充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・子どもの読書活動の推進 ・市民との協働による図書館活動の推進 ・地域の特性を生かした図書館づくりの推進 ・ 新 図書館基本計画（第4次）の策定

基本目標 10 歴史を学び未来へ受け継ぐ人づくり

市民との協働により、風格ある歴史まちづくりを進め、郷土への誇りと愛着を深めるとともに、歴史や文化、芸術に親しみ、国際社会で活躍できる人材を育成する。

1 歴史的資源の保全と活用

水戸の貴重な財産である歴史的資源を大切に守り、次代へ継承するとともに、水戸ならではの風格ある歴史まちづくりを進め、まちの魅力として高めていくため、文化財の適切な保護、保存、活用に努める。

また、近世日本の重要な教育遺産であり、日本遺産の構成文化財である弘道館と偕楽園の世界遺産登録に向け、関係自治体との推進協議会を通じた広域連携による取組を進めるとともに、学校教育の場での活用や市民との協働による取組の推進に努める。

博物館においては、郷土水戸に関わりのある自然、歴史、民俗、美術等の資料を収集・保管するとともに、展覧会の開催等を通して、郷土の歴史や文化、自然にふれることのできる機会を提供するなど、地域、学校との連携のもと、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

【目標指標】

市指定文化財指定及び市地域文化財認定（年間） 3件

【主な施策】

施策	主な内容
文化財の保護、保存、活用	・水戸市文化財保存活用地域計画の策定 ・市指定文化財の指定及び市地域文化財の認定 ・水戸城歴史的建造物の活用 ・ヒカリモの検証・活用事業の推進 ・史跡等整備活用事業の推進（台渡里官衙遺跡群） ・埋蔵文化財発掘調査事業及び公開活用事業の推進 ・民俗芸能伝承団体への支援
世界遺産登録・日本遺産周知に向けた取組の推進	・広域連携による世界遺産登録推進活動と市民との協働による取組の推進 ・日本遺産ブランド力向上事業（牛久市、笠間市と連携した茨城県日本遺産3市連携事業の開催等）
博物館事業の充実	・特別展等の開催（夏休み子どもミュージアム、秋季・冬季特別展） ・博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進 ・小・中学校との連携事業の推進（体験講座、出前講座、職場体験等）

教育委員会機構

令和6年4月1日現在

※教育委員会事務局(出先機関を含む。)

教育機関

教育委員会

教育長

教育部

教育部長

参事

教育企画課

総務係

企画係

教育委員会の所掌に係る条例・規則等，教育行政に関する相談，職員的人事・身分・服務・研修及び福利厚生，職員の給与，秘書事務・渉外，公印の管守，文書の収発・編さん・保存，その他の主管に属さないこと

事務局各課及び各教育機関の調整，教育行政の施策・事業に係る企画・調整・進管理，教育委員会の会議，特命事項

学校管理課

学校管理係

学事係

県費負担教職員の任免・人事，教員免許状，学校事故，その他の主管に属さない学校の管理

学校の設置・廃止，学区，就学事務，学校に係る調査統計，教科書の無償給与，就学の奨励・援助，私学振興（幼稚園を除く），奨学資金

小学校

中学校

義務教育学校

幼稚園

幼稚園型認定こども園

32校

15校

1校

5園

3園

学校保健給食課

管理係

学校の保健，学校医・学校歯科医・学校薬剤師，医療費援助，学校の環境衛生，学校の安全，通学の安全確保，食材料の調達・費用の支払い，給食費，市立の教育・保育施設の給食，学校給食共同調理場

学校給食共同調理場

給食係

学校給食，共同調理場の維持管理，学校給食の調理，共同調理場の予算経理・庶務，水戸市立共同調理場運営委員会

学校施設課

経理係

施設係

事業係

学校の予算経理，学校の財務事務の指導，教材・教具等の整備

学校の施設の維持管理

学校の施設の整備計画の策定及び実施，施設整備に係る用地の取得

生涯学習課

社会教育係

青少年育成係

生涯学習振興施策の総合調整，社会教育，社会教育委員，市民センターにおける社会教育事業の予算経理，みと好文カレッジ

青少年教育，子どもの広場，社会環境浄化，茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例第2条の表1の項・水戸市茨城県青少年の健全育成等に関する条例の施行に関する規則に規定する事務，少年自然の家

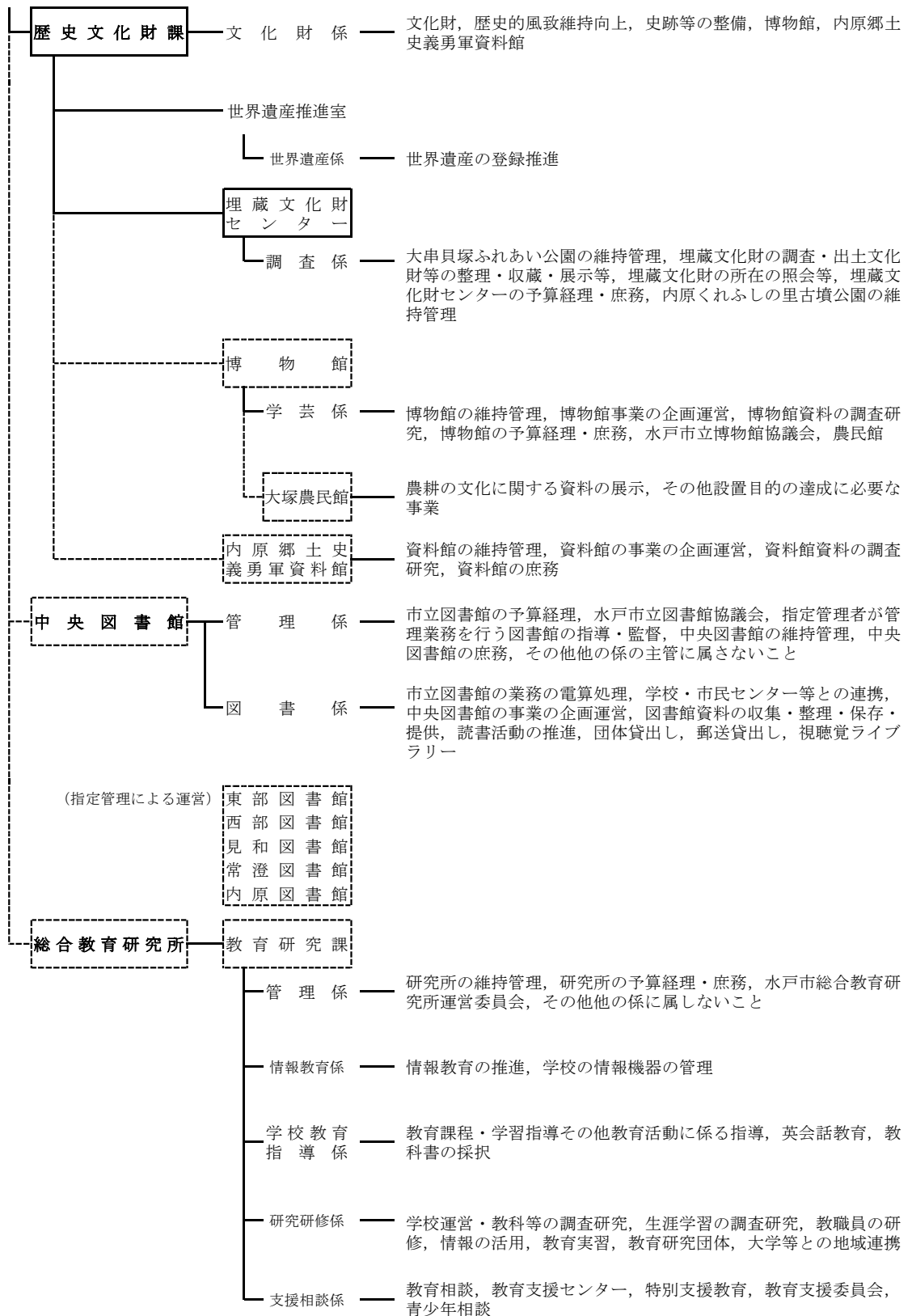
みと好文カレッジ

指導係

生涯学習推進事業の企画運営，市民センターにおける社会教育事業の企画・助言指導，好文カレッジの予算経理・庶務，みと好文カレッジ運営審議会

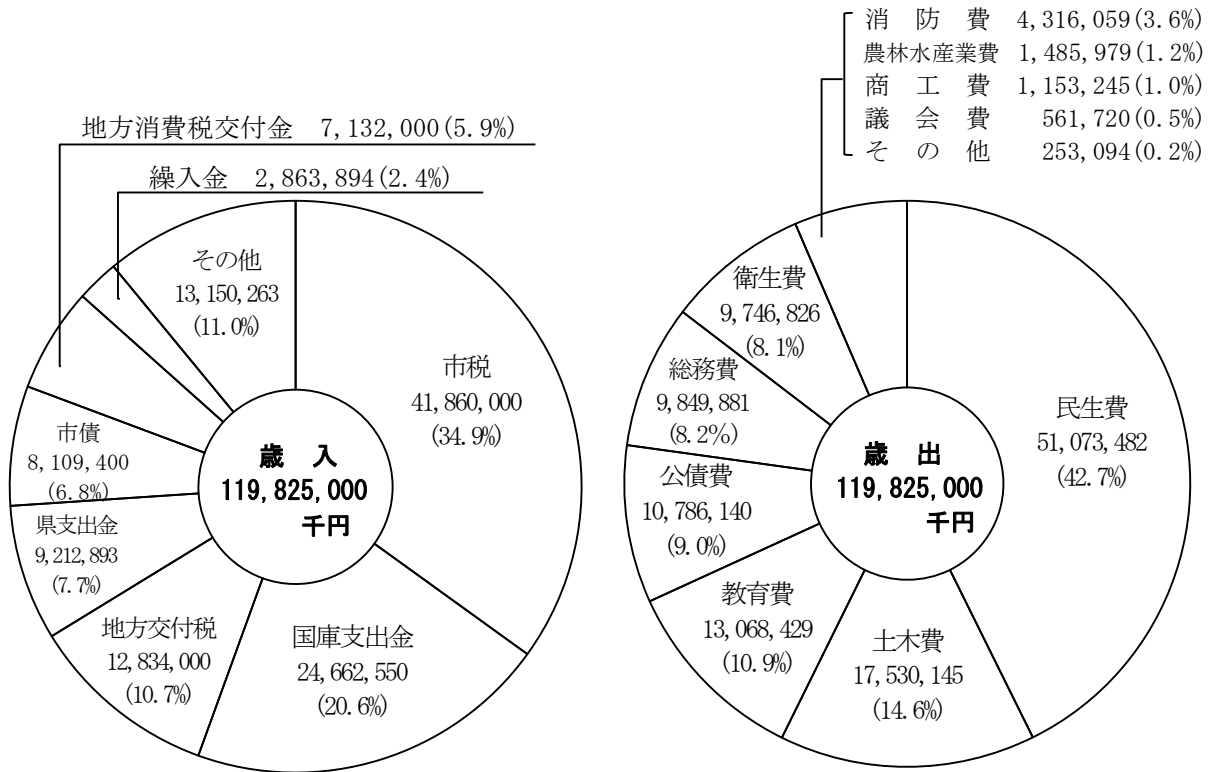
少年自然の家

少年自然の家の維持管理，少年自然の家の事業の企画運営，少年自然の家の予算経理・庶務，水戸市少年自然の家運営委員会，移動天文車

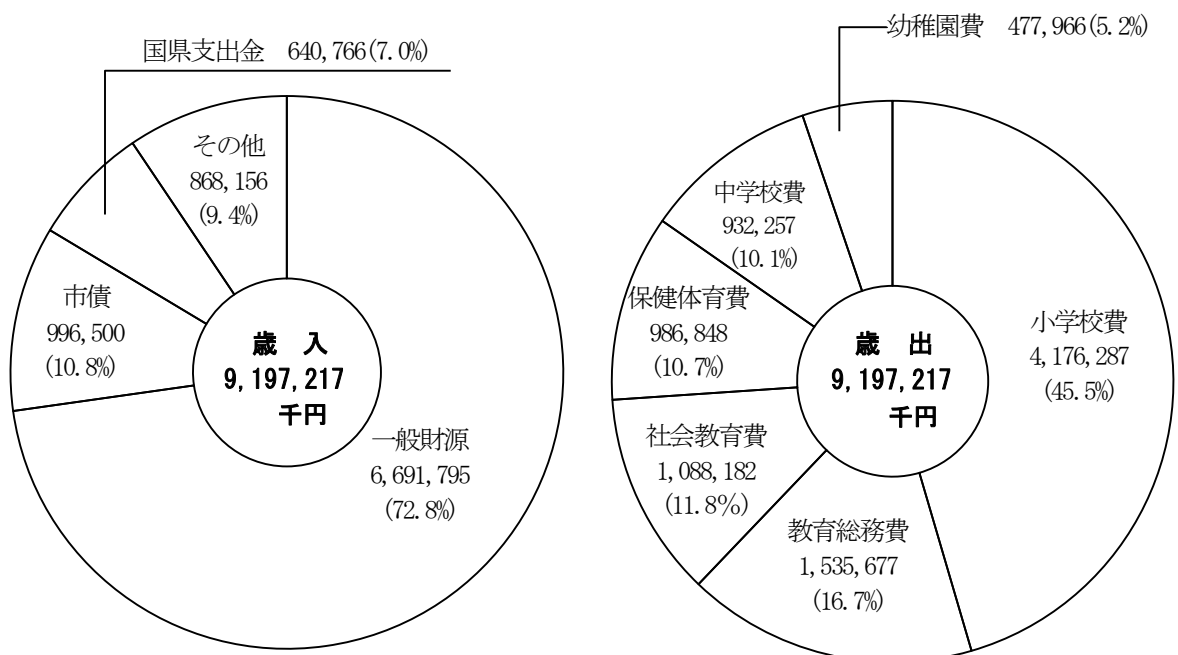


令和6年度当初予算

一般会計歳入歳出予算



教育費(教育委員会分)予算



教育費・民生費(教育委員会分)予算

(単位：千円)

科	目	令和6年度 予算額	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
10	教育費（教育委員会分）	9,197,217	640,766	996,500	868,156	6,691,795
	1 教 育 総 務 費	1,535,677	54,253	0	49,570	1,431,854
	1 教 育 委 員 会 費	4,310	-	-	-	4,310
	2 事 務 局 費	621,124	37	-	15,199	605,888
	3 総 合 教 育 研 究 所 費	910,243	54,216	-	34,371	821,656
	2 小 学 校 費	4,176,287	295,553	781,000	539,960	2,559,774
	1 小 学 校 管 理 費	3,063,687	251,933	-	539,960	2,271,794
	2 小 学 校 教 育 振 興 費	62,300	6,970	-	-	55,330
	3 小 学 校 建 設 費	1,050,300	36,650	781,000	-	232,650
	3 中 学 校 費	932,257	11,960	122,800	6,677	790,820
	1 中 学 校 管 理 費	703,620	2,625	-	6,677	694,318
	2 中 学 校 教 育 振 興 費	72,337	9,335	-	-	63,002
	3 中 学 校 建 設 費	156,300	-	122,800	-	33,500
	4 幼 稚 園 費	477,966	2,310	0	19,176	456,480
	1 幼 稚 園 管 理 費	473,966	2,310	-	19,176	452,480
	2 幼 稚 園 建 設 費	4,000	-	-	-	4,000
	5 社 会 教 育 費	1,088,182	47,290	92,700	23,544	924,648
	1 社 会 教 育 総 務 費	88,430	23,345	-	767	64,318
	2 図 書 館 費	632,695	-	69,300	9,277	554,118
	3 博 物 館 費	74,730	-	-	1,618	73,112
	4 青 少 年 活 動 促 進 費	3,530	-	-	-	3,530
	5 少 年 自 然 の 家 費	84,954	-	-	8,695	76,259
	6 大 串 貝 塚 ふ れ あ い 公 園 費	150,210	23,575	23,400	2,358	100,877
	7 み と 好 文 カ レ ッ ジ 費	53,633	370	-	829	52,434
	6 保 健 体 育 費	986,848	229,400	0	229,229	528,219
	3 学 校 給 食 共 同 調 理 場 費	986,848	229,400	-	229,229	528,219
3	民生費（教育委員会分）	10,755	0	0	126	10,629
	2 児 童 福 祉 費	10,755	0	0	126	10,629
	1 児 童 福 祉 総 務 費	288	-	-	-	288
	5 青 少 年 健 全 育 成 費	10,467	-	-	126	10,341

学 校 教 育

学校教育の振興

特色ある教育課程の編成

水戸市は、国田義務教育学校を除く全ての小・中学校を、平成29年度から併設型小学校・中学校へ移行した。それを受け、小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すため、義務教育学校を含めた市内全校で9年間を見通した特色ある教育課程を編成する。特に、「水戸市教育施策大綱」の基本的方向2「一人一人の確かな学びと夢を実現する水戸スタイルの教育の推進」に向け、平成16年度から「水戸市幼・小・中英会話教育特区」の指定を受けて推進してきた英会話、さらに平成27年度から実施している「水戸まごころタイム」を小中一貫教科として、より一層の充実を図る。

なお、以下の文章において、「小学校」は義務教育学校における前期課程、「中学校」は義務教育学校における後期課程を含むものとする。

1 水戸市の教育課程の編成について

【英会話教育】

(1) ねらい

- ・ 幼稚園・保育所・認定こども園：「英語にふれる」
- ・ 小学校：コミュニケーションを図る素地（高学年は基礎）となる資質・能力を養う。
第1・2学年「英語に親しむ」、第3・4学年「英語に慣れる」、第5・6学年「英語を使う」
- ・ 中学校：コミュニケーションを図る資質・能力を養う。

(2) 授業時数及び学習内容

- ・ 幼稚園・保育所・認定こども園においては、「英語遊び」を30時間程度実施する。
- ・ 小学校においては、全学年で「英会話」の授業を実施し、第3・4学年においては「外国語活動」の授業時数を「英会話」の授業時数に含めて実施する。第5・6学年では、中学校への円滑な接続を図るため、「外国語」の中に含めて実施する。
第1・2学年は30時間、第3・4学年は45時間、第5・6学年は80時間
- ・ 中学校の「英会話」は、「外国語」の中に含めて実施する。
第1学年は145時間、第2・3学年は150時間

(3) 授業時数の削減及び活用について

- ・ 小学校第2学年の「生活」、小学校第3・4学年の「外国語活動」、小学校及び中学校の「総合的な学習の時間」の授業時数を削減し、「英会話」の時間に活用する。

【水戸まごころタイム】

(1) ねらい

- ・ 次世代をリードする人材を育成するため、郷土「水戸」の特色ある教育内容を様々な教育活動に取り入れた水戸らしい教育を体系化し、義務教育9年間を見通した子どもの発達と学びの連続性を重視した系統的・継続的な教育を推進し、小中一貫教育の充実を図る。

(2) 授業時数及び学習内容

- ・ 「水戸教学」「芸術教育」「防災教育」「人間関係づくり」「人権教育」「ESD（持続可能な開発のための教育）」「ICT活用」「問題解決学習」の学習を通して、「総合的な学習の時間」のねらいを包括した「問題解決力」「主体的・創造的・協働的に取り組む態度」「自己の生き方」を身につける。
小学校第1・2学年は12時間（15分のモジュール学習での実施も可能）
小学校第3～6学年は60時間
中学校第1学年は45時間、中学校第2・3学年は60時間

(3) 授業時数の削減及び活用

- ・ 小学校第1・2学年は「生活」の授業時数を、小学校第3学年から中学校第3学年までは、「総合的な学習の時間」の授業時数を削減し、「水戸まごころタイム」の時間に活用する。

【総授業時数について】

小学校においては、国の標準総授業時数を第1・2学年で上回る。

小学校第3学年から第6学年及び中学校においては、国の標準総授業時数と一致している。

2 令和6年度の教育課程について

学校（園）の目指す幼児、児童生徒像を明確にし、幼稚園・認定こども園、小学校、中学校間の一貫した教育を目指して、積極的に校種間の連携を図るとともに、幼児、児童生徒の特性や学校、地域の実態を踏まえ、創意工夫を生かした教育課程の編成に努める。

教育課程の実施状況等の自己点検及び評価を行うとともに、学校の教育課程や指導計画、指導方法等について絶えず評価を行い、学校課題を明確にした上で、その改善に努める。

【幼稚園・保育所・認定こども園】

英語指導助手（AET）の活用を図りながら、学級担任が主体となり「英語遊び」を保育に取り入れる。

【小学校】

英語指導助手（AET）の活用を図りながら、学級担任又は英会話を担当する教員が主体となり、英会話の指導を行う。

【各教科等の授業時数】

区分	各教科の授業時数												授外国語活動の授業時数	時間総合的な学習の授業時数	授特別活動の授業時数	水戸まごころタイムの授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	英会話	外国語	道徳					
1年	306	-	136	-	90 (-12)	68	68	-	102	30 (+30)	-	34	-	-	34	12 (+12)	880 (+30)
2年	315	-	175	-	90 (-15)	70	70	-	105	30 (+30)	-	35	-	-	35	12 (+12)	937 (+27)
3年	245	70	175	90	-	60	60	-	105	45 (+45)	-	35	0 (-35)	0 (-70)	35	60 (+60)	980 (±0)
4年	245	90	175	105	-	60	60	-	105	45 (+45)	-	35	0 (-35)	0 (-70)	35	60 (+60)	1,015 (±0)
5年	175	100	175	105	-	50	50	60	90	-	80 (+10)	35	-	0 (-70)	35	60 (+60)	1,015 (±0)
6年	175	105	175	105	-	50	50	55	90	-	80 (+10)	35	-	0 (-70)	35	60 (+60)	1,015 (±0)

（ ）内の数字は、国の基準との差

【中学校】

「外国語」の時間においては、英語指導助手（AET）の積極的な活用を図る。

「選択教科」は標準授業時数の枠外で開設が可能である。

【各教科等の授業時数】

区 分	各教科の授業時数										総合的な学習の 時間の授業時数	授業特別活動 の授業時数	水戸まごころ タイムの授業時数	総 授業 時数
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	道 特 別 の 教 徳 科				
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	145 (+5)	35	0 (-50)	35	45 (+45)	1,015 (±0)
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	150 (+10)	35	0 (-70)	35	60 (+60)	1,015 (±0)
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	150 (+10)	35	0 (-70)	35	60 (+60)	1,015 (±0)

() 内の数字は、国の基準との差

【水戸まごころタイムの授業時数】

区 分		水戸教学	芸術教育	防災教育	人間関係 づくり	人権教育	E S D	I C T 活用	問題解決 学習	総時数
小 学 校	1年	4	2	2	4					12
	2年	4	2	2	4					12
	3年	5	2	3	5	2	2	5	36	60
	4年	5	4	3	5	2	2	5	34	60
	5年	5	4	3	5	2	2	5	34	60
	6年	5	4	3	5	2	2	5	34	60
中 学 校	1年	5	6	3	5				26	45
	2年	10	5	3	5				37	60
	3年	8	5	3	5				39	60

※ 小学校第1・2学年については、学習内容によって15分のモジュール学習で実施することも可能。

総合教育研究所

1 施設の概要

総合教育研究所は、学校教育に対する時代や社会の要請と生涯学習の理念に立った今日的な課題を的確に把握しながら、学校教育の活性化を実現していくことを目的に、平成6年4月、教育委員会指導室と教育研究所（昭和53年4月設立）とが一体化して開所した。

所在地 水戸市笠原町978-5
電話 029-244-1331（代表）
029-244-6720（教育相談室）
電話相談専用 029-244-6730（教育相談）
029-244-1347（いじめ・青少年相談）
FAX 029-244-6708

敷地面積 9,892.66㎡
建築面積 1,945.27㎡
延床面積 3,993.42㎡
建築構造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
主な施設 1階（1,534.09㎡）

エントランスホール、情報プラザ、図書資料室、映像資料室、所長室、事務室、
相談室1～5、遊戯室1・2、教育相談研究室

2階（963.64㎡）

研究室1、研究室2、研究室3、研究室4（笠原中学校通級指導教室）、
調査研究室（笠原小学校通級指導教室）、研究室5・6、研究室7、
コンピュータ室、休養室

3階（1,157.67㎡）

水戸の教育研究室、教材製作室、映像教材制作室、視聴覚室（みと好文カレッジ）、
視聴覚ホール、和室



2 運営方針

総合教育研究所の運営に当たっては、水戸市教育施策大綱に基づく水戸市教育行政方針や総合教育研究所運営委員会の意見を基に、さらには、学識経験者から多面的な視点に立った助言を得ながら、本市教育の抱える今日的課題を的確に把握し、学校教育の充実を図るため、調査研究、教職員の研修、教育情報の収集・提供、教育相談、各学校の課題や要請に対応した的確な助言・指導等を総合的、効果的に推進する。

また、いじめ・青少年相談を行い、青少年の健全育成に努める。

3 事業内容

(1) 水戸スタイルの教育の推進

① チャレンジプランの推進【確かな学びと学習意欲を高める教育】

ア 確かな学力の定着

(ア) 基本的生活習慣の確立（「規律と協働を高める八策」の推進）

全校で8項目を共通実践し、規律ある落ち着いた生活をするることにより、学校間の学力差をなくすことをねらいとする。

(イ) 個に応じた学習指導の充実（学力向上サポーターによる指導等）

全校に学力向上サポーター（教員免許状保有者）を配置し、習熟度別学習など個に応じた学習指導の充実を図る。

(ウ) 学びの診断の実施とA I ドリルによる課題の克服

小学校第5学年及び中学校第2学年を対象に、学びの診断を実施し、児童生徒の一人一人の学力及び学習の状況を把握し、調査結果に基づき生成された個人別のA I ドリル等を活用することで課題を克服し、確かな学力の定着を目指す。

(エ) 教育データを活用したきめ細かな学習指導・支援

教育ダッシュボードを構築し、日々生成される教育データを統合的に可視化することで、データに基づくきめ細かな学習指導・支援等の充実を図る。

イ 自ら学ぼうとする意欲の育成

(ア) 数学・学習相談「SPOT in MITO」の実施

中学生を対象に、市民センター（8か所）を活用して、冬休み中に数学の学習相談を行い、学力の向上を図る。

(イ) 大学との連携事業「つながる学び みと☆Future College」の実施

児童生徒及び教職員がより質の高い専門的な知識・技能等にふれることで、学ぶ意欲の向上や資質・能力の向上を図る。

連携大学：茨城大学・常磐大学・茨城キリスト教大学・筑波大学

② グローバルプランの推進【世界で活躍できる資質を磨く教育】

ア 英会話力の向上

児童生徒が英語に触れる機会を設けることで、英語を聞く力、話す力を高め、実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。

(ア) 英語指導助手（A E T）の配置

英語指導助手（A E T）を全校に配置し、実践的な英会話授業を実施する。

(イ) 英会話活動プログラムの実施

希望者を対象に、夏休み中に英語指導助手（A E T）と様々な英会話活動や体験活動を行う

「English Activities Program（小学校第5・6学年）」や、「A E Tとのオンライン英会話（中学校第1・2学年）」を実施する。

イ 情報を活用できる能力の育成

(ア) 1人1台端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実

「令和の日本型学校教育」を基に、1人1台端末や大型提示装置などのI C T機器を効果的に活用した学習活動を行いながら、情報活用能力の育成を図る。

- ・ 各教科における「I C Tを活用した学習スタイル」を実施する。
- ・ 外部講師による質の高い授業や外部施設との効果的な交流授業を実施する。
- ・ 学習者用デジタル教科書を活用した効果的な授業を実施する。
- ・ 情報モラル・セキュリティの指導の充実を図る。
- ・ 不登校等の特別な配慮が必要な児童生徒への支援の充実を図る。

(イ) 教科等を横断した実生活における課題解決に向けた探究的な学び（S T E A M教育※）の実践

先端機器等を活用しながら、各教科の学びを基盤とした探究的な学習の充実を図るS T E A M教育を実施する。

※ 各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育（Science：科学，Technology：技術，Engineering：工学，Arts：芸術文化，生活，経済，法律，政治，倫理等，Mathematics：数学）

(ウ) 教職員のICT活用能力の向上

集合研修やオンライン研修、校内研修等を実施し、教職員のICT活用スキルの向上を図る。

また、情報通信技術支援員（ICT支援員）を活用し、学校でのサポート体制の強化に努める。

- ・ ICT活用能力向上のための研修を実施する。
- ・ 「教員のICT活用スキル目標Stage 1～3」を効果的に活用した学習指導等の実践に向けた研修を実施する。
- ・ GIGAスクールプロジェクトリーダーにより、ICTの効果的な活用方法を創出し、幅広く周知する。
- ・ 情報通信技術支援員（ICT支援員）による授業支援及び研修の充実を図る。

ウ 次世代リーダーの育成

(ア) 次世代エキスパート育成事業

小学校第6学年・中学校第1学年を対象に参加者を募集し、学校を超えた学びの場で同世代の仲間が互いに切磋琢磨しながら学ぶ機会を設定する。

	コース	連携校
1	ミニ・スーパーサイエンス	県立水戸第二高等学校
2	ICT エキスパート	県立産業技術短期大学
3	まずmath 数楽NEXT	県立水戸第一高等学校
4	アーツと驚くアートリーダー育成	文化デザイナー学院
5	見つけよう！奏でよう！いい音♪色	県立水戸第三高等学校
6	クリエイティブ×農業技術者育成	県立水戸農業高等学校
7	目指せ！最高経営責任者CEO 育成	県立水戸商業高等学校

(イ) 防災リーダー育成事業

中学校第2学年を対象に、被災地（陸前高田市）の方とのオンラインによる交流や、本市での避難所設営など防災訓練等を体験することで、防災に対する意識の向上と実践的な知識・技能を習得する（各中学校代表者1名参加）。

③ キャリアプランの推進【郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育】

ア 郷土を愛する心を育てる教育の充実

(ア) 水戸教学の推進

- ・ 社会科副読本「みと」（小学校第3・4学年）、「水戸の歴史」（小学校第5・6学年）、「水戸」（中学校）の活用
- ・ 日本遺産（弘道館・偕楽園）や大手門、二の丸角櫓等、水戸の歴史的文化遺産の活用

(イ) おもてなしボランティア活動の推進

- ・ 偕楽園梅まつりでのおもてなしボランティア活動
- ・ 弘道館・三の丸歴史ロードでの史跡等の観光案内
- ・ 水戸黄門漫遊マラソンでの選手への給水活動

イ 豊かな感性の育成

(ア) 世界に誇る水戸芸術館と連携した芸術教育の充実

- ・ 小学生のための演劇鑑賞会
会 場 水戸芸術館ACM劇場
内 容 水戸芸術館ACM団員による演劇を鑑賞
対 象 小学校第4学年
- ・ 子どものための音楽会
会 場 リリーアリーナMITO
内 容 水戸室内管弦楽団による演奏を鑑賞
対 象 小学校第5学年

- ・ “こころの劇場” 劇団四季ミュージカル水戸公演
会 場 水戸市民会館グロービスホール
内 容 劇団四季によるミュージカルを鑑賞
対 象 小学校第6学年
- ・ 中学生のための音楽鑑賞会
会 場 水戸芸術館コンサートホールA TM
内 容 アンサンブル等による演奏を鑑賞
対 象 中学校第1学年
- ・ 中学校合唱の祭典 ～芸術館で歌おう～
会 場 水戸芸術館コンサートホールA TM
内 容 各中学校の合唱祭等で歌った合唱曲の発表
対 象 各中学校長から推薦された1学級
- ・ 水戸芸術館による学校訪問アートプログラムへの参加

(イ) 体験学習の充実

- ・ 職場体験学習
水戸商工会議所と連携し、中学生の職場体験学習を3年間で3日以上確実に実施する。
- ・ 船中泊を伴う自然教室の実施
期 間 令和6年5月8日(水)～5月21日(火)のうち4泊5日 5班編成
場 所 北海道方面「日高青少年自然の家」等公共施設ほか
対 象 中学校第2学年

④ ふれあいプランの推進 [いのちや人権を大切にする教育]

ア いじめの未然防止

(ア) 地域団体、PTA等と連携した取組

月1回以上、登校時に地域団体、PTA、児童生徒、教職員等による「あいさつ運動」を実施する。

(イ) 児童生徒による問題解決に向けた意識の向上

- ・ 各学校の児童会生徒会による、いじめ解決フォーラムを開催する。
- ・ 各学校の児童会生徒会による、いじめ解決に向けたスローガンを設定する。
- ・ 各学校でスローガンを垂れ幕で掲示し、意識を高める。
- ・ 問題解決意識の向上のためのワークショップを開催する。
- ・ 学級単位で、劇や討論等を盛り込んだ子ども自らが問題解決意識を高めるワークショップを開催するとともに、教職員・保護者向けのワークショップをあわせて実施し、意識啓発を図る。

(ウ) SNSによるいじめに関する講演会の実施

各中学校で生徒・保護者向けのITジャーナリストによるSNSに関する講演会を開催する。

イ いじめの早期発見・早期対応

(ア) 相談体制の強化

- ・ 各学校に「相談ポスト」を設置
- ・ いじめ・青少年相談
総合教育研究所内に「いじめ青少年相談電話」を設置
(電話029-244-1347、月曜日～金曜日、9:00～17:00)
- ・ 県の「いばらき子どもSNS相談」や水戸教育事務所内に設置されている教育相談窓口について、定期的に周知する。
- ・ 児童生徒が1人1台端末を活用し、相談したい教職員にいじめを含めた様々な悩みを相談できる校内オンライン相談窓口を開設する。

(イ) 支援組織体制の充実

- ・ 総合教育研究所に「いじめ対応専門班」を設置
- ・ 「いじめ相談ダイヤル」による電話相談
- ・ 「いじめ対応専門班」による学校訪問
- ・ 学校に直接訪問して実態を把握し、学校の支援に当たる。

(ウ) サポートチームによる対応

事例に応じて、PTA・警察・児童相談所・民生委員・保護司等と連携したサポートチームを組織し、対応に当たる。

ウ 児童生徒の規範意識の醸成

人権擁護委員による「いじめをなくそう人権教室」を全校で実施する。



数学・学習相談「SPOT in MITO」



プログラミング学習



船中泊を伴う自然教室



SNSによるいじめに関する講演会

(2) 研究・研修に関する事業

① 研究に関する事業

本市学校教育の抱える今日的課題及び教育実践上の諸問題の中から研究課題を設定し、教育の充実・伸展を図るための研究を行うとともに、その成果をまとめ、各学校の教育活動の資料とする。

水戸市教育会研究事業部と連携を図り、研究奨励（論文等）、研究発表大会等を推進し、研究活動の一層の充実を図る。

ア 研究指定校における研究

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）に関する研究

イ 学力向上に係るRST（リーディングスキルテスト※）の効果的な活用に関する調査研究

拠点校における実証結果を活用した読解力の育成（市教育会研修事業部との共催）

※ 事実や根拠に基づいて書かれた文章の意味や内容を正確に理解する力を確認するためのテスト

ウ 市教育会との連携

(ア) 教育会各研究部に対する助成

(イ) 教育研究の奨励

(ウ) 教育研究発表大会の共催

エ 大学等との連携

- (ア) 学校における学生の教育支援及び教育体験
- (イ) 茨城大学と連携した教職員の研修及び教育研究
- (ウ) 大学との連携事業「つながる学び みと☆Future College」

県内4大学と拠点校をハイブリッド（対面・オンライン・オンデマンド）でつなげ、質の高い学びや取組を市内全校に広げることで、児童生徒及び教職員の資質・能力の向上を図る。

- ・ 茨城大学（ICT活用）
- ・ 常磐大学（SDGsへの理解）
- ・ 茨城キリスト教大学（国際理解）
- ・ 筑波大学（健やかな体の育み）

② 研修に関する事業

中核市として、本市の実情に対応した教職員相互の主体的・実践的な研修を設けるなど、本市の教職員を対象に市独自の研修を実施し、水戸スタイルの教育の充実を図る。

【水戸市の目指す教師像 ～水戸市教育施策大綱の具現化に向けて～】

- 教育に対する強い**使命感**と情熱のもと全体に奉仕する教師
- 高い**専門性**を身に付け常に学び続ける教師
- 豊かな人間性や社会性を身に付け地域から**信頼**される教師

【教員の資質となる3つの柱】

- 1 使命感
 - ・ 公教育に求められる役割と責任の自覚
 - ・ 子ども一人一人への強い愛情
 - ・ 職務遂行のための強い情熱
- 2 専門性
 - ・ 人間の成長・発達についての深い理解
 - ・ 共感的児童生徒理解を基盤にした指導力
 - ・ 確かな教材研究に基づく授業力
- 3 信頼
 - ・ コンプライアンス意識と市民目線に立った言動
 - ・ 社会貢献活動への深い理解
 - ・ 謙虚に自己研鑽に励む姿勢

- 新規採用教員研修（初任者，2年次，3年次）
3年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図る。
- 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修（6年次）
全般的な教育活動の在り方について再認識するとともに、自己の課題を明確にし、授業力を高める。
- 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修（12年次）
広い視野から教育実践上の様々な課題を究明し改善を図るとともに、組織力向上のための知識や技能の習得を図る。

法定研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
新規採用教員〔初任者〕研修	14	初任者
新規採用教員〔2年次〕研修	4	2年次
新規採用教員〔3年次〕研修	4	3年次
中堅教諭等〔前期〕資質向上研修	8	6年次
中堅教諭等〔後期〕資質向上研修	6	12年次



新規採用教員研修開講式

なお、新規採用教員〔初任者〕研修及び中堅教諭等〔前期〕資質向上研修の技能教科（音楽、美術、保健体育、技術、家庭）の教科別研修並びに新規採用教員〔初任者〕研修の特別支援学校の実地研修は、茨城県に委託する。

また、本市の教職員を対象に、今日の教育課題に対応するよう体系化した研修を計画的に実施し、教職員としての資質を高め、指導力の向上に努める。

水戸市教育会研修事業部と連携し、教職員の研修計画及び運営を進め、一層の教育成果の向上を図る。

ア 基本研修

教職員の職務遂行に必要な基本的内容を中心とした指定研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
G I G Aスクール研修	5	小・中 教職員
学校安全対策研修	1	副校長，小・中 教頭 園（所）長，保・幼・認 教頭
研究主任研修	2	小・中 研究主任

※ 保：保育所，幼：幼稚園，認：認定こども園を示す（以下同様）。

イ 専門研修

(7) 学校課題研修

各学校等の課題を解決し、活性化を図るために必要な基本的内容を中心とした指定及び推薦研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
小中一貫教育研修	1	小・中 小中一貫教育コーディネーター
外国語指導法研修	2	小・中 外国語（英語）主任及び希望者
特別支援教育研修	3	特別支援コーディネーター等
不登校対策研修	2	小・中 教職員
人権教育研修	1	保・幼・認・小・中 教職員
Kickstart Program研修	3	小・中 教職員
ミライシード研修	12	小・中 教職員
進路指導主事研修	1	小 教務主任，中 進路指導主事
進路指導研修	1	小 教務主任，中 進路指導主事

(イ) 職務研修

学力向上サポーターや英語指導助手（AET）、特別支援教育支援員等のための職務研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
校務支援システム研修	1	小・中 管理職・事務職員
学校防災教育研修	1	小・中 教職員 PTA 一般市民
特別支援教育支援員研修	2	小・中 特別支援教育支援員
心の教室相談員研修・事例検討会	5	心の教室相談員
部活動指導員研修	2	部活動指導員
英語指導助手研修・定期研修等	14	英語指導助手（AET）
学力向上サポーター研修	1	小・中 学力向上サポーター
日本語指導員研修会	3	日本語指導員
学習障害（発達性読み書き障害）指導・支援プログラム研修	4	小・中 教職員



Kickstart Program 研修



特別支援教育支援員研修

(ロ) 事務職員等研修

予算や会計に係る専門的な実務知識や適切な予算管理・運用を習得するための研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
事務職員等研修	10	小・中 事務職員等

(エ) 希望研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
ティーム・ティーチング指導法研修	4	小 教職員

ウ 特別研修

(ア) 講演・総会

本市の教育課題及び学校課題の解決に資するための講師を招いた講演会や研究実践発表会

研 修 講 座 名	回 数	対 象
総研セミナー	1	保・幼・認・小・中 教職員
消費者教育理解のための研修（共催）	1	保・幼・認・小・中 教職員 一般市民
一般教養研修（総会）（共催）	2	幼・認・小・中 教職員

(イ) 保護者対応研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
わが子と歩む親の会	3	小・中 保護者

(ロ) 指導力向上研修

研 修 講 座 名	回 数	対 象
水戸市ステップアップ研修	随時	保・幼・認・小・中 教職員

③ 情報教育及び広報活動の推進

1人1台端末をはじめとする情報機器、情報通信ネットワークの有効活用を図るとともに、円滑な学校運営、児童生徒の安全確保などを目的に、保護者や市民への情報提供に努める。

ア 情報教育に関する研究、研修

- (ア) G I G Aスクール構想に向けた教職員研修（情報モラル等を含む。）
- (イ) 情報通信技術支援員（I C T支援員）によるI C T活用研修
- (ウ) G I G Aスクールプロジェクトリーダー研修
- (エ) 外部講師によるI C T活用に関する研修



端末を活用した授業実践

イ 学校及び総合教育研究所からの情報発信

- (ア) 各学校ホームページ及び小中一貫ホームページによる情報発信
- (イ) 総合教育研究所ホームページによる情報発信
- (ウ) 水戸市G I G Aスクール構想専用ホームページによる情報発信

ウ 学校教育情報システムの維持・管理

学校で利用する校務用コンピュータやネットワークシステム、校務支援ソフトウェア等のトラブルに対処するためのサポート体制の整備

エ デジタル教材等の整備と管理

学習者用デジタル教科書への対応、整備

オ 広報誌の編集・発行及び市教育会広報事業部との連携

- (ア) 「総研だより吐玉」の編集・発行
- (イ) 市教育会広報事業部への情報提供及び編集に関する助言

(3) 指導・助言に関する事業

ア 学校訪問

人間性豊かな幼児・児童生徒の育成を目指し、創意工夫を生かしながら地域に根ざした特色ある教育の推進が図れるよう、各学校（園）の課題や要請に対応する効果的な指導・助言に努める。

(ア) 計画訪問

学校（園）経営、学習指導等、教育活動全般に関する指導・助言

(イ) 指定校訪問

学習（保育）指導法の改善のための指導・助言

(ウ) 要請訪問

各学校（園）からの要請に応じ、課題解決に向けた指導・助言

(エ) 生徒指導訪問

生徒指導体制づくりに関する指導・助言

(オ) 学校支援訪問

各学校における配慮を要する児童生徒への対応に向けた指導・助言

イ 教育課程の円滑な実施に向けての指導

幼児・児童生徒の「生きる力」の育成、基礎・基本の徹底及び個性と創造性の伸長等が図れるよう、一人一人のよさや可能性を生かす指導を推進する。

(ア) 全校（園）の教育目標の具現化を目指した教育課程の編成、実施及び評価

(イ) 学習指導要領に係る指導上の対応

(ウ) 特色ある学校づくりの推進

(エ) ティーム・ティーチングや少人数指導など個に応じた指導の充実

(オ) 学力向上に関する調査研究事業の推進

(カ) 全校（園）における英会話教育の推進

(キ) 幼稚園・保育所・認定こども園共通の小学校就学前教育・保育カリキュラムの推進

ウ 生徒指導の充実を図る指導・助言

積極的な生徒指導に努めるとともに、諸問題の把握と生徒指導体制の一層の充実を図る。

(ア) いじめ・不登校への対応（各学校との情報共有によるきめ細かな支援）

(イ) 問題行動への対応（学校、関係機関との連携を図るサポートチーム等による児童生徒への支援）

(ウ) 各種調査によるいじめ、不登校、反社会的行動及び児童虐待等の的確な状況把握と援助・指導

(エ) 水戸市学校・警察連絡協議会における対応

(オ) 水戸市いじめ問題対策連絡協議会における対応

(4) 教育相談に関する事業

児童生徒の教育上の諸問題について、本人、保護者及び教職員を対象に教育相談を行うとともに、教育相談のあり方についての研究や研修を行い、その成果を教育実践の中で広める。

学校と連携を密にし、積極的な協力体制の中で不登校、集団不適応及び友人関係等の問題解決に努め、その対応に当たる。

① 「教育支援センター（教育相談室・うめの香ひろば）」の設置

総合教育研究所内に「教育支援センター（教育相談室・うめの香ひろば）」を設置し、児童生徒及び保護者等の相談や児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

ア 教育相談室

児童生徒の教育上の諸問題及び教職員の悩みについて教育相談を行い、解決を図る。

(ア) 来所相談

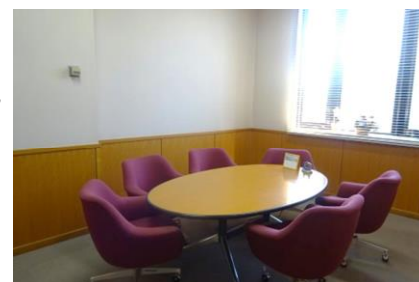
・ 内 容

不登校、集団不適応、友人関係、進路の問題、行動特性の問題、家庭の問題、性の問題など教育上の諸問題

・ 時 間

月曜日～金曜日 9：00～20：00、土曜日 9：00～17：00

※ 日曜日・祝日、年末年始を除く。



相談室

(イ) 電話相談

・ 内 容

不登校、集団不適応、友人関係、進路の問題、行動特性の問題、家庭の問題、性の問題など教育上の諸問題

・ 時 間

月曜日～金曜日 9：00～20：00、土曜日 9：00～17：00

※ 日曜日・祝日、年末年始を除く。

【来所相談の状況】（令和5年度）

相談件数 (件)	小学生 (件)	中学生 (件)	家族 (件)	その他 (件)	延べ回数（回） (教員による相談)
467	89	86	283	9	4,049 (45)

【電話相談の状況】（令和5年度）

（単位：回）

相談回数	小学生	中学生	家族	その他 (高校生・一般)
1,634	5	48	1,529	52

イ うめの香ひろば

不登校児童生徒を対象に、心身の安定を図る居場所を提供するとともに、集団の中で児童生徒が本来持っている成長の力を引き出し、学校復帰を目標にするだけでなく、社会的自立に向けた支援を行う。

・ 時 間

火曜日～木曜日 9：00～15：00、金曜日 9：00～13：00

・ 対 象

小学校第3学年から中学校第3学年まで



うめの香ひろば「遊戯室」

ウ その他の相談

(ア) 家庭訪問相談

- ・ 内 容
不登校で家庭に引きこもり気味の児童生徒を支援するため、家庭訪問による相談を行う。
- ・ 時 間
月曜日～金曜日 9:00～16:00

(イ) 専門医による面接相談

- ・ 内 容
情緒不安、心の悩み等について、専門医が本人・保護者・教職員等を対象に、面接による相談を行う。
- ・ 実施回数
年4回（6月、9月、11月、1月）

② 学校における相談体制の充実

児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、教育相談体制の充実を図る。

ア 指導主事による学校（要請）訪問

- ・ 事例検討会〔見立てと援助方針、支援体制等〕の開催
- ・ 理論・実技研修会〔教育相談の進め方や技法の研修等〕の開催

イ 心の教室相談員配置事業

対 象：全中学校

ウ スクールカウンセラー配置事業

拠点校：全中学校

対象校：全小学校

※ 県からの派遣のほか、令和6年度から本市独自にスクールカウンセラー1名配置。

エ スクールソーシャルワーカー派遣事業

対 象：児童生徒、保護者、教職員

※ 県からの派遣のほか、本市独自にスクールソーシャルワーカー2名配置。

オ 校内オンライン相談窓口の開設

児童生徒が1人1台端末を活用し、相談したい教職員にいじめを含めた様々な悩みを相談できる校内オンライン相談窓口を開設する。

カ 校内フリースクールの設置

不登校生徒が安心して生活できる専用の教室を校内に確保し、担当教職員及び校内フリースクール支援員（教員免許状保有者）を配置し、一人一人の学習計画に応じた支援を実施する。

設置校：全中学校

(5) 特別支援教育に関する事業

発達障害等を含む特別な教育的支援が必要である児童生徒が、その障害の状態や発達段階等に応じ、適切な教育が受けられるよう幼児期からの就学相談の充実に努めるとともに、教育環境の整備と指導の充実を図る。

① 児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- ア 特別支援教育支援員の配置
- イ 特別支援教育専門員の配置
- ウ 特別支援学級等の新設校訪問、集合指導訪問、指定校訪問
- エ 随時訪問による実態の把握及び支援の充実
- オ 特別支援学校のセンター的機能の活用

② 早期支援体制の充実

- ア 幼児期からの就学相談の実施
- イ 心理検査の専門性を有する調査員の配置
- ウ こども発達支援センターとの連携

4 令和6年度研究指定校等について

(1) 水戸市指定校

指 定 校	推進形態	指定年度
[内原中学校区] 鯉淵小学校 妻里小学校 内原小学校 内原中学校	学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール)	令和5・6年度

(2) 茨城県指定校

指 定 校	推進形態	指定年度
内原中学校	学びのイノベーション推進プロジェクト(社会科)	令和6年度
[小学校] 常磐小学校・新荘小学校・柳河小学校 [中学校] 第三中学校・飯富中学校・双葉台中学校	いばらき遠隔教育推進事業(英語科) 【茨城オンラインスタディplus】	令和6・7年度

(3) 大学との連携事業「つながる学び みと☆Future College」

指 定 校	推進形態	指定年度
下大野小学校	茨城大学(ICT活用)	令和6年度
上大野小学校	常磐大学(SDGsへの理解)	令和6年度
国田義務教育学校	茨城キリスト教大学(国際理解)	令和6年度
大場小学校	筑波大学(健やかな体の育み)	令和4・5・6年度

(4) 水戸市アグリメイトいきいき農業体験事業

- | | | |
|----------|--------|---------|
| ・常磐小学校 | ・緑岡小学校 | ・上大野小学校 |
| ・柳河小学校 | ・飯富小学校 | ・河和田小学校 |
| ・上中妻小学校 | ・赤塚小学校 | ・下大野小学校 |
| ・稲荷第一小学校 | ・大場小学校 | ・鯉淵小学校 |
| ・妻里小学校 | ・内原小学校 | |

5 令和6年度教科用図書一覧

(1) 小学校（通常の学級）

種 目	発行者 番 号 略 称	教 科 書 名	教 科 書 番 号					
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
国語	国語	38 光村	113 114	213 214	313 314	413 414	513	613
	書写	38 光村	108	208	308	408	508	608
社会	社会	2 東書			305	405	505 506	605 606
	地図	46 帝国			304			
算 数	61 啓林館	わくわく算数	120 121	220 221	320 321	420 421	520	620
理 科	4 大日本	たのしい理科			308	408	508	608
生 活	2 東書	あたらしいせいかつ	117 118					
音 楽	27 教芸	小学生の音楽	104	204	304	404	504	604
図画工作	116 日文	図画工作	107 108		307 308		507 508	
家 庭	9 開隆堂	わたしたちの家庭科					504	
保 健	2 東書	新しい保健			306		506	
外国語 (英語)	2 東書	NEW HORIZON Elementary English Course					509 510	609
特別の教科 道 徳	2 東書	新しい道徳	112	212	312	412	512	612

(2) 中学校（通常の学級）

種 目	発行者番号 略 称	教 科 書 名	教 科 書 番 号		
			1 年	2 年	3 年
国語	国 語	38 光村	704	804	904
	書 写	38 光村	704		
社会	社 会 (地理的分野)	2 東書	701		
	社 会 (歴史的分野)	2 東書	705		
	社 会 (公民的分野)	46 帝国			903
	地 図	46 帝国	702		
数 学	4 大日本	数学の世界	702	802	902
理 科	4 大日本	理科の世界	702	802	902
音 楽	音 楽 (一般)	27 教芸	702	803 804	
	音 楽 (器楽合奏)	27 教芸	752		
美 術	116 日文	美術	703	803 804	
保健体育	224 学研	中学保健体育	704		
技術・家庭 (技術分野)	2 東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	701		
技術・家庭 (家庭分野)	2 東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	701		
外国語 (英語)	2 東書	NEW HORIZON English Course	701	801	901
特別の教科 道 徳	2 東書	新訂 新しい道徳	701	801	901

(3) 小学校（知的障害特別支援学級）

種目（教科名等）		型	教科書区分	学年	教科書名	出版社		
国語	国語	A	検 定	1・2	こくご一上 かざぐるま ・一下 ともだち	38 光村		
			検 下	3	こくご二上 たんぽぽ ・二下 赤とんぼ	38 光村		
			検 下	4	国語三上 わかば ・三下 あおぞら	38 光村		
			検 下	5	国語四上 かがやき ・四下 はばたき	38 光村		
			検 下	6	国語五 銀河	38 光村		
		B	文科著	1	こくご ☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書		
			文科著	2	こくご ☆☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書		
			文科著	3～6	こくご ☆☆☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書		
			書写	A	検 定	1	しよしゃ 一ねん	38 光村
					検 定	2	しよしゃ 二年	38 光村
	検 定	3			書写 三年	38 光村		
	検 定	4			書写 四年	38 光村		
	検 定	5			書写 五年	38 光村		
	検 定	6			書写 六年	38 光村		
	B	検 定		1・2	しよしゃ 一ねん	38 光村		
		検 下		3	しよしゃ 二年	38 光村		
		検 下		4	書写 三年	38 光村		
		検 下		5	書写 四年	38 光村		
	社会	社会	A	検 定	3	新しい社会3	2 東書	
				検 定	4	新しい社会4	2 東書	
検 定				5	新しい社会5上, 5下	2 東書		
検 定				6	新しい社会6 政治・国際編、歴史編	2 東書		
B			一 般	3～6	子どものマナー図鑑① ふだんの生活のマナー	偕成社		
			一 般		子どものマナー図鑑③ でかけるときのマナー	偕成社		
			一 般		絵で見る日本の歴史	福音館書店		
			一 般		続・しごとば	ブロンズ新社		
			一 般		もっと・しごとば	ブロンズ新社		
			一 般		すべては姿かたちにあられる！ 日本の歴史生活図鑑ビジュアルブック	東京書店		
			一 般		たのしくよめる日本のすごい歴史人物伝	高橋書店		
			一 般		10才までに知っておきたい 日本まるごとガイドブック	小学館		
地図		A	検 定	3～6	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	46 帝国		
		B	一 般	3～6	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	小学館		
			一 般		ドラえもんちずかん2 せかいちず	小学館		
			一 般		1日10分 日本地図をおぼえる本	白泉社		
			一 般		1日10分でせかいちずをおぼえる絵本	講談社		
			一 般		さがして見つけて日本一周！くろくまくんのにほんちずえほん	くもん出版		
			一 般		るるぶ 地図でよくわかる 都道府県 大百科	JTBパブリッシング		
			一 般		るるぶ 地図でよくわかる 都道府県 ワークブック	JTBパブリッシング		
一 般	マインクラフトで楽しく学べる！都道府県大図鑑	宝島社						
算 数	A	検 定	1・2	わくわく さんすう1すたあと ぶっく, 1	61 啓林館			
		検 下	3	わくわく 算数2上, 2下	61 啓林館			
		検 下	4	わくわく 算数3上, 3下	61 啓林館			
		検 下	5	わくわく 算数4上, 4下	61 啓林館			
		検 下	6	わくわく 算数5	61 啓林館			
	B	文科著	1	さんすう ☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	17 教出			
		文科著	2	さんすう ☆☆(1)・☆☆(2)特別支援学校小学部知的障害者用	17 教出			
		文科著	3～6	さんすう ☆☆☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	17 教出			
理 科	A	検 定	3	たのしい理科3年	4 大日本			
		検 定	4	たのしい理科4年	4 大日本			
		検 定	5	たのしい理科5年	4 大日本			
		検 定	6	たのしい理科6年	4 大日本			

	B	一般	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	わくわく自由研究 工作・観察・実験ブック（1）	国土社
		一般		あそびのおうさまずかん1 からだ増補改訂	学研
		一般		かがくのとも絵本 たべられるしょくぶつ	福音館書店
		一般		ほんのおおきさ動物園	学研
		一般		小学館の子ども図鑑 プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶ ふしぎの図鑑	小学館
		一般		写真でわかるなぜなに1 どうぶつ	世界文化社
		一般		改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさしい・くだもの	ひかりのくに
		一般		科学のなぜ？新事典	増進堂
		一般		しぜんとかがくのはっけん！366	主婦の友社
		一般		マンガでわかる！10才までに覚えたい 科学のふしぎ250	永岡書店
		一般		なぜ？ど～して？科学の図鑑	永岡書店
		一般		のはらのずかん（絵本図鑑シリーズ 12）	岩崎書店
		一般		遊んで学ぼう！こどもマイクラプログラミング	KADOKAWA
生 活	AB	検 定	1・2	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上, あしたヘジャンプ 新しい 生活 下	2 東書
		一般		町たんけん はたらく人みつけた	福音館書店
		一般		ペットボトルで育てよう 野菜・花	汐文社
		一般		ひとりでできるよ！こどもせいかつずかん	日本図書センター
		一般		改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさしい・くだもの	ひかりのくに
音 楽	A	検 定	1	小学生のおんがく 1	27 教芸
		検 定	2	小学生の音楽 2	27 教芸
		検 定	3	小学生の音楽 3	27 教芸
		検 定	4	小学生の音楽 4	27 教芸
		検 定	5	小学生の音楽 5	27 教芸
		検 定	6	小学生の音楽 6	27 教芸
	B	文科著	1	おんがく ☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書
		文科著	2	おんがく ☆☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書
		文科著	3～6	おんがく ☆☆☆ 特別支援学校小学部知的障害者用	2 東書
図画工作	A	検 定	1・2	ずがこうさく1・2 まるごと たのしもう上, 下	116 日文
		検 定	3・4	図画工作3・4 ためす 見つける上, 下	116 日文
		検 定	5・6	図画工作5・6 わたしとひびき合う上, 下	116 日文
	B	一般	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	かがくのとも絵本 しんぶんしでつくろう	福音館書店
		一般		あそびの絵本 クレヨンあそび	岩崎書店
		一般		エンバリーおじさんの絵かきえほん しもんスタンプでかいてみよう	偕成社
		一般		どうようでおえかきができる どうようNEW絵かきうたブック	ひかりのくに
		一般		あそびの絵本 えのぐあそび	岩崎書店
		一般		ペーパーランド3 とびだすカード	ポプラ社
		一般		ペーパーランド8 おりがみえあそび	ポプラ社
		一般		かがくのとも絵本 かみで あそぼう きる・おる	福音館書店
		一般		しぜんで工作しよう	岩崎書店
		一般		かがくのとも絵本 かみコップで つくろう	福音館書店
		一般		はじめてのこうさくあそび	のら書店
		一般		あそびのおうさまずかん12 リサイクルこうさく増補改訂	学研
		一般		改訂新版 体験を広げるこどものずかん⑧ あそびのずかん	ひかりのくに

		一般		子どものためのアートブック その一	ファイドン
		一般		5回で折れる かざれる!あそべる!おりがみ ②動物	汐文社
		一般		5回で折れる かざれる!あそべる!おりがみ ③食べもの	汐文社
		一般		楽しみながら才能を伸ばす!小学生の絵画 とっておきレッスン	メイツ出版
家 庭	A	検 定	5・6	小学校 わたしたちの家庭科 5・6	9 開隆堂
	B	一般	5・6	小学館の子ども図鑑 プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶ せいかつの図鑑	小学館
		一般		子どものマナー図鑑(2) 食事のマナー	偕成社
		一般		子どものマナー図鑑(4) おつきあいのマナー	偕成社
		一般		子どもの生活(3) マナーをきちんとおぼえよう!	偕成社
		一般		かがくのとも絵本 平野レミの おりょうりブック	福音館書店
		一般		家庭科の教科書 小学校低学年～高学年用	山と溪谷社
		一般		ひとりでするもん! 1 たのしいたまご料理	金の星社
		一般		つくってたべよう! お料理マジック2	教育画劇
		一般		こども きせつのぎょうじ絵じてん 小型版第2版	三省堂
		一般		おてつだいの絵本	金の星社
		一般		こどもりょうりのことは絵じてん [小型版]	三省堂編修所
		一般		はじめてでもかんたん!小学生のお料理レシピ	成美堂出版
		一般		はじめてのおかねえほん	西東社
		一般		子どもの生きる力を育てる せいかつの絵じてん	ナツメ社
		一般		明日のために知っておきたい お金のこと	新興出版社
		一般		学校では教えてくれないこと3 お金のこと	旺文社
		一般		はじめてのおさいほう Book 手縫い編	日東書院
保 健	A	検 定	3・4	新しいほけん 3・4	2 東書
		検 定	5・6	新しい保健 5・6	2 東書
	B	一般	3・4 5・6	かがくのとも絵本 きゅうきゅうばこ新版	福音館書店
		一般		安全のしつけ絵本(1) きをつけようね	偕成社
		一般		あそびのおうさまずかん1 からだ 増補改訂	学研
		一般		絵でわかるこどものせいかつずかん① みのまわりのきほん	合同出版
		一般		大切なからだ・こころ	少年写真新聞社
		一般		こどものずかんMio⑨ ひとのからだ	ひかりのくに
		一般		こどもあんぜん図鑑	講談社
		一般		イラスト版体育のコツ 運動が得意になる43の基本レッスン	合同出版
		一般		こどもぼうさい・あんぜん絵じてん [小型版]	三省堂編修所
		一般		こどもかだらのしくみ絵じてん [小型版]	三省堂編修所
		一般		からだのふしぎ なぜ どうして	高橋書店
		一般		はじめての「からだ」と「性」のえほん だいじ だいじ どーこだ?	大泉書店
		一般		からだのふしぎ けがとびょうきのナゾ	世界文化社
外国語 英 語	A	検 定	5	NEW HORIZON Elementary English Course 5	2 東書
		検 定	5・6	NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	2 東書
		検 定	6	NEW HORIZON Elementary English Course 6	2 東書
	B	一般	5・6	ひらがな 和英えほん	戸田デザイン研究室
		一般		あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうにいく	あかね書房
		一般		あかね書房の学習えほん ことばのえほん ABC	あかね書房

		一 般		あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんのピクニック	あかね書房
		一 般		CD付き英語カード あいさつと話ことば編	くもん出版
		一 般		ARで英語が聞ける英語もののなまえ絵じてん	三省堂
		一 般		見て、聞いて覚える！はじめてのえいご おしゃべりえほん	永岡書店
特別の教科 道 徳	A	検 定	1	新編 あたらしい どうとく 1	2 東書
		検 定	2	新編 新しい どうとく 2	2 東書
		検 定	3	新編 新しいどうとく 3	2 東書
		検 定	4	新編 新しいどうとく 4	2 東書
		検 定	5	新編 新しい道徳 5	2 東書
		検 定	6	新編 新しい道徳 6	2 東書
	B	検 定	1・2	新編 あたらしい どうとく 1	2 東書
		検 下	3	新編 新しい どうとく 2	2 東書
		検 下	4	新編 新しいどうとく 3	2 東書
		検 下	5	新編 新しいどうとく 4	2 東書
		検 下	6	新編 新しい道徳 5	2 東書

(4) 中学校 (知的障害特別支援学級)

種目 (教科名等)		型	教科書区分	学年	教科書名	出版社
必修教科	国語	国語	A	検下 1	国語六 創造	38 光村
			A	検下 2	国語 1	38 光村
			A	検下 3	国語 2	38 光村
		B	文科著	1	国語 ☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	2 東書
			文科著	2・3	国語 ☆☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	2 東書
		書写	A	検定 1~3	中学書写 一・二・三年	38 光村
			B	検下 1	書写 六年	38 光村
			B	検下 2・3	中学書写 一・二・三年	38 光村
		社会	A	検定 1・2	新しい社会 地理	2 東書
			B	1・2	もっと知りたい！世界の国ぐにビジュアル事典改訂版	メイツ出版
					中学入試 くらべてわかる できる子図鑑 社会 改訂版	旺文社
					るるぶ 地図でよくわかる 都道府県 大百科	JTB パブリッシング
					るるぶ 地図でよくわかる世界の国大百科	JTB パブリッシング
					中学地理をひとつひとつわかりやすく	学研
			A	検定 1~3	新しい社会 歴史	2 東書
			B	1~3	福音館の科学シリーズ 絵で見る日本の歴史	福音館書店
					たのしくよめる日本のすごい歴史人物伝	高橋書店
					中学入試 くらべてわかる できる子図鑑 社会 改訂版	旺文社
					すべては姿かたちにあられる日本の歴史生活図鑑ビジュアルブック	東京書店
					はじめての日本のれきしえほん	PIE
					中学歴史をひとつひとつわかりやすく	学研
		公民的分野	A	検定 3	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	46 帝国
			B	3	続・しごとば	ブロンズ新社
					もっと・しごとば	ブロンズ新社
					図解 はじめて学ぶみんなの政治	晶文社
					中学入試 くらべてわかる できる子図鑑 社会 改訂版	旺文社
					きつずジャポニカセレクション 10 才までに知っておきたい日本まるとガイドブック	小学館
					池上彰のはじめてのお金の教科書	幻冬舎
					中学公民をひとつひとつわかりやすく	学研
			A	検定 1~3	中学校社会科地図	46 帝国
		地図	B	1~3	ドラえもんちずかん 1 にっぽんちず	小学館
					ドラえもんちずかん 2 せかいちず	小学館
					1 日 10 分 日本地図をおぼえる本	白泉社
					1 日 10 分でせかいちずをおぼえる絵本	講談社
					マインクラフトで楽しく学べる！都道府県大図鑑	宝島社
					小学生のための学習 世界地図帳	成美堂出版
					小学生のための学習 日本地図帳	成美堂出版
		数学	A	検下 1	たのしい算数 6	4 大日本
				検下 2	数学の世界 1 年	4 大日本
				検下 3	数学の世界 2 年	4 大日本
			B	文科著 1	数学 ☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	17 教出
				文科著 2・3	数学 ☆☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	17 教出
		理科	A	検定 1	理科の世界 1	4 大日本
				検定 2	理科の世界 2	4 大日本
				検定 3	理科の世界 3	4 大日本
			B	1~3	ヒントがたくさん！しくみがわかる！ わくわく自由研究 工作・観察・実験ブック①	国土社
					なぜ？どうして？科学の図鑑	永岡書店
					改訂新版体験を広げるこどものずかん 4 はなとやさしい・くだもの	ひかりのくに
					のはらのずかん	岩崎書店

必修教科				一般		科学のなぜ？新事典	増進堂
				一般		小学館の図鑑 NEO17 科学の実験 [新版] あそび・工芸・手品	小学館
				一般		マンガでわかる！10 才までに覚えたい 科学のふしぎ 250	永岡書店
				一般		遊んで学ぼう！こどもマイクラプログラミング	KADOKAWA
				一般		中1 理科をひとつひとつわかりやすく	学研
				一般		中2 理科をひとつひとつわかりやすく	学研
				一般		中3 理科をひとつひとつわかりやすく	学研
	音楽	一般	A	検 定	1	中学生の音楽 1	27 教芸
				検 定	2・3	中学生の音楽 2・3 上, 2・3 下	27 教芸
			B	文科著	1	音楽 ☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	2 東書
				文科著	2・3	音楽 ☆☆☆☆☆ 特別支援学校中学部知的障害者用	2 東書
		器楽合奏	AB	検 定	1～3	中学生の器楽	27 教芸
	美術	A	検 定	1	美術1 美術との出会い	116 日文	
			検 定	2・3	美術2・3 上 学びの実感と広がり 美術2・3 下 学びの探求と未来	116 日文	
		B	一般	1・2・3	かこさとし うつくしい絵	偕成社	
					あそびの絵本 えのぐあそび	岩崎書店	
					作ってみよう！リサイクル工作6 8	成美堂出版	
					工作図鑑	福音館書店	
					あーとぶっく ひらめき美術館第2館	小学館	
					たのしい図画工作1 4 こすりだし・すりだし	国土社	
					たのしい図画工作1 6 ちぎり紙・きり紙・はり絵	国土社	
あーとぶっく ひらめき美術館第1館					小学館		
あそびのレシピ					福音館		
子どものためのアートブック その一					ファイドン株式会社		
名画で遊ぶ あそびじゅつ！ ー世界をぐるりと美術鑑賞ー					ロクリン社		
名画で遊ぶ あそびじゅつ！ ー絵が語る歴史と物語ー					ロクリン社		
直感こども美術館 見てごらん！名画だよ					西村書店		
保健体育		A	検 定	1～3	中学保健体育	224 学研	
			一般	1～3	自立生活ハンドブック 4 からだ!! げんき!?	全日本手をつなぐ育成会	
	一般	大切なからだ・こころ	少年写真新聞社				
	一般	こどもあんぜん図鑑	講談社				
	一般	イラスト版体育のコツ 運動が得意になる 4 3 の基本レッスン	合同出版				
	一般	こどもかだらのしくみ絵じてん [小型版]	三省堂編修所				
	一般	こどもぼうさい・あんぜん絵じてん [小型版]	三省堂編修所				
	一般	くらしに役立つ保健体育	東洋館出版				
外国語	英語	A	検 定	1・2	NEW HORIZON English Course 1	2 東書	
			検 下	3	NEW HORIZON English Course 2	2 東書	
		B	一般	1・2・3	あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんがっこうにい	あかね書房	
					ドラえもん 英語図解辞典	小学館	
					あかね書房の学習えほん ことばのえほんABC	あかね書房	
					あかね書房の学習えほん えいごえほんぞうさんのピクニック	あかね書房	
					ポケモンとえいかいわ	小学館	
					小学生の英語はじめてのレッスン	世界文化社	

				一 般		CD つき楽しくうたえる英語のうた	成美堂出版
				一 般		AR で英語が聞ける英語もののなまえ絵じてん	三省堂
				一 般		中 1 英語をひとつひとつわかりやすく	学研
				一 般		中 2 英語をひとつひとつわかりやすく	学研
				一 般		中 3 英語をひとつひとつわかりやすく	学研
選 択 で き る 教 科	技術・家庭	技術	AB	検 定	1～3	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2 東書
		家庭		検 定	1～3	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	2 東書
	職業・家庭		AB	一 般	1・2・3	昼ごはんつくろう！ 坂本廣子のひとりでクッキング②	偕成社
				一 般		朝ごはんつくろう！ 坂本廣子のひとりでクッキング①	偕成社
				一 般		かがくのとも絵本 平野レミの おりょうりブック	福音館書店
				一 般		子どものマナー図鑑（1） ふだんの生活マナー	偕成社
				一 般		子どものマナー図鑑（3） でかけるときのマナー	偕成社
				一 般		子どものマナー図鑑（4） おつきあいのマナー	偕成社
				一 般		おべんとうつくろう！ 坂本廣子のひとりでクッキング⑦	偕成社
				一 般		自立生活ハンドブック 5 どうぞめしあがれ「Bon appetit（ぼなぺてい）」	全日本手をつなぐ育成会
				一 般		かいかたそだてかたずかん（4） やさいのうえかたそだてかた	岩崎書店
				一 般		小学館の子ども図鑑 プレ NEO 楽しく遊ぶ学ぶ せいかつの図鑑	小学館
				一 般		母と子の園芸教室・野菜をつくろう	さえら書房
				一 般		家庭科の教科書 小学校低学年～高学年	山と溪谷社
				一 般		中学生のための学校生活のマナー 改訂版	開隆堂出版
				一 般		自立生活ハンドブック 8 食（しょく）	全日本手をつなぐ育成会
				一 般		続・しごとば	ブロンズ新社
				一 般		もっと・しごとば	ブロンズ新社
				一 般		職業・家庭 たのしい家庭科わたしのくらしに生かす	開隆堂出版
				一 般		職業・家庭 たのしい職業科わたしの夢につながる	開隆堂出版
				一 般		おてつだいの絵本	金の星社
				一 般		くらしに役立つ家庭	東洋館
				一 般		つくってたべよう！ お料理マジック 2	教育画劇
				一 般		はじめてでもかんたん！小学生のお料理レシピ	成美堂出版
				一 般		やっぱり・しごとば	ブロンズ新社
				一 般		こどもりょうりのことば絵じてん [小型版]	三省堂編修所
				一 般		ひとりで作って、みんなで食べよ！ はじめてのごはん	日東書院
				一 般		子どもの生きる力を育てる せいかつの絵じてん	ナツメ社
				一 般		明日のために知っておきたい お金のこと	新興出版社
				一 般		学校では教えてくれないこと 3 お金のこと	旺文社
	一 般	はじめてのおさいほう Book 手縫い編	日東書院				
	一 般	手作りって楽しい！ はじめての手芸 布でつくる	汐文社				
	特別の教科 道 徳		A	検 定	1	新訂 新しい道徳 1	2 東書
				検 定	2	新訂 新しい道徳 2	2 東書
				検 定	3	新訂 新しい道徳 3	2 東書
			B	検 下	1	新訂 新しい道徳 6	2 東書
				検 下	2	新訂 新しい道徳 1	2 東書
検 下				3	新訂 新しい道徳 2	2 東書	

6 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置校一覧

ア 小学校（令和6年5月1日現在）

	学 校 名	電話番号	設置年月日	児童数	備 考
知的 障 害	三 の 丸 小	224-4533	平31. 4. 1	8	
	五 軒 小	224-2900	平 9. 4. 1	3	
	新 莊 小	221-4659	平12. 4. 1	6	
	城 東 小	231-4297	昭52. 4. 1	6	
	浜 田 小	224-2717	平 4. 4. 1	14	
	常 磐 小	224-2272	昭39. 4. 24	10	
	緑 岡 小	241-1923	昭56. 4. 1	17	
	寿 小	241-0854	昭37. 4. 1	12	
	渡 里 小	221-6291	昭41. 4. 1	10	
	吉 田 小	247-5252	昭42. 4. 6	20	
	酒 門 小	247-5952	平16. 4. 1	21	
	石 川 小	251-1519	昭58. 4. 1	11	
	飯 富 小	229-7104	平24. 4. 1	5	
	河 和 田 小	251-9540	平26. 4. 1	5	
	上 中 妻 小	251-9122	平31. 4. 1	1	
	見 川 小	241-1423	平17. 4. 1	15	
	千 波 小	243-1021	昭60. 4. 1	20	
	梅 が 丘 小	253-0098	平14. 4. 1	9	
	双 葉 台 小	253-1862	平13. 4. 1	17	
	笠 原 小	243-3261	平13. 4. 1	18	
	赤 塚 小	253-4301	平14. 4. 1	12	
	吉 沢 小	247-8113	平25. 4. 1	9	
	堀 原 小	251-3133	平29. 4. 1	2	
	下 大 野 小	269-2003	平26. 4. 1	3	
	稲 荷 第 一 小	269-2253	昭49. 4. 1	11	
	稲 荷 第 二 小	248-8011	平27. 4. 1	6	
	鯉 淵 小	259-2239	昭40. 4. 1	7	
	妻 里 小	259-2034	令 5. 4. 1	3	
	内 原 小	259-4151	昭60. 4. 1	8	
自 閉 症 ・ 情 緒 障 害	三 の 丸 小	224-4533	昭59. 4. 1	9	
	五 軒 小	224-2900	平11. 4. 1	5	
	新 莊 小	221-4659	平14. 4. 1	12	
	城 東 小	231-4297	平20. 4. 1	11	
	浜 田 小	224-2717	平19. 4. 1	20	
	常 磐 小	224-2272	平18. 4. 1	14	
	緑 岡 小	241-1923	平20. 4. 1	22	
	寿 小	241-0854	平14. 4. 1	24	
	柳 河 小	221-5997	平21. 4. 1	3	
	渡 里 小	221-6291	平19. 4. 1	27	
	吉 田 小	247-5252	平17. 4. 1	21	
	酒 門 小	247-5952	平23. 4. 1	20	
	石 川 小	251-1519	平25. 4. 1	17	
	飯 富 小	229-7104	平26. 4. 1	6	
	河 和 田 小	251-9540	平20. 4. 1	15	
	上 中 妻 小	251-9122	平29. 4. 1	5	
	見 川 小	241-1423	平12. 4. 1	25	
	千 波 小	243-1021	平13. 4. 1	6	
	梅 が 丘 小	253-0098	平13. 4. 1	13	
	双 葉 台 小	253-1862	平14. 4. 1	14	
	笠 原 小	243-3261	平23. 4. 1	24	
	赤 塚 小	253-4301	平18. 4. 1	5	
	吉 沢 小	247-8113	平14. 4. 1	30	
	堀 原 小	251-3133	平22. 4. 1	17	
	稲 荷 第 一 小	269-2253	平24. 4. 1	16	
	稲 荷 第 二 小	248-8011	平21. 4. 1	12	
	大 場 小	269-2103	令 6. 4. 1	4	
	鯉 淵 小	259-2239	平30. 4. 1	12	
	〃	〃	平15. 9. 1	3	分教室2学級
	妻 里 小	259-2034	平27. 4. 1	8	
	内 原 小	259-4151	平26. 4. 1	12	

イ 中学校（令和6年5月1日現在）

	学 校 名	電話番号	設置年月日	生徒数	備 考
知的障 害	第 一 中	224-2424	昭39. 4. 1	6	
	第 二 中	224-4422	昭19. 4. 1	3	
	第 三 中	224-5508	昭33. 4. 1	9	
	緑 岡 中	241-1069	平21. 4. 1	6	
	第 四 中	247-5554	平 8. 4. 1	24	
	飯 富 中	229-7132	令 2. 4. 1	2	
	赤 塚 中	251-9435	平15. 4. 1	7	
	第 五 中	251-1414	平 9. 4. 1	7	
	見 川 中	241-2309	平13. 4. 1	7	
	双 葉 台 中	253-1861	平19. 4. 1	10	
	笠 原 中	241-5363	平 6. 4. 1	17	
	石 川 中	254-1700	令 2. 4. 1	5	
	千 波 中	248-4080	平 3. 4. 1	9	
情 緒 障 害	常 澄 中	269-2116	昭47. 4. 1	3	
	内 原 中	259-2032	昭37. 4. 1	5	
	第 一 中	224-2424	平22. 4. 1	10	
	第 二 中	224-4422	平17. 4. 1	4	
	第 三 中	224-5508	平22. 4. 1	12	
	緑 岡 中	241-1069	平22. 4. 1	23	
	第 四 中	247-5554	平17. 4. 1	37	
	飯 富 中	229-7132	平28. 4. 1	6	
	赤 塚 中	251-9435	平19. 4. 1	10	
	第 五 中	251-1414	平14. 4. 1	1	
	見 川 中	241-2309	平18. 4. 1	27	
	双 葉 台 中	253-1861	平19. 4. 1	2	
	笠 原 中	241-5363	平16. 4. 1	16	
	石 川 中	254-1700	平14. 4. 1	11	
	千 波 中	248-4080	平18. 4. 1	3	
	常 澄 中	269-2116	平27. 4. 1	2	
	内 原 中	259-2032	平14. 4. 1	7	
	〃	〃	平15. 9. 1	9	分教室2学級

(2) 通級指導教室一覧

ア 小学校（令和6年5月1日現在）

	学 校 名	電話番号	設置年月日	通 級 児 童 数		備 考
				自 校	他 校	
情緒	新 莊 小	227-2970	平6. 4. 1	2	1	
	見 川 小	241-1423	平22. 4. 1	5	-	
	笠 原 小	243-3261	令 2. 4. 1	2	4	総合教育研究所内に設置
言語	五 軒 小	224-5573	平 7. 4. 1	12	18	2教室
	常 磐 小	224-2282	平 7. 4. 1	30	26	4教室
LD / ADHD	浜 田 小	224-2717	令 3. 4. 1	6	9	1教室

※ LD：学習障害，ADHD：注意欠陥多動性障害

イ 中学校（令和6年5月1日現在）

	学 校 名	電話番号	設置年月日	通 級 生 徒 数		備 考
				自 校	他 校	
情緒	笠 原 中	241-5363	令 5. 4. 1	1	3	総合教育研究所内に設置
LD / ADHD	第 三 中	224-5508	令 5. 4. 1	4	1	

就学奨励

1 就学奨励補助

小・中学校へ通学している子どものいる家庭で、経済的な理由から学校納付金（給食費・遠足費・修学旅行費など）や毎日の学習に必要な学用品、通学用品などの購入費の支出が困難な方に、義務教育を等しく受けることができるように就学援助費を支給している。

【支給内容】（令和6年度）

支給項目	支給金額	内 訳
学用品費 通学用品費	小1年 11,630 円 2～6年 13,900 円 中1年 22,730 円 2～3年 25,000 円	学習に直接必要な学用品・実習用教材・材料費（トレーニングシャツ、ノート、鉛筆、体育用くつ、水着、副読本、辞典等）・通学用品（カバン、上ばき、通学くつ、かさ、制帽等）の購入費
新入学 学用品費	小1年 54,060 円 中1年 63,000 円	新入学のための学用品・通学用品購入費
学校給食費	実 費	学校給食費として市長又は校長が保護者から徴収する額 （1か月の限度額：小学校 4,300 円，中学校：4,500 円）
通学費	実 費	小学校 4km 以上の通学の交通費 中学校 6km
校外活動費 宿泊学習費 修学旅行費	実 費	参加に要した額 （限度額：市立以外の小学校の修学旅行費 22,000 円，市立以外の中学校の修学旅行費 80,000 円）
医療費	実 費 （医療券交付）	学校保健安全法施行令第8条に定める疾病（トラコーマ，結膜炎，白癬，疥癬，膿痂疹，中耳炎，慢性副鼻腔炎，アデノイド，う歯，寄生虫病）の治療のための医療に要した費用
クラブ活動費 （小4～6年， 中1～3年）	実 費	小学校又は中学校のクラブ活動（課外の部活動を含む。）の実施に必要な用具（児童生徒が個々に用意することとされているものに限る。）購入費，活動費等の経費のうち，全員が一律に負担するもの （限度額：小学校 2,760 円，中学校 30,150 円）
生徒会費	実 費	小学校又は中学校の生徒会費（児童会費，学級費及びクラス会費を含む。）のうち，全員が一律に負担するもの （限度額：小学校 4,650 円，中学校 5,550 円）
P T A 会費	実 費	小学校又は中学校において，学校，学級，地域等を単位とする P T A 活動に要する経費のうち，全員が一律に負担するもの （限度額：小学校 3,450 円，中学校 4,260 円）
卒業アルバム 代等	実 費	小学校又は中学校を卒業する児童又は生徒に対して，通常作成する卒業アルバム及び卒業記念写真の購入費 （限度額：小学校 11,000 円，中学校 8,800 円）
オンライン 学習通信費	月額 1,200 円	I C T を通じた教育が，学校長若しくは教育委員会が正規の教材と指定するもの又は正規の授業で使用する教材と同等と認められるものにより提供される月について支給（限度額：14,000 円）

【支給状況】（令和5年度）

（単位：人）

全児童・生徒数 （5月1日現在）			支 給 人 数 （ ）内%								
小学校 児童数	中学校 生徒数	合計	小 学 校			中 学 校			合 計		
			要保護	準要保護	合計	要保護	準要保護	合計	要保護	準要保護	合計
12,795	6,190	18,985	142	654	796 (6.22)	80	445	525 (8.48)	222	1,099	1,321 (6.96)

（ ）内は、全児童・生徒数に占める支給者数の割合（％）

2 私学助成

私立学校における教育の振興を図るため、次の助成を行っている。

【助成状況】（令和5年度）

区 分	補 助 目 的	対 象 校	補助額（1校当たり）
私 立 小 学 校	経 常 的 経 費 補 助	2 校	600,000 円
私 立 中 学 校	経 常 的 経 費 補 助	2 校	600,000 円
私 立 高 等 学 校	経 常 的 経 費 補 助	9 校	1,200,000 円
私立中等教育学校	経 常 的 経 費 補 助	1 校	1,600,000 円

3 育英事業

(1) 水戸市奨学金制度

篤志家の寄付金を基金として奨学金制度を設け、人物・学力ともに優れているにもかかわらず、経済的理由により高等学校に修学することが困難な生徒に対し、奨学金を支給している。

- 応募資格 ① 本市に居住する方の子弟であって、高等学校入学予定者又は高等学校在学者で、人物・学力ともに優れ、本人の属する世帯の所得金額が基準額以下であること。
- ② 国、県その他の団体から奨学金、その他これに類する資金の貸与又は支給を受けていないこと。
- 奨学金の額：月額 6,000円

【支給状況】（令和6年5月1日現在）

（単位：人）

学 校 区 分	支 給 人 数			合 計
	1年生	2年生	3年生	
公 立 高 校	9	5	6	20
私 立 高 校	2	4	3	9
国 立 高 専	－	－	－	0
合 計	11	9	9	29

(2) 水戸市交通遺児就学奨励金制度

篤志家の寄付金を基金として交通遺児就学奨励金制度を設け、小中学校へ通学している交通遺児の保護者に対し、交通遺児就学奨励金を支給している。

- 奨励金の額：月額 5,500円

【支給状況】（令和6年5月1日現在）

（単位：人）

小 学 生	中 学 生	合 計
3	1	4

学 校 保 健

児童生徒の学習の向上と円滑な学校教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、疾病・異常等の早期発見を行うとともに、適切な事後措置を行い、健康の保持増進に努めている。

また、児童生徒の健康的で安全な学習活動を保持するため、学校環境衛生検査を実施し、快適な学校環境の維持管理に努めている。

さらに関係機関・団体との共催による口腔衛生優良児童生徒表彰式、学校保健大会及び各種研修会を開催するなど、学校保健活動の充実に努めている。



口腔衛生優良児童生徒表彰式

児童生徒体位年齢別発育平均値（令和５年度）

【男子】

	(歳)	身長 (cm)			体重 (kg)		
		全国	茨城県	水戸市	全国	茨城県	水戸市
小学校	6	117.0	117.3	116.6	21.8	22.1	21.5
	7	122.9	123.1	122.9	24.6	25.0	24.3
	8	128.5	129.3	128.4	28.0	29.4	27.9
	9	133.9	134.3	134.6	31.5	33.1	32.1
	10	139.7	140.0	139.3	35.7	36.9	35.0
	11	146.1	146.2	146.1	40.0	41.0	40.1
中学校	12	154.0	153.8	154.3	45.7	46.4	45.5
	13	160.9	160.7	161.0	50.6	51.2	50.5
	14	165.8	165.8	166.2	55.0	56.0	55.2

【女子】

	(歳)	身長 (cm)			体重 (kg)		
		全国	茨城県	水戸市	全国	茨城県	水戸市
小学校	6	116.0	116.3	116.0	21.3	21.8	21.3
	7	122.0	122.2	122.0	24.0	24.6	23.9
	8	128.1	128.2	127.7	27.3	28.1	26.8
	9	134.5	135.1	134.5	31.1	31.8	30.9
	10	141.4	141.2	141.1	35.5	36.3	35.4
	11	147.9	147.9	147.7	40.5	41.7	40.4
中学校	12	152.2	152.0	151.9	44.5	45.1	44.4
	13	154.9	154.7	154.5	47.7	47.9	47.5
	14	156.5	156.2	156.3	49.9	50.4	49.6

【疾患状況】(令和5年度)

(単位:人)

	疾患種別		学校種別	小学校			中学校			
			性別	男	女	合計	男	女	合計	
在 学 者 の 健 康 状 態	内科	受検者数		6,469	6,196	12,665	3,121	2,869	5,990	
		栄養状態	栄養不良	1	3	4	-	-	0	
	肥満傾向		327	174	501	104	61	165		
	脊柱	脊柱側わん症		-	5	5	5	17	22	
		脊柱側わん傾向又は疑い		18	17	35	31	27	58	
		その他の脊柱異常		1	1	2	-	4	4	
	胸部	郭異常		8	5	13	14	3	17	
		四肢の疾病・異常		9	7	16	3	10	13	
	眼	アレルギー性眼疾患		2,352	2,040	4,392	1,276	1,088	2,364	
		その他の眼疾患・異常		125	112	237	71	58	129	
	皮膚	アトピー性皮膚炎		792	670	1,462	329	283	612	
		その他の皮膚疾患		39	32	71	8	6	14	
	口腔耳鼻咽喉	耳疾患		259	269	528	86	73	159	
		口腔咽喉頭疾患・異常		62	41	103	46	32	78	
		アレルギー性鼻炎		2,855	2,394	5,249	1,519	1,231	2,750	
		その他の鼻・副鼻腔疾患		94	55	149	62	31	93	
	心臓疾患・異常		70	63	133	22	22	44		
	ぜん息		12	10	22	6	2	8		
	腎臓疾患		337	226	563	144	101	245		
	言語障害		50	31	81	5	2	7		
	その他の疾病・異常		468	291	759	187	163	350		
	視力検査	裸眼視力	受検者数		6,498	6,223	12,721	3,172	2,911	6,083
			B：1.0未満0.7以上		668	709	1,377	317	292	609
			C：0.7未満0.3以上		785	857	1,642	461	431	892
			D：0.3未満		407	436	843	263	240	503
	聴力検査	受検者数		4,286	4,130	8,416	2,101	1,924	4,025	
		難聴（両耳とも）		18	21	39	-	2	2	
	歯の検査	受検者数		6,445	6,185	12,630	3,094	2,843	5,937	
		う歯	処置完了者	1,241	1,137	2,378	492	517	1,009	
			未処置歯のある者	1,575	1,285	2,860	306	286	592	
		その他の口腔の疾病・異常		810	780	1,590	359	291	650	
	結核検診	受検者数		6,528	6,245	12,773	3,209	2,965	6,174	
		精密検査者		15	2	17	4	3	7	
		結核患者		-	-	0	-	-	0	
尿検査	受検者数		6,504	6,214	12,718	3,170	2,872	6,042		
	尿蛋白検出者数（一次検査）		13	34	47	35	37	72		
	尿糖検出者数（一次検査）		6	5	11	-	6	6		

学 校 安 全

幼児、児童生徒の学校生活の安全を確保するため、事故の要因となる学校環境の改善を行うとともに、子どもの危険な行動を事前に予期し、事故や災害を未然に防ぐため、関係機関・団体と連携して、登下校時の安全指導や春秋の交通安全教室や救急法講習会を開催するなど、学校安全の充実に努めている。

また、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入し、学校管理下で発生した幼児、児童生徒の災害（負傷・疾病・障害・死亡）に対する医療費等の請求事務を行っている。



通学時の安全指導

(1) 通学路交通安全プログラム

水戸市は、関係機関と連携して通学路における児童生徒の安全確保に向けた取組をより一層効果的、効率的に図れるよう、平成26年度に「通学路交通安全プログラム」を策定した。

具体的な取組としては、通学路現況調査や通学路合同点検を毎年度実施し、対策を要する箇所の把握を行い、これらの調査と個別の対策をPDCAサイクルの中で繰り返し実施することで、通学路の安全性の向上を図っている。

また、関係機関と情報共有を図るため、「通学路安全対策推進会議」を設置し、対策内容を一覧表にして、毎年度末に市ホームページ上で公開している。

(2) (独) 日本スポーツ振興センター災害共済給付

① 加入状況・災害発生件数と給付状況（令和5年度）

区 分	加入人員 (人)	加入率 (%)	災害発生 件 数 (件)	給付額 (円)	人 員 被害率 (%)	掛金に対する 給 付 率 (%)	1件あたりの 給 付 額 (円)
小 学 校	12,771	99.8	618	3,945,994	4.8	33.6	6,385
中 学 校	6,186	99.9	488	5,063,611	7.9	89.7	10,376
幼 稚 園	275	100.0	5	17,032	1.8	21.7	3,406
合 計	19,232	99.9	1,111	9,026,637	5.8	51.7	8,125

※ 幼稚園は、幼稚園型認定こども園を含む。

② 災害発生状況（令和5年度）

（単位：件）

区 分	骨 折	捻 挫	脱 臼	裂 傷	挫 傷	切 傷	刺 傷	打 撲	擦 過 傷	歯 の 傷	眼 の 傷	火 傷	そ の 他	合 計
小 学 校	93	117	-	7	83	8	4	202	41	29	104	6	155	849
中 学 校	129	141	-	4	82	7	1	125	22	13	75	-	173	772
幼 稚 園	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	1	-	1	6
合 計	222	259	0	12	165	15	5	329	63	42	180	6	329	1,627

学 校 給 食

学校給食は、成長期にある幼児、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上、好ましい人間関係や望ましい食習慣の育成などをねらいとして実施している。

また、学校給食は食育推進のための「生きた教材」として、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を担っている。

水戸市では、全学校及び幼稚園1園において、単独調理場方式（一部親子方式）及び共同調理場方式により、完全給食を実施している。

1 実施状況（令和6年5月1日現在）

区 分	小 学 校		中 学 校		義務教育学校		幼 稚 園		合 計	
	学校数 (校)	児童数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学校数 (校)	児童生徒数 (人)	園 数 (園)	園児数 (人)	学校等数 (校・園)	児童生徒等数 (人)
単独調理場方式	30	11,602			1	127	1	8	32	11,737
共同調理場方式	2	995	15	6,141					17	7,136
合 計	32	12,597	15	6,141	1	127	1	8	49	18,873

2 給食費（令和6年度）

区 分		回 数 (回)	保護者負担 月額 (円)	1食当たり 賄材料費 (円)	内 訳		
					主 食 (円)	牛 乳 (円)	副 食 (円)
単独調理場方式	小 学 校 義務教育学校前期課程	194	2,150	320	74.88	65.72	179.40
	義務教育学校後期課程	194	—	340	84.51	65.72	189.77
	幼 稚 園	192	3,900	320	53.80	40.35	225.85
共同調理場方式	中 学 校	193	—	340	84.51	65.72	189.77

※ 1食当たり賄材料費は令和6年度予算額

3 幼児・児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準

区 分	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (%)	カル シウム (mg)	マグネ シウム (mg)	鉄 (mg)	ビ タ ミ ン				食物 繊維 (g)	ナトリ ウム（食 塩相当量） (g)
							A (μgRAE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)		
幼児 (幼稚園)	490	学校給 食によ る摂取 エネル ギー全 体の13% ～20%	学校給 食によ る摂取 エネル ギー全 体の20% ～30%	290	30	2	190	0.3	0.3	15	3.0 以上	1.5 未満
児童 (8～9歳)	650			350	50	3	200	0.4	0.4	25	4.5 以上	2.0 未満
生徒 (12～14歳)	830			450	120	4.5	300	0.5	0.6	35	7.0 以上	2.5 未満

※ 出典：「学校給食摂取基準」（文部科学省）

4 食育の推進

(1) 啓発事業による食育の推進

ア 食育講演会

市内の学校及び幼稚園、保育所等の保護者と学校等関係者を対象に、食育講演会を実施する。

イ 全国学校給食週間における児童生徒の作品展示

全国学校給食週間（毎年1/24～1/30）にあわせて、市内学校の児童生徒を対象に、標語、作文、絵画を募集し、応募作品を展示する。

ウ 大学との学官連携による学校給食食育推進事業

市立学校へ学生食育サポーターを派遣し、家庭科調理実習補助や食育指導補助等を実施するとともに、大学生が小学校第5学年及び中学校第2学年を対象としたリーフレットを作成する。

〔連携校〕 茨城キリスト教大学（平成25年度～）
常磐大学（平成28年度～）

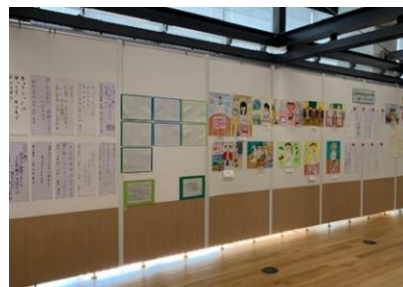
エ 食生活に関する調査

市立小学校第4～第6学年及び中学校全学年の児童生徒と小学校第5学年及び中学校第2学年の保護者を対象に、毎年6月及び11月において朝食喫食や学校給食、地場産物等についてのアンケート調査を実施する。

オ 食育啓発資料等による情報発信

「給食だより」を毎月発行するほか、教室掲示用資料や給食時間の放送資料等を作成し、食に関する情報を発信する。

また、市ホームページや「広報みと」を活用することにより、学校給食や食に関する情報を学校内外へ広く発信する。



(2) 学校給食を活用した食育の推進

ア ブロック別統一献立

市内の全学校を3つのブロックに分け、ブロック別に統一献立を実施している。

〔3ブロック〕

- ① 一中・二中・三中ブロック
- ② 緑中・赤中ブロック
- ③ 共同調理場ブロック

〔目 的〕

- ・ 食物アレルギーへの適切な対応
- ・ 調理指導や衛生管理の強化
- ・ 共同購入による食材料単価の抑制
- ・ 食材料の発注業務の簡素化等による事務の軽減



【 MITOごはん 】
たけのこ飯 牛乳 あじフライ
カリカリ大豆入りおひたし
みとちゃん団子

イ 栄養教諭等による食に関する指導

栄養教諭及び学校栄養職員が、栄養士未配置校及び共同調理場の受配校となる中学校を指導担当校として、食に関する指導を実施する。

5 地場産物の活用拡大と食文化の継承

(1) 特色ある献立の提供

フランス・パリで開催される夏季オリンピックを記念した「オリンピック献立」、水戸市内で生産された地場産物や特産品を多く取り入れた「MITOごはん」、親善都市（高松市）の郷土料理を取り入れた「交流献立」、プロスポーツ選手の応援献立、各家庭で食されているおすすめ料理を紹介する「我が家のおすすめ料理」等を提供する。

(2) 学校給食における地場農産物の活用促進事業

地場産物の活用を図るため、水戸市産の食材を使用した学校給食開発品の「みとちゃんごぼうメンチカツ」、「みとちゃん米パン」、「みとちゃんぎょうざ」、「みとちゃん梅ゼリー」、「みとちゃんポークコロケ」及び「みとちゃん団子」を学校給食で提供する。

また、特産品の「納豆」、「柔甘ねぎ」や「米粉麺」を提供する。

※ 令和6年度予算額 62,200 千円（農林水産業費に予算措置）



(3) 米飯給食の推進

米飯給食の実施回数を週 3.1 回とし、水戸市産コシヒカリ 100%の米飯給食を提供している。

(4) 学校給食における地場産物の活用割合

（単位：％）

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地 域	14.4	17.0	16.1	17.3	10.5
県 内	37.2	46.3	56.1	56.9	66.8
地域＋県内	51.6	63.3	72.2	74.2	77.3

※ 「地域」は水戸市産、「県内」は水戸市産以外の県内産。

※ 出典：「茨城を食べようウィーク」学校給食における地場産物の活用状況調査

6 子育て世帯の経済的負担の軽減

(1) 小学校給食費サポート事業

令和6年度から市立小学校の給食費を2分の1に減額するとともに、物価高騰の影響を受ける食材料費について公費負担を行う。※令和6年度予算額 498,278 千円（地場農産物活用促進事業分も含む。）

【給食費】

月額 4,300 円 → 2,150 円（△2,150 円）

年額 47,300 円 → 23,650 円（△23,650 円）

【公費負担額】

月額 3,550 円（5,700 円（食材料費月額）－2,150 円（保護者負担額））

年額 39,050 円

(2) 中学校給食費の無償化

令和5年度に開始した市立中学校の給食費無償化を継続するとともに、物価高騰の影響を受ける食材料費について公費負担を行う。※令和6年度予算額 422,730 千円（地場農産物活用促進事業分も含む。）

【給食費】

月額 4,500 円 → 0 円（△4,500 円）

年額 49,500 円 → 0 円（△49,500 円）

【公費負担額】

月額 6,100 円（食材料費月額）

年額 67,100 円

7 学校給食共同調理場

安全で安心な学校給食を提供するとともに、施設の見学や学校給食の試食など、学校給食を活用した食育の拠点として、児童生徒のみならず広く市民に開かれた食育活動を推進する。

(1) 施設の概要

所在地	水戸市河和田町 796
電話番号	029-251-3561
FAX	029-254-1525
敷地面積	11,837.13 m ²
延床面積	3,878.44 m ²
建物構造	鉄骨造 2階建て
調理環境	ドライシステム
調理能力	1日 9,000 食
献立数	3 献立
給食提供開始	平成 29 年 4 月 11 日
配送先	市立中学校 15 校, 小学校 2 校
委託業務	調理等業務委託：イートランド株式会社 輸送業務委託：全通内国通運株式会社



(2) 施設の特徴

ア 衛生管理について

(ア) ドライシステムの導入

厨房内の床を乾燥した状態で使用することで、床からの跳ね水による二次汚染を防ぐとともに、調理室内の湿度を低く保つことで、細菌の増殖を抑え食中毒の発生要因を少なくする。

(イ) ノロ対策室の設置

嘔吐物が付着し汚染の可能性がある食器を、他の食器から隔離して洗浄消毒する。

(ウ) ワンウェイ方式の導入

食材搬入から調理・配送までの食材の動線が戻らないワンウェイ方式の動線としている。

イ 食物アレルギーへの対応

食物アレルギーの原因物質を取り除くなどの調理をする「アレルギー食対応調理室」を設置し、専用の容器で学校に配送する。

ウ 環境への配慮

給食の残菜など、生ごみの容量を減らすことのできる厨芥処理システム（厨芥脱水機等）を設置している。



調理の様子

エ 学校給食を活用した食育の充実

(ア) 見学通路

調理作業中の様子を2階から見学できる見学通路を設置している。

(イ) 研修室

給食の試食や食育について学ぶことのできる研修室を設置している。



見学通路から見た調理室



食育コーナー

オ 放射線測定室

東日本大震災以降、毎日、調理場の一部の食材と、調理場及び単独校の給食一食分の放射性物質の簡易測定を実施している。測定結果は、毎月の給食だよりや市ホームページに掲載している。

学 校 施 設

【水戸市立小・中学校及び義務教育学校施設状況】 (小学校)

学 校 名	電話番号	所 在 地	児 童 数			学 級 数		建 物 の 状 況	
			男	女	合 計	普通学級	特別支援学級	校舎保有面積 (㎡)	屋体保有面積 (㎡) ※クラブハウスを含む
三 の 丸 小	224-4533	三の丸 1－6－51	212	189	401	13	3	4,228	940
五 軒 小	224-2900	金町 3－2－25	103	91	194	8	2	6,109	※1,145
新 莊 小	221-4659	新莊 2－11－1	90	85	175	6	3	5,197	※1,121
城 東 小	231-4297	城東 2－7－62	79	85	164	6	3	6,038	945
浜 田 小	224-2717	浜田 1－1－1	230	213	443	15	5	6,246	800
常 磐 小	224-2272	西原 1－3－12	231	198	429	14	4	6,522	1,164
緑 岡 小	241-1923	見川町2563	452	466	918	29	6	6,162	※1,414
寿 小	241-0854	平須町1809－1	274	290	564	19	6	4,876	922
上 大 野 小	221-6242	東大野106－1	35	42	77	6	－	1,830	800
柳 河 小	221-5997	柳河町318－1	35	22	57	5	1	2,390	800
渡 里 小	221-6291	堀町468－1	318	281	599	19	6	6,353	1,049
吉 田 小	247-5252	元吉田町1757－1	337	339	676	22	7	5,602	900
酒 門 小	247-5952	酒門町1445－1	400	382	782	24	7	5,221	838
石 川 小	251-1519	石川 4－4035	239	192	431	13	5	5,518	1,060
飯 富 小	229-7104	飯富町4420－1	85	83	168	7	2	3,184	531
河 和 田 小	251-9540	河和田町1019	217	198	415	14	3	4,234	※1,117
上 中 妻 小	251-9122	大塚町1086－2	93	119	212	8	2	3,240	725
見 川 小	241-1423	見川 2－96－3	263	276	539	18	7	6,521	1,213
千 波 小	243-1021	千波町1538－1	372	330	702	23	4	5,676	801
梅 が 丘 小	253-0098	姫子 1－827－2	300	329	629	20	4	5,494	936
双 葉 台 小	253-1862	双葉台 5－26	261	232	493	17	5	6,068	945
笠 原 小	243-3261	笠原町347－17	450	467	917	28	7	6,817	800
赤 塚 小	253-4301	河和田 2－2116－1	88	99	187	7	3	5,172	945
吉 沢 小	247-8113	吉沢町169－1	358	327	685	22	7	5,100	945
堀 原 小	251-3133	新原 1－7－1	137	128	265	11	4	4,614	945
下 大 野 小	269-2003	塩崎町666	42	30	72	6	1	2,495	495
稲荷第一小	269-2253	大串町142－1	149	144	293	11	4	4,602	※1,119
稲荷第二小	248-8011	百合が丘町997－204	97	90	187	7	3	4,102	※1,119
大 場 小	269-2103	大場町2489	57	46	103	6	1	2,989	1,057
鯉 淵 小	259-2239	鯉淵町3000	110	119	229	9	5	4,257	641
妻 里 小	259-2034	中原町682	85	86	171	6	2	3,601	611
内 原 小	259-4151	内原町1451	198	222	420	15	3	3,706	938
小 学 校 計	32校		6,397	6,200	12,597	434	125	154,164	※29,781

令和6年5月1日現在

保有教室数														その他 (m ²)				
普通教室	特別教室													多目的スペース	給食室	武道場	プール	校地面積
	理科室	生活科室	音楽室	美術室	図画工作室	家庭科室	外国語室	視聴覚室	コンピュータ室	図書室	特別活動室	教育相談室	進路指導室					
16	1	1	1	-	1	1	1	-	-	1	1	2	-	10	368	528	-	18,346
10	1	1	1	-	1	1	1	1	2	1	8	1	-	19	-	170	-	39,391
9	1	-	1	-	1	1	1	1	1	1	7	1	-	16	794	474	-	19,029
9	2	-	2	-	1	2	1	1	-	1	11	1	-	22	-	180	-	21,326
20	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	4	1	-	11	-	264	-	21,442
18	1	1	1	-	1	1	1	-	1	1	8	1	-	17	957	220	-	28,867
35	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	1	1	-	8	-	190	-	24,834
25	1	-	1	-	1	2	-	-	1	1	3	1	-	11	-	170	-	19,080
6	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	12,701
6	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	13,896
25	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	5	1	-	12	-	168	-	23,380
29	1	2	1	-	1	1	-	-	-	1	1	2	-	10	-	198	-	26,821
31	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	6	-	211	-	16,841
18	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	180	-	17,834
9	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	1	1	-	8	-	103	-	12,380
17	1	-	1	-	1	1	-	1	-	1	1	-	-	7	-	170	-	15,583
10	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	6	-	180	-	17,561
25	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	3	2	-	11	576	265	-	15,207
27	1	-	2	-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	8	-	209	-	21,253
24	1	-	1	-	1	1	1	-	-	1	1	3	-	10	-	167	-	19,654
22	2	-	2	-	1	2	1	-	-	1	1	1	-	11	-	194	-	28,170
35	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	6	-	360	-	28,404
10	1	1	3	-	1	1	1	-	-	1	3	1	-	13	-	170	-	26,229
29	2	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	170	-	21,159
15	1	-	1	-	1	1	1	-	1	1	2	1	-	10	-	170	-	23,899
7	1	-	1	-	1	1	1	-	1	2	-	1	-	9	-	-	-	17,723
15	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	6	630	484	-	22,929
10	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	-	1	-	7	255	417	-	23,817
7	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	6	453	-	-	11,738
12	1	1	1	-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	8	616	180	-	18,963
8	1	-	1	-	1	1	-	-	1	1	-	2	-	8	159	151	-	17,448
18	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	6	-	151	-	29,338
557	35	7	37	0	32	35	17	4	14	33	61	31	0	306	4,808	6,494	0	675,243

(中学校)

学 校 名	電話番号	所 在 地	生 徒 数			学 級 数		建 物 の 状 況	
			男	女	合 計	普通学級	特別支援学級	校舎保有面積 (㎡)	屋体保有面積 (㎡) ※クラブハウスを含む
第 一 中	224-2424	東原 3－1－1	147	175	322	10	3	6,715	1,422
第 二 中	224-4422	三の丸 2－9－22	157	169	326	10	2	6,149	1,332
第 三 中	224-5508	朝日町2882－1	194	190	384	12	4	7,657	1,422
緑 岡 中	241-1069	見川町2563－81	240	213	453	14	5	5,280	981
第 四 中	247-5554	元吉田町1987－3	482	489	971	28	11	6,669	1,020
飯 富 中	229-7132	飯富町4479－1	37	25	62	3	2	2,228	1,030
赤 塚 中	251-9435	河和田 1－1708－4	203	179	382	12	3	5,673	1,425
第 五 中	251-1414	堀町1166－1	197	181	378	12	2	6,088	1,232
見 川 中	241-2309	見川 2－98	311	284	595	17	6	7,517	1,482
双 葉 台 中	253-1861	双葉台 5－27	148	142	290	9	3	4,411	796
笠 原 中	241-5363	笠原町417－3	383	320	703	20	5	5,275	1,020
石 川 中	254-1700	堀町2304－2	116	103	219	6	3	4,780	945
千 波 中	248-4080	元吉田町599－2	182	164	346	11	3	5,303	1,347
常 澄 中	269-2116	塩崎町1016	161	152	313	10	2	5,445	1,465
内 原 中	259-2032	内原町1463－29	198	199	397	12	4	5,587	1,085
中 学 校 計	15校		3,156	2,985	6,141	186	58	84,777	18,004

(義務教育学校)

学 校 名	電話番号	所 在 地	児 童 ・ 生 徒 数			学 級 数		建 物 の 状 況	
			男	女	合 計	普通学級	特別支援学級	校舎保有面積 (㎡)	屋体保有面積 (㎡) ※クラブハウスを含む
国 田 義 務 教 育 学 校	239-7118 239-7125	下国井町2595－1	70	57	127	9	－	4,536	1,419
義 務 教 育 学 校 計	1校		70	57	127	9	0	4,536	※1,419

令和6年5月1日現在

保 普 通 教 室	有 教 室 数														そ の 他 (m ²)				
	特 理 科 室	生 活 科 室	音 楽 室	美 術 室	技 術 室	家 庭 科 室	外 国 語 室	視 聴 覚 室	コ ン ピ ュ ー タ 室	図 書 室	特 別 活 動 室	教 育 相 談 室	進 路 指 導 室	合 計	多 目 的 ス ペ ー ス	給 食 室	武 道 場	プ ール	校 地 面 積
13	2	-	2	1	2	2	1	-	1	1	7	2	1	22	-	-	380	300	25,988
12	2	-	1	1	1	1	1	-	-	1	9	1	1	19	452	-	353	-	39,183
16	2	-	2	2	2	2	-	1	-	1	3	2	-	17	555	-	350	300	30,088
19	2	-	1	1	1	2	-	-	1	1	2	2	-	13	-	-	374	-	36,447
39	2	-	2	1	1	1	-	-	-	1	1	1	-	10	-	-	350	-	33,370
5	1	-	1	1	1	1	-	-	-	1	-	2	-	8	-	-	350	300	19,154
15	2	-	2	1	2	2	-	-	-	1	1	3	-	14	-	-	357	300	24,266
14	3	-	2	1	2	2	-	-	1	1	1	2	-	15	-	-	350	300	29,107
23	2	-	2	1	2	2	-	-	1	1	1	2	1	15	-	-	450	300	30,528
12	2	-	1	1	1	2	-	-	-	1	3	4	-	15	-	-	380	-	27,189
25	2	-	1	1	1	2	-	-	-	1	3	2	-	13	-	-	380	300	32,140
9	2	-	1	1	1	2	-	-	-	1	6	2	-	16	-	-	380	300	27,283
14	2	-	2	1	2	2	-	-	-	1	3	2	-	15	310	-	379	300	31,801
12	2	-	1	1	1	2	-	1	-	1	1	2	1	13	-	-	429	-	27,934
16	2	-	2	1	2	2	-	-	1	1	3	3	-	17	315	-	659	515	38,400
244	30	0	23	16	22	27	2	2	5	15	44	32	4	222	1,632	0	5,921	3,215	452,878

令和6年5月1日現在

保 普 通 教 室	有 教 室 数														そ の 他 (m ²)				
	特 理 科 室	生 活 科 室	音 楽 室	美 術 室	図 工 技 術 室	家 庭 科 室	外 国 語 室	視 聴 覚 室	コ ン ピ ュ ー タ 室	図 書 室	特 別 活 動 室	教 育 相 談 室	進 路 指 導 室	合 計	多 目 的 ス ペ ー ス	給 食 室	武 道 場	プ ール	校 地 面 積
9	1	-	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	10	123	370	342	-	29,193
9	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10	123	370	342	0	29,193

【水戸市立幼稚園及び幼稚園型認定こども園施設状況】
(幼稚園)

幼稚園名	電話番号	所在地	定員	クラス数	園児数				開設時間（平日）
					3歳児	4歳児	5歳児	合計	
緑岡幼	241-1319	見川町2563	90	3	12	27	22	61	概ね9:00～13:30
寿幼	241-4595	平須町1761	70	2	－	8	10	18	概ね9:00～13:30
国田幼	239-7401	下国井町2595－1	50	1	－	3	5	8	概ね9:00～13:30
酒門幼	247-7980	酒門町1245－3	90	3	8	14	15	37	概ね9:00～13:30
笠原幼	243-4124	笠原町92－1	70	1	－	－	8	8	概ね9:00～13:30
幼稚園計	5園			10	20	52	60	132	

(幼稚園型認定こども園)

認定こども園名	電話番号	所在地	定員	クラス数	園児数				開設時間（平日）
					3歳児	4歳児	5歳児	合計	
石川認定園	252-2990	石川4－4037－6	80	3	14	9	18	41	8:00～18:00
浜田認定園	221-5268	浜田1－1－2	80	3	8	11	12	31	8:00～18:00
常磐認定園	221-6426	西原1－3－65	80	3	10	12	18	40	8:00～18:00
幼稚園型認定こども園計	3園			9	32	32	48	112	

令和6年5月1日現在

建物の状況 (㎡)				保有部屋数			敷地面積 (㎡)
鉄筋	鉄骨 その他	木造	合計	保育室	遊戯室	合計	
-	885	-	885	5	1	6	(小学校敷地内に含む)
596	-	15	611	4	1	5	3,420
143	-	-	143	1	1	2	(国田義務教育学校内で保育)
-	530	-	530	2	1	3	2,492
397	-	18	415	2	1	3	3,333
1,136	1,415	33	2,584	14	5	19	9,245

令和6年5月1日現在

建物の状況 (㎡)				保有部屋数			敷地面積 (㎡)
鉄筋	鉄骨 その他	木造	合計	保育室	遊戯室	合計	
-	504	-	504	2	1	3	2,749
-	622	-	622	3	1	4	(小学校敷地内に含む)
521	-	30	551	3	1	4	(小学校敷地内に含む)
521	1,126	30	1,677	8	3	11	2,749

社 会 教 育

生涯学習の推進

本市の生涯学習都市宣言を踏まえ、市民の主体性・自発性を尊重しながら、みと好文カレッジの機能を十分に発揮して、市民の学習ニーズや社会の要請を的確に捉えた諸施策を展開し、一層の生涯学習の振興を図る。また、生涯学習により学んだ成果を地域に還元できる環境、仕組みづくりに取り組み、人づくり・まちづくりにつながることを目指す。

市民の学習環境の充実

1 学習機会の充実

- (1) みと好文カレッジ及び市民センターにおける社会教育事業を「みと弘道館大学」と位置付け、より多くの市民が生涯学習に参加しやすい環境をつくる。
- (2) 現代的課題や地域が抱える課題を取り扱った学習機会の提供に努める。
- (3) 家庭教育学級を開催し、家庭の教育力の向上を図るとともに、子育て中の親の悩み、不安などを解消するための交流の場を開設し、支援を行う。
- (4) 「いきいき出前講座」を通して市民に市政に対する理解を深めてもらい、地域の課題を市民と行政が一体となって考える機会とするため、講座内容の充実と市民への周知を行い、活用の促進を図る。
- (5) 積極的に学習情報を収集し、大学や関係機関、企業、NPO等との連携を図りながら、各種メディアを活用し、市民へ学習情報を提供する。
- (6) 人権啓発講演会を開催し、広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図る。
- (7) 「水戸市二十歳のつどい」を開催し、20歳という人生の節目を迎える青年を祝福するとともに、青年が今後の人生に展望を抱き、夢と希望を持って未来を創造する出発点とする。
- (8) PTA及び女性会等の社会教育関係団体が、それぞれの目的に向けて積極的な活動ができるよう支援する。

2 学習の成果を生かす環境づくり

- (1) 行政と市民が協働し生涯学習を支える人材の発掘や支援を行うとともに、力量の向上を図るための研修や学習機会の充実に努める。
- (2) 生涯学習指導者人材バンク「あなたも師・達人制度」の活用促進、市民センター等における活動の成果を発表する場の提供、学習の成果を学校教育や学校外活動に還元させる取組を進める。
- (3) 事業の目標、妥当性等の評価について、事業を行った後の検証を行い、計画・実行・評価・改善の流れが有効に機能するようにする。

生涯学習都市宣言

歴史と伝統に育まれ、豊かな水と緑に恵まれた、美しいまち「水戸」

わたしたちは、この美しい郷土を愛し、これからの時代を正しく力強く生きるために、進取の意気を受け継ぎ、こどもからおとなまでの誰もが、みずから学び、豊かな心を養い、新しい市民意識の向上につとめます。

わたしたちは、この郷土を守り育てるために、みんなて学び合い、その成果を家庭・学校・地域にいかし、お互いに支え合い、活力と魅力にあふれた香り高い文化のまちづくりをめざします。

ここに、輝く21世紀を確信し、市制施行110周年にあたり、水戸市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。

平成11年11月11日

水戸市

3 学校・家庭・地域の連携

- (1) 学校・家庭・地域の連携強化を図り、社会全体で支える家庭教育の推進に努める。
- (2) 青少年の地域活動や社会参加活動を支援し、「家庭の日」の啓発を行うなど、青少年の健全育成に努める。
- (3) 子どもたちが安心して学校に通えるように、見守りを行うボランティアをスクールガードとして登録・養成し、地域ぐるみで子どもの見守り活動を行う「スクールガード活動促進事業」の推進に努める。
- (4) 学校・家庭・地域の連携強化と、より開かれた学校運営推進のため、「スクールボランティア活用事業」の推進に努める。
- (5) 地域の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長の支援体制の構築を図り、「学校を核とした地域づくり」を目指す「地域学校協働活動」の推進に努める。

社会教育関係事業

○ 二十歳のつどい

20歳を迎えた青年男女による「水戸市二十歳のつどい実行委員会」を組織し、式典や記念誌の発行、アトラクションの企画等を行う。



○ 人権啓発講演会

全ての人々の人権が真に尊重される社会を目指し、広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図ることを目的に市内各地で講演会を開催している。



○ 女性教育研究集会

水戸市地域女性団体連絡会主催による研究集会において、女性の自立と社会参加の促進を図り、明るい家庭と住みよい地域社会づくりを進めている。



○ 地域学校協働活動

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行っている。



みと好文カレッジ

1 運営方針

本市の生涯学習都市宣言を踏まえ、全市的な生涯学習の総称である「みと弘道館大学」の開催を通して、どのような状況下でも学びを止めることなく、少子高齢化、高度情報化、地域社会における連帯感の欠如や家庭の教育力の低下等の現代的課題を解決するための学習機会を提供するとともに、学習成果を地域活動やまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

また、市民の生涯学習活動の振興を図るため、社会教育活動における基礎的なことからより専門的・実践的な知識や技術について、市民センター職員の力量を高める研修の機会を充実させるとともに、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、時代の新たな課題に対応した学習プログラムの開発を進めるなど、市民センターへの支援・指導を強化する。

2 主要施策

(1) 市民センターへの支援・指導

ア 東湖塾の開催

市民センター職員に、生涯学習の基礎となる社会教育の知識を深める研修や家庭教育の支援の強化など、専門的・実践的な知識、技術を身につけ、職員の力量を高めるための研修会を開催する。

さらに、多様化・高度化する市民のニーズに応えるため、市民センターとの連携を強化しながら、現代的課題解決に向けた学習プログラムを研究・開発し、時代に合った新しい講座を先進的な市民センター講座として提案する。

- (ア) 新任職員研修（集合研修，訪問研修）
- (イ) 全体研修（集合研修，ブロック研修，訪問研修）
- (ウ) 学習プログラム作成研修（ブロック研修，訪問研修）

イ 好文塾の開催

東湖塾の学習プログラム作成研修等において研究・開発された現代的課題を取り扱った企画講座が市民センター事業として根付くよう、市民センターとみと好文カレッジの共同事業として位置付け、市民センターにおける開催を支援する。

- (ア) 市民センター職員（ブロック単位）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催
- (イ) 市民センター職員（単独）とみと好文カレッジ職員で企画した学習講座の開催

ウ 市民ニーズに対応した学習機会の提供

市民の学習ニーズの把握に努め、「個人の要望」や「社会の要請」に応じた学習をバランス良く提供できるように市民センターの支援を行う。

- (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供
- (イ) 市民センター事業の現状と課題の調査

エ 事業評価の推進

講座や事業に参加した市民が、日常生活の中で学習の成果をどのように生かしているのか、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。そのため、市民センターにおいては、実施した講座や事業の自己評価を行うとともに、運営審議会等による自己評価に基づいた第三者評価を行い、より効果的な事業運営を進められるよう事業評価を推進する。

また、みと好文カレッジ等による事業評価を実施していく。

(ア) 市民センターによる自己評価の実施

(イ) 市民センター運営審議会委員による第三者評価の実施

(ウ) みと好文カレッジ等による事業評価制度の実施

(2) 全市的な生涯学習の推進

ア みと弘道館大学の開催

急激な社会の変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要がある課題、いわゆる現代的課題の解決に向けた学習講座を市民に提供するとともに、学んだ成果がまちづくりや人づくりに生かされるよう内容の充実を図る。

また、時代に合った講座や「水戸市生涯学習サポーター」との協働による先進的な学習プログラムを市民に提供する。

(ア) 茨城しぐさ

(イ) 水戸市生涯学習サポーター協働企画講座

イ 子育て応援塾の開催

家庭の教育力の向上を図るため、親としての役割や子どもとのコミュニケーションの取り方を考え、見つめ直す機会を提供する。

(ア) 家庭教育講座

(イ) 家庭教育出前講座

ウ 「水戸市生涯学習サポーター」活動の推進

市民と行政との協働企画講座の企画・実施への参画をはじめ、「さきがけ塾」での学習成果を生かした活動を推進する。また、生涯学習サポーターに対する研修会の開催など、サポーター自身が、日々変化している現代的課題や地域における課題について学習する機会を提供する。

エ パイロット事業の開発・研究

現代社会の課題や人づくりをテーマとしたもの、ICT等の新しい技術を活用した講座など、先進的な講座を開発、研究し、開発した講座を各市民センター等の社会教育施設や地域団体等でも実施できるよう支援する。

オ パパといっしょに夢らんど、ほっとひといきママたいむの開催

家庭教育支援事業の一環として、未就学児とその保護者を対象に、親子で活動する場や親同士、育児ボランティアとの情報交換の場を提供することによって、育児に対する悩みや不安を解消し、楽しみながら子育てできるよう支援する。

カ 「あなたも師・達人制度」の活用促進

「あなたも師・達人制度」の登録指導者の募集や活用を「広報みと」やホームページ、情報誌などの各種広報媒体により周知を図るとともに、市民センター等の社会教育施設やPTA、ボランティア団体、NPO等が主催する講座や研修会の講師として積極的に紹介し、登録指導者の有効活用を促進する。

キ 育児ボランティア制度の活用促進

子育て中の保護者が生涯学習活動に参加できるよう、講座開催中に別室で子どもを預かる「育児ボランティア制度」の活用促進と登録ボランティアの拡充を図るため、市民センター等の社会教育施設や社会教育関係団体に積極的に紹介し、制度の有効活用を促進する。

ク 学習情報の提供の充実

生涯学習活動を推進するため、みと好文カレッジの事業等を掲載した生涯学習情報誌の発行や新しい情報のホームページへの掲載など、生涯学習活動を積極的にPRする。

ケ 学習相談事業の充実

市民やボランティア団体等からの生涯学習相談に対して、適切で役立つ助言ができるよう、各種生涯学習情報の収集と整理を行う。

コ 国・県・他市町村・企業・NPO等民間非営利団体・教育機関との連携の推進

国や県・他市町村との連携を図り、相互の生涯学習に関する情報を共有化するとともに、企業・NPO等民間非営利団体・教育機関と連携し、それぞれが持つ人的・物的資源の活用を図り、協働で現代的課題や地域の課題についての学習プログラムを作成、開催する。

あわせて、NPO法人やボランティア団体など、多様な人材やネットワークを活用して、協働で現代的課題についての学習プログラムを作成、開催する。

サ 訪問型家庭教育支援事業の拡充

地域人材を活用した家庭教育支援員を派遣し、家庭でのしつけなどに悩みを持つ保護者への個別訪問等の拡充を図る。あわせて、市内1～2小学校区の小学校第1学年のいる世帯への全戸訪問や就学時の健康診断、入学説明会等を活用した出張訪問等を実施し、子どもの生活習慣に関する相談等に対応することにより、さらなる家庭の教育力の向上を目指す。

【施設の概要】

所在地 水戸市笠原町 978-5 (総合教育研究所内)
電話 029-303-6602
FAX 029-303-6601
開所日 平成6年4月1日 (平成20年4月1日 施設移転)



好文塾「健康寿命を延ばそう！」
(柳河, 渡里, 飯富, 国田市民センター)



水戸市生涯学習サポーターとの協働企画講座
「心を癒やしてリラックス」



夏休みプログラミング教室



子育て応援塾「家庭教育講座」
『ありのままの自分でハッピー子育て』



ほっとひといきママたいむ



茨城しぐさ

令和5年度学習に関する相談・情報提供状況

【相談者状況】

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行 政	1	1	-	1	2	1	4	-	1	7	1	-	19
団 体	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
個 人	5	2	-	3	5	1	3	4	2	4	6	5	40
月別合計	9	4	1	4	7	2	7	4	3	11	7	5	64

【相談・情報提供状況】

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学習機会	4	-	-	2	4	1	2	4	1	3	5	2	28
施 設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
指 導 者	3	2	-	1	1	-	3	-	-	4	-	2	16
団体・グループ	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
そ の 他	2	2	1	1	2	-	1	-	2	4	2	1	18
月別合計	9	4	1	4	7	2	7	4	3	11	7	5	64

【相談方法状況】

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電 話	9	4	1	4	6	1	7	4	3	11	7	5	62
面 談	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
F A X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
メ ー ル	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
月別合計	9	4	1	4	7	2	7	4	3	11	7	5	64

育児ボランティア制度の活用

市民センター等での講座開催時に育児ボランティアを派遣し、乳幼児の一時預かりを実施する。

【育児ボランティア派遣状況】

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣件数 (件)	-	1	2	2	1	3	1	3	-	3	1	1	18
預かった子ども数 (人)	-	7	14	15	2	33	14	11	-	37	11	2	146
ボランティア数 (人)	-	12	15	18	2	34	10	10	-	30	11	2	144

市民センターにおける生涯学習活動の推進

本市の市民センターは、市民の生涯学習活動の拠点として位置付けられており、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援、青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供し、より多くの市民が生涯学習に参加し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

また、生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

【市民センターにおける社会教育事業】

一般教養講座	・家庭教育学級 ・女性教養講座 ・郷土史講座					・青少年教育講座 ・成人教育講座 ・市民センターまつり等					・世代間交流事業 ・高齢者教育講座														
定期講座	・料理 ・菓子づくり ・郷土、歴史 ・ケーナ ・書道 ・茶道 ・手話 ・着付 ・園芸 ・指圧 ・詩吟 ・パソコン					・革工芸 ・七宝焼、陶芸 ・手芸 ・パッチワーク ・絵手紙 ・絵画 ・水墨画 ・写真 ・太極拳、気功 ・ピラティス ・武道 ・和裁、洋裁					・コーラス ・俳句、短歌 ・囲碁、将棋 ・アロマ ・外国語 ・童謡 ・太鼓 ・生花 ・籐工芸 ・折り紙 ・手まり ・フラダンス					・民謡、民舞 ・大正琴 ・オカリナ ・ウクレレ ・卓球 ・ヨガ ・楽器 ・ガラス工芸 ・編み物 ・ゴルフ ・字手紙 ・木目込み人形					・フォークダンス ・体操、ストレッチ ・エアロビクス ・ウォーキング ・スポーツ吹矢 ・ダンス（社交・スポーツ） ・フラワーアレンジメント ・グランドゴルフ ・歌謡、カラオケ ・ペン、ボールペン字 ・ニュースポーツ ・その他				

○ 家庭教育学級

明るい家庭づくりと健やかな青少年の育成を考える。



○ 高齢者教育講座

家庭、地域における高齢者の役割を考え、意欲的な社会参加活動の気運を盛り上げる。



○ 女性教養講座

女性として現代社会に即した教養を身につけ、生き生きと心豊かに過ごすため、学習と仲間づくりの場を提供し、生きがいくつりと教養の向上を図る。



○ 世代間交流事業

地域の高齢者クラブや自治会、子ども会との共催等により開催し、世代間の交流を図る。



○ 青少年教育講座

核家族化、少子化等、子どもを取り巻く環境の変化の中で、子どもたちの社会参加の意識の高揚と仲間づくりを進める。



○ 市民センターにおける生涯学習活動の成果の発表

地域のコミュニティづくりの場として、市民センターの教室、クラブに集う人々が生涯学習の成果を発表・展示するとともに、交流を図る。



○ 郷土史・歴史講座

地域住民を対象に、郷土の歴史と文化の理解を深め、郷土再発見と郷土愛をはぐくむ。



○ 成人教育講座

成人を対象に、趣味や教養の向上、社会の要請に応えるもの、移動学習まで幅広い内容で開催する。



【市民センター利用状況】

(令和5年度)

No.	施設名	利用件数(件)	利用人数(人)	備考
1	三の丸市民センター	1,797	20,875	
2	五軒市民センター	2,351	22,122	1階から3階までの利用分
3	新莊市民センター	1,575	18,288	
4	城東市民センター	1,226	14,069	
5	竹隈市民センター	1,168	14,024	
6	常磐市民センター	1,852	23,611	
7	緑岡市民センター	1,237	16,392	
8	寿市民センター	995	12,970	
9	上大野市民センター	953	10,187	
10	柳河市民センター	973	9,614	
11	渡里市民センター	144	1,870	4,5月分のみ (6月以降長寿命化改良工事)
12	吉田市民センター	1,176	15,257	
13	酒門市民センター	785	9,781	
14	石川市民センター	1,269	16,115	
15	飯富市民センター	596	6,512	
16	国田市民センター	745	7,738	
17	桜川市民センター	2,060	24,567	
18	上中妻市民センター	1,132	11,720	
19	山根市民センター	636	6,485	
20	見川市民センター	894	11,554	
21	千波市民センター	1,552	21,928	
22	見和市民センター	1,780	28,055	
23	双葉台市民センター	1,772	24,480	
24	笠原市民センター	1,181	13,161	
25	赤塚市民センター	1,154	11,565	
26	吉沢市民センター	982	11,489	
27	堀原市民センター	1,252	18,842	
28	下大野市民センター	687	8,389	
29	稲荷第一市民センター	1,261	12,541	
30	稲荷第二市民センター	964	10,222	
31	大場市民センター	835	9,502	
32	鯉淵市民センター	1,097	10,532	
33	妻里市民センター	1,070	12,022	
34	内原市民センター	1,918	21,488	
合 計		41,069	487,967	

1 一般教養講座

(令和5年度)

項 目	センター数	講 座 数	回 数	参加者数
好 文 塾 関 係	4	1	3	46
生涯学習サポーター企画	1	1	1	13
家 庭 教 育 関 係	34	63	134	3,926
青 少 年 教 育 関 係	33	49	158	3,105
世代間交流事業関係	5	6	7	2,185
女 性 教 養 関 係	33	37	101	2,319
成 人 教 育 関 係	31	49	93	1,506
高 齢 者 教 育 関 係	33	45	122	3,429
郷土史・歴史・文学関係	3	3	3	82
市民センターまつり関係	30	31	31	25,770
そ の 他	2	2	3	103
幼 児 教 育 関 係 (家庭教育支援事業)	1	2	18	259
合 計	210	289	674	42,743

2 定期講座(教室)

(令和5年度)

項 目	センター数	講 座 数	回 数	会 員 数	参加者数
書 道 教 室	3	3	57	34	539
茶 道 教 室	2	2	39	26	281
料 理 教 室	5	5	50	63	607
フラワーアレンジメント教室	1	1	10	10	83
ア ロ マ 教 室	1	1	10	19	166
絵 手 紙 教 室	1	1	16	6	98
絵 画 教 室	4	4	70	49	656
囲 碁・将 棋 教 室	2	2	43	35	354
外 国 語 教 室	1	2	50	19	453
童 謡 教 室	3	3	31	73	633
歌謡・カラオケ教室	1	1	21	18	344
民 謡・民 舞 教 室	1	1	20	7	110
太 鼓 教 室	1	1	16	7	110
オ カ リ ナ 教 室	1	1	19	12	190
ケ ー ナ 教 室	1	1	20	9	154
卓 球 教 室	1	1	22	20	309
太 極 拳 教 室	2	2	41	26	390
体操・ストレッチ教室	6	8	126	102	1,339
フォークダンス教室	1	1	22	25	452
武 道 教 室	1	1	34	8	149
ニュースポーツ教室	1	1	16	19	204
パ ソ コ ン 教 室	1	1	17	3	49
合 計	41	44	750	590	7,670

3 定期講座 (クラブ)

(令和5年度)

項 目	センター数	講 座 数	回 数	会 員 数	参加者数
書 道 ク ラ ブ	21	21	434	205	3,473
茶 道 ク ラ ブ	11	12	233	112	1,678
ペン・ボールペン字クラブ	5	5	102	61	986
字 手 紙 ク ラ ブ	1	1	20	13	200
着 付 ク ラ ブ	10	12	207	141	1,713
生 花 ク ラ ブ	7	7	99	75	964
菓子づくりクラブ	9	11	105	124	1,032
料 理 ク ラ ブ	18	23	231	313	2,767
フラワーアレンジメントクラブ	6	6	70	58	596
絵 手 紙 ク ラ ブ	17	18	315	199	2,806
絵 画 ク ラ ブ	10	10	190	101	1,479
水 墨 画 ク ラ ブ	1	1	9	5	41
手 話 ク ラ ブ	2	2	36	24	345
編 み 物 ク ラ ブ	8	8	152	75	1,012
パッチワーククラブ	6	6	109	58	856
革 工 芸 ク ラ ブ	2	2	29	18	248
籐 工 芸 ク ラ ブ	4	4	76	44	564
ガラス工芸クラブ	2	2	41	14	214
和裁・洋裁クラブ	2	2	31	16	191
手 芸 ク ラ ブ	5	7	108	69	829
折 り 紙 ク ラ ブ	2	2	32	24	233
木目込み人形クラブ	1	1	16	7	108
七宝焼・陶芸クラブ	8	8	156	61	866
手 ま り ク ラ ブ	1	2	38	28	449
写 真 ク ラ ブ	3	3	44	36	371
郷土・歴史クラブ	4	5	75	74	874
俳句・短歌クラブ	7	7	101	87	1,097
囲碁・将棋クラブ	16	16	464	285	4,702
外 国 語 ク ラ ブ	4	4	82	62	1,033
園 芸 ク ラ ブ	3	3	31	45	381
童 謡 ク ラ ブ	5	5	87	146	1,941
歌謡・カラオケクラブ	25	30	615	487	8,001
コーラスクラブ	10	10	217	200	3,407
民謡・民舞クラブ	6	6	148	67	1,172
詩 吟 ク ラ ブ	4	4	94	26	498
太 鼓 ク ラ ブ	3	3	53	54	652
大 正 琴 ク ラ ブ	4	4	72	36	536
オカリナクラブ	4	5	98	77	1,390
ウクレレクラブ	3	3	67	46	866
楽 器 ク ラ ブ	3	3	56	35	682
卓 球 ク ラ ブ	20	35	1,036	690	14,031
太極拳・気功クラブ	19	19	440	396	7,011
体操・ストレッチクラブ	20	25	482	389	5,979
ヨ ガ ク ラ ブ	23	33	723	644	10,829
ピラティスクラブ	7	8	184	149	2,548
スポーツ吹矢クラブ	10	10	213	143	2,080
フォークダンスクラブ	11	11	248	123	2,462
ダンス(スポーツ・社交)クラブ	8	10	260	122	2,731
フラダンスクラブ	12	13	285	141	2,570

エアロビクスクラブ	3	4	87	42	765
指 圧 ク ラ ブ	3	3	59	57	943
武 道 ク ラ ブ	5	5	176	84	1,580
ウォーキングクラブ	3	3	55	83	948
グラウンドゴルフクラブ	2	2	87	59	946
ゴ ル フ ク ラ ブ	3	3	111	61	1,255
ニュースポーツクラブ	1	1	18	26	300
パ ソ コ ン ク ラ ブ	2	2	35	22	338
そ の 他 の ク ラ ブ	4	4	108	38	997
合 計	419	475	9,750	6,877	109,566

図 書 館

【運営方針】

図書館においては、生涯学習の推進に向けて、図書や資料の収集等をはじめ、学校図書館と連携し、子どもが読書に親しむ環境づくりを進めるなど、市民の自主的な学習活動の支援に努める。

【重点取組】

- 1 レファレンスサービスの充実
- 2 学校図書館支援事業の推進
- 3 子どもの読書活動の推進
- 4 市民との協働による図書館活動の推進
- 5 地域の特性を生かした図書館づくりの推進
- 6 図書館基本計画（第4次）の策定

【施設の概要】

〈中央図書館〉

所 在 地 水戸市大町3-3-20

電 話 029-226-3951

F A X 029-225-2769

構 造 鉄筋コンクリート造
地下1階・地上3階

延床面積 2,917.96 m²

蔵書収容能力 25万冊

開 館 昭和55年7月1日

主要室名

- | | |
|----|---|
| 地下 | 団体用書庫、閉架書庫、機械室 |
| 1階 | 一般開架室、児童開架室（お話し室を含む。）、
図書整理室、新聞・雑誌コーナー |
| 2階 | 郷土資料室、参考資料室、読書室、新聞資料室 |
| 3階 | 事務室、電子計算機室、視聴覚室、郷土資料室 |



中央図書館

○ 地区館（5館）へ指定管理者制度導入

指定管理者：（株）図書館流通センター

指 定 開 始：平成28年4月1日（内原図書館は平成30年4月1日）

〈東部図書館〉

所 在 地 水戸市元吉田町 1973-27

電 話 029-248-4051

F A X 029-248-2405

構 造 鉄筋コンクリート造
地下1階・地上2階

延床面積 1,802.42 m²

蔵書収容能力 6万冊

開 館 平成元年4月26日

主要室名

1階 一般開架室，児童開架室，よみきかせのおへや，文庫・新書コーナー，
視聴覚コーナー，新聞・雑誌コーナー，タタミコーナー，
事務室，閉架書庫

2階 視聴覚室，創作室，会議室，展示ギャラリー，機械室



東部図書館

〈西部図書館〉

所 在 地 水戸市堀町 2311-1

電 話 029-255-5651

F A X 029-255-5669

構 造 鉄筋コンクリート造
地上2階

延床面積 2,002.57 m²

蔵書収容能力 7万冊

開 館 平成4年4月23日

主要室名

1階 一般開架室，青少年コーナー，新聞・雑誌コーナー，視聴覚コーナー，
児童開架室，お話し会のおへや，視聴覚室，会議室，創作室，
ギャラリー，事務室，閉架室

2階 一般開架室，機械室



西部図書館

〈見和図書館〉

所 在 地 水戸市見和 2-500-2

電 話 029-350-2051

F A X 029-350-2751

構 造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
地上一部2階

延床面積 1,994.12 m²

蔵書収容能力 15万冊

開 館 平成18年4月24日

主要室名

1階 一般開架室，児童開架室，読み語り室，グループ学習室，
対面朗読室，視聴覚室，視聴覚コーナー，新聞・雑誌コーナー，
展示ギャラリー・ロビー，図書整理室，事務室，閉架書庫

2階 機械室



見和図書館

〈常澄図書館〉

所在地 水戸市大串町 2134

電話 029-269-1751

F A X 029-269-1139

延床面積 550.15 m²

蔵書収容能力 4.5 万冊

開館 平成 20 年 4 月 20 日

主要室名

開架室, 新聞・雑誌コーナー, 読み語りコーナー,
閉架書庫, 授乳室, 事務室



常澄図書館

〈内原図書館〉

所在地 水戸市内原町 1497-16

電話 029-291-6451

F A X 029-259-6810

構造 鉄筋コンクリート造
地上 1 階

延床面積 1,873.34 m²

蔵書収容能力 24.5 万冊

開館 平成 22 年 4 月 16 日

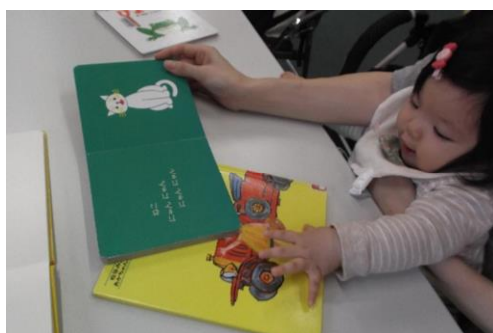
主要室名

1 階 一般開架室, 児童開架室, 読み語り室,
グループ室, 対面朗読室, 視聴覚コーナー,
新聞・雑誌コーナー, ギャラリー,
視聴覚室, 図書整理室, 事務室, 閉架書庫



内原図書館

【活動の様子】



親子で絵本事業



ちいさい子のおはなし



1日図書館員



ぬいぐるみのおとまり会

【主な図書館業務の内容】

- 1 図書の館内閲覧，館外貸出（個人及び団体）
その他図書館資料の収集，整理，保存及び提供
- 2 視聴覚資料の館外貸出
- 3 行事（読書会・講習会・研修会等）の開催
- 4 読書相談及び参考業務（レファレンスサービス）
- 5 学校・市民センター図書室等との連携
- 6 身体障害者（身体障害者手帳1級～3級の肢体障害及び機能障害のある方）及び知的障害者（療育手帳A及びBの方）への郵送による図書の貸出

【開館時間及び休館日】

開館時間

9：30～20：00

休館日

- ・月曜日（東部図書館・西部図書館に限る。）
- ・金曜日（中央図書館・見和図書館・常澄図書館・内原図書館に限る。）
- ・毎月（11月を除く。）の第1木曜日
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・図書整理期間（年間14日以内）

【図書保有状況】

（令和5年度）

館別 内訳	中央 図書館	市民センター 図書室等	東 部 図書館	西 部 図書館	見 和 図書館	常 澄 図書館	内 原 図書館	合 計
一 般 書	208,205	85,786	79,046	71,677	86,235	47,997	62,623	641,569 冊
児 童 書	21,899	125,161	39,407	35,986	81,962	26,627	34,224	365,266 冊
合 計	230,104	210,947	118,453	107,663	168,197	74,624	96,847	1,006,835 冊

【視聴覚教材保有状況】

（令和5年度）

館 別 内 訳	中 央 図書館	東 部 図書館	西 部 図書館	見 和 図書館	常 澄 図書館	内 原 図書館	合 計
16ミリフィルム	276	-	-	-	-	-	276 巻
スライドフィルム	37	-	-	-	-	-	37 組
C D (コンパクトディスク)	3,508	3,703	3,639	1,975	1,652	1,852	16,329 枚
L D (レーザーディスク)	545	-	-	-	-	-	545 枚
ビ デ オ テ ー プ	1,271	362	461	231	51	131	2,507 巻
レ コ ー ド	1,957	-	-	-	-	-	1,957 枚
カセットテープ	185	225	6	-	-	-	416 本
C D - R O M	211	141	126	123	95	72	768 点
D V D - R O M	66	45	47	49	45	44	296 点
D V D ビ デ オ	647	438	780	706	507	822	3,900 点

【図書利用状況】

(令和5年度)

館別 内訳	中央 図書館	東 部 図書館	西 部 図書館	見 和 図書館	常 澄 図書館	内 原 図書館	合 計
一 般 書	63,932	135,581	117,642	164,561	34,417	54,127	570,260 冊
児 童 書	38,620	138,384	102,048	138,514	38,044	67,599	523,209 冊
小 計	102,552	273,965	219,690	303,075	72,461	121,726	1,093,469 冊
雑 誌	6,841	14,588	10,483	18,223	5,431	10,988	66,554 冊
紙 芝 居	421	2,805	1,608	1,916	551	1,021	8,322 組
C D 等	5,519	8,928	11,974	8,384	4,116	6,017	44,938 点
小 計	12,781	26,321	24,065	28,523	10,098	18,026	119,814 点
合 計	115,333	300,286	243,755	331,598	82,559	139,752	1,213,283 点

※ 郵送貸出及び市民センター図書室への貸出は、中央図書館分として集計。

※ インターネットからの延長貸出分は、貸出館へ集計。

【入館者状況】

(令和5年度)

館 別 内 訳	中 央 図書館	東 部 図書館	西 部 図書館	見 和 図書館	常 澄 図書館	内 原 図書館	合 計
入館者数（人）	93,277	190,712	218,462	216,929	45,128	82,627	847,135
開館日数（日）	294	298	298	298	297	297	

【学校図書館支援事業】

学校図書館支援員が小中学校の学校図書館へ出向き、図書館オリエンテーションの開催支援や読み聞かせ、学習単位に関連したブックトークなど、学校図書館の利用及び読書活動を推進していく。

また、学校図書館運営に関する提案や蔵書管理システム活用のサポートなどを通して学校図書館の円滑な運営を促進するとともに、選書・除籍のアドバイスやデータベース化作業など、学校図書館環境の充実に向けた支援を行う。

【親子で絵本事業】

各図書館の窓口や市役所等において、ボランティアの方々の協力のもと、絵本の読み聞かせと絵本及び推薦絵本リスト等を配布し、子どもの読書活動を推進する。

青少年教育の推進

学校、家庭、地域、職場及び行政が相互に連携を図りながら、青少年の健全育成に向けた諸施策の推進に努める。

青少年の健全育成

青少年育成団体や各種団体と連携を図りながら、青少年の地域活動や社会参加活動を支援し、青少年の自立心、社会性を培う事業の充実に努めるとともに、学校外活動を推進し、青少年の健全育成を図る。また、水戸市青少年育成推進会議と一体となって、青少年育成団体等の活動に対する支援や指導者の育成を図り、地域の教育力の向上に努める。

少年自然の家については、恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活や野外活動を通して、青少年の創造性、自立性を育てる施設として、社会生活を営むために必要な基盤を養うことができる験の機会を提供する。

1 少年の主張大会

中学生が日頃考えていることや意見を主張することで、社会に対する関心を高め、将来に向けた展望を抱かせるとともに、同世代や大人がその主張を聴きながら共に考えるほか、被爆体験者による講話を行い、参加者の平和意識の高揚を図る。

【第38回少年の主張大会応募状況（校内）】

（単位：人）

学年	1年生		2年生		3年生		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	407	408	380	424	309	397	1,096	1,229
	815		804		706		2,325	

2 中学生交流会

青少年が自主的に地域社会で活躍できるよう交流の場や学習の場を提供することで、地域活動やボランティア活動への参加促進を図る。（令和5年12月17日開催，20校44名参加）

3 姉妹都市親善友好少年交歓研修

水戸市と敦賀市は、天狗党の争乱を契機にして培われた両市の歴史的経緯を踏まえ、末長く相携え、文化都市として発展を期すため、昭和40年4月30日に姉妹都市の盟約を結び今日に至っている。

7月に敦賀市から研修使節団を迎え、8月に敦賀市へ研修使節団を派遣することで、より親睦を深めるとともに、少年少女の豊かな知性の成長と郷土愛の醸成を図る。

- 令和5年度 敦賀市使節団来水：第56回 7月28日～30日 16人来水
水戸市使節団訪敦：第57回 8月18日～20日 16人訪敦

4 こどもの安全を守る家

子どもたちが安全に登下校や放課後の生活ができるよう、緊急避難所である「こどもの安全を守る家」の登録活動を進める。

（令和6年3月31日現在：2,102か所）

5 子どもの広場

子どもが安全に遊べるよう、「子どもの広場」として認定し、設置管理する地域団体に遊具の貸与等を行う。

（令和6年3月31日現在：13か所）

6 青少年育成団体等の育成指導

各種団体の目的達成のため、育成指導や事業実施の支援を行う。

(1) 水戸市子ども会育成連合会（令和6年5月1日現在）

ア 役員

会長 1人，副会長 2人，理事 18人，監事 2人，顧問 2人，参与 1人

イ 子ども会

18学区子ども会育成連合会，66単位子ども会

会員数 2,836人（幼児 143人，小学生 1,519人，中学生 24人，高校生 8人，育成者 1,142人）

(2) 水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会（令和6年5月1日現在）

ア 役員

会長 1人，副会長 2人，書記 1人，会計 1人，監事 2人，幹事 11人

イ 団数

ボーイスカウト 5か団，ガールスカウト 6か団

(3) 水戸市サブリーダーズ会（令和6年5月26日現在）

ア 役員

会長 1人，副会長 2人，書記 2人，会計 2人，監事 2人

イ 会員数 53人（1年生 12人，2年生 21人，3年生 20人）

(4) 水戸少年少女発明クラブ（令和6年5月1日現在）

ア 役員

会長 1人，副会長 1人，運営委員 1人，専任指導員 1人，指導員 14人，監事 2人

イ クラブ員

水戸市内に居住又は通学する小学校第3学年から中学校第3学年までの児童生徒

クラブ員数 44人（小学校：3年生 15人，4年生 10人，5年生 12人，6年生 4人，

中学校：1年生 3人，2年生 0人，3年生 0人）

(5) みと青年会（令和6年4月30日現在）

ア 役員

会長 1人，副会長 1人，事務局長 1人，監事 2人，書記 2人，会計 2人

イ 会員

市内に居住又は通勤・通学するおおむね18歳から30歳までの方

会員数 24人

青少年の非行防止

関係機関・団体，民間有志の協力を得て青少年相談員による街頭補導を実施するとともに，関係機関と連携を図りながら社会環境向上活動を展開し，問題行動の早期発見及び非行防止に努める。

1 街頭補導の実施

(1) 通常補導

中央補導と地区補導に分けて，街頭補導を実施する。

ア 中央補導

水戸駅を中心に周辺の公園，遊技場，たまり場等で街頭補導を実施する。

イ 地区補導

市内を7地区に分けて，地区ごとに街頭補導を実施する。

【街頭補導実施時間帯】

中央補導	10：00 ～ 12：00	16：00 ～ 18：00	18：00 ～ 20：00
地区補導	16：30 ～ 18：30（変更の場合あり）		

(2) 特別補導

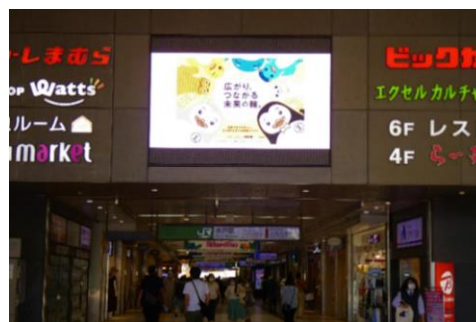
水戸黄門まつり，中学校卒業式等に街頭補導を実施する。

2 社会環境向上活動

- (1) 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を進めるとともに，有害図書等の自動販売機等の立入調査を実施する。
- (2) 青少年に有害な環境の改善を図るため，白ポストによる有害図書等の回収や，青少年育成団体の協力を得て，電柱等に貼ってある有害広告物の撤去活動を実施する。
- (3) 犯罪や非行のない明るい社会を築いていくため，更生保護関係団体等と協力して，「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し，立ち直りを支える地域のチカラ～」を実施する。
- (4) 青少年の薬物乱用を防止する社会環境をつくるため，関係機関との連携により，薬物乱用防止の啓発を図る。



社会環境向上研修会



“社会を明るくする運動”

広報・啓発活動

令和5年度補導状況

(補導少年の行為別補導状況)

【補導青少年の不良行為の状況】

(単位：人)

行為	場所	ゲーム センター	飲食店	デパート	駅周辺	公 園	路 上	その他	合 計
飲 酒		-	-	-	-	-	-	-	0
喫 煙		-	-	-	13	-	-	-	13
薬 物 乱 用		-	-	-	-	-	-	-	0
粗 暴 行 為		-	-	-	-	-	-	-	0
刃 物 等 所 持		-	-	-	-	-	-	-	0
金 品 不 正 要 求		-	-	-	-	-	-	-	0
金品・物品持出し		-	-	-	-	-	-	-	0
性的いたづら		-	-	-	-	-	-	-	0
暴 走 行 為		-	-	-	-	-	-	-	0
家 出		-	-	-	-	-	-	-	0
怠 学 ・ 怠 業		-	-	-	-	-	-	-	0
不健全性的行為		-	-	-	-	-	-	-	0
不 良 交 遊		-	-	-	-	-	-	-	0
不 健 全 娛 楽		24	-	-	-	-	-	-	24
無 断 外 泊		-	-	-	-	-	-	-	0
マ ナ ー 違 反		-	-	-	-	-	-	-	0
交 通 違 反		-	-	-	-	-	-	-	0
盛 り 場 徘 徊		-	-	-	-	-	-	-	0
危険な行為・遊び		-	-	-	6	-	-	-	6
集 団 行 動		4	-	-	314	102	-	36	456
単 独 行 動		1	-	-	2	1	-	-	4
そ の 他		-	-	-	22	2	-	-	24
合 計		29	0	0	357	105	0	36	527

【相談員の指導内容】

(単位：人)

行為	場所	ゲーム センター	飲食店	デパート	駅周辺	公 園	路 上	その他	合 計
通 報		-	-	-	6	-	-	-	6
行為の制止・指導		18	-	-	22	-	-	-	40
登校・帰宅指導		11	-	-	314	103	-	36	464
悩 み 相 談		-	-	-	-	-	-	-	0
世間話等の会話		-	-	-	15	2	-	-	17
そ の 他		-	-	-	-	-	-	-	0
合 計		29	0	0	357	105	0	36	527

【学職別補導状況】

(単位：人)

学職	場所	ゲーム センター	飲食店	デパート	駅周辺	公 園	路 上	その他	合 計
小 学 生		2	-	-	-	43	-	11	56
中 学 生		27	-	-	48	10	-	17	102
高 校 生		-	-	-	298	52	-	8	358
大 学 生		-	-	-	4	-	-	-	4
各 種 学 校 生		-	-	-	-	-	-	-	0
有 職 少 年		-	-	-	-	-	-	-	0
無 職 少 年		-	-	-	-	-	-	-	0
不 明		-	-	-	7	-	-	-	7
合 計		29	0	0	357	105	0	36	527

【令和5年度白ポスト（有害図書等）回収状況】

（単位：点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
水 戸 駅 南 口	10	-	3	16	2	-	11	12	2	10	7	23	96
若 宮 団 地	2	-	-	-	-	-	2	20	5	154	8	-	191
中央郵便局前	2	-	14	1	10	3	1	1	-	28	5	3	68
水 戸 駅 北 口	23	66	38	24	91	100	42	46	17	20	40	47	554
赤 塚 駅 北 口	13	14	13	9	25	4	13	21	7	-	6	18	143
赤 塚 駅 南 口	38	-	3	7	13	19	9	34	3	24	6	11	167
河 和 田 団 地	18	38	33	26	32	43	20	40	3	91	70	29	443
桜 川 団 地	11	-	-	-	1	20	14	24	41	17	5	4	137
内 原 駅 前	1	-	3	-	38	-	7	15	-	-	29	2	95
合 計	118	118	107	83	212	189	119	213	78	344	176	137	1,894

少年自然の家

近年、都市化が進み、自然に親しむ機会が少なくなりつつある子どもたちが、大自然の中での集団宿泊生活や野外活動など学校や家庭では得がたい体験を通して、情操や社会性を豊かにし、規律・友愛・協同・奉仕の精神を養い、健全な子どもたちを育成するための集団宿泊施設である。

さらなる魅力を高めるため、平成 27・28 年度の 2 か年をかけて、耐震補強及び大規模改造工事を実施し、平成 29 年 4 月から運営を再開した。

完成した施設は、全室冷暖房を完備し、自然を一望できる大食堂をはじめ、広々とした大浴場や雨天時でも使用可能な野外炊飯場などがあり、自然豊かな環境においても快適な施設として利用促進を図る。また、四季の体験学習やサマーキャンプなどの主催事業の充実や多くの利用者、ニーズに対応した活動プログラムの提供に努める。

1 施設の概要

所在地 水戸市全隈町 80-1

電話 029-254-2200

FAX 029-254-2201

開所日 昭和 50 年 4 月 15 日

敷地面積 25,056.81 m²

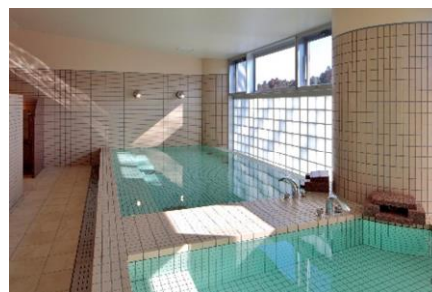
延床面積 5,189.08 m²

- 全室冷暖房完備
- 宿泊棟：宿泊定員 223 人
- 大食堂（テラス有）：定員 250 席
- 大浴場（男女別）：定員 40 人
- 工作室（創作）：定員 30 人
- 野外炊飯場（雨天時対応）：定員 180 人
- 研修室（大・小）、創作の館、多目的ホール
（スポーツや雨天時の屋内キャンプファイヤー場など）完備

- 利用できる人
 - ・ 幼児及びその引率者
 - ・ 小中学校等の児童生徒及びその引率者
 - ・ 少年団体及びその引率者
 - ・ その他市教育委員会が適当と認めた者



250 人が一堂に食事できる食堂



広々とした浴室

【使用料】

区 分	宿 泊（1人1泊）		日 帰 り（1人）	
	市内居住者	市外居住者	市内居住者	市外居住者
幼 児	150 円	370 円	70 円	220 円
小 学 生	300 円	750 円	150 円	450 円
中 学 生	300 円	750 円	150 円	450 円
幼児、小学生又は中学生の引率者	300 円	750 円	150 円	450 円
そ の 他	750 円	1,500 円	450 円	1,200 円

※ 公の施設の広域利用における居住者は、市内居住者と同一料金である。

※ 使用料のほか、食事代、シーツクリーニング代等を実費徴収する。

2 主な活動内容

- (1) 日中の活動
ウォークラリー，ネイチャーゲーム，
科学創作活動，野営テント体験など
- (2) 夜の活動
キャンプファイヤー，キャンドルサービス，
移動天文車の大望遠鏡による星空観察など
- (3) 令和6年度の新たな取組
○ 活動プログラム
「草木染め」，「凧作り」，竹を加工して制作する「ぶんぶんごま」，「竹笛」を新設する。



野営テント体験（サマーキャンプ）

【利用状況】（令和5年度）

実利用者人数 （人）	滞 在 日 数 別 利 用 者 数 （人）						稼働日数 （日）	延利用者人数 （人）
	1 日	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上		
8,972	2,761	5,783	428	-	-	-	197	15,611

【対象別利用状況】（令和5年度）

対 象	幼稚園	小学校	中学校	少年団体	そ の 他	合 計
団体数（団体）	28	41	11	28	67	175
人 数（人）	996	2,821	1,082	1,369	2,704	8,972

【月別利用状況】（令和5年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
団体数（団体）	10	10	23	16	19	25
人 数（人）	446	922	1,554	739	998	897

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
17	15	11	5	14	10	175
938	810	419	227	422	600	8,972

【年度別利用状況】

年 度	団 体 数 （団体）	実 人 数 （人）	延 人 数 （人）
令和元年度	246	13,365	26,319
令和2年度	90	5,013	5,896
令和3年度	122	7,587	10,184
令和4年度	151	8,392	13,813
令和5年度	175	8,972	15,611



四季の体験学習（稲刈り）



四季の体験学習（収穫祭）



ウォーターロケットプロジェクト



秋の味覚狩り



ネイチャーデイキャンプ



スターハウス

歴史的資源の保全と活用

1 文化財の保護、保存、活用

- (1) 水戸ならではの貴重な財産である文化財について、一層の保護・保存・活用を図り、将来の世代に確実に継承していくとともに、水戸のまちの魅力向上につなげる諸政策を総合的に推進する。
- (2) 水戸を訪れる人が水戸の歴史を理解し、親しみを持つことができるよう、文化遺産説明板の設置等を推進する。
- (3) 歴史的風致維持向上計画（第2期）に基づき、水戸城歴史的建造物など、歴史的資源の適切な管理・活用を図り、水戸にふさわしい風格ある歴史まちづくりを進める。
- (4) 市指定天然記念物ヒカリモを観光資源として活用するため、移設・保存の手法を検討し、新たな水戸の魅力として広く発信する。
- (5) 地域文化財制度により、地域の文化財を幅広い人々に知ってもらい、郷土への愛着を育んで後世に伝えていく。

2 史跡等整備活用事業の推進

古代常陸国那賀郡の役所や寺院の跡である国指定史跡台渡里官衙遺跡群について、歴史公園の開設に向け、観音堂山地区内の調査・研究を行うとともに、保存活用計画の策定作業を推進する。

3 埋蔵文化財発掘調査等事業の推進

- (1) 地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財について、市民の理解と協力を得ながら、文化財保護法に則した適切な保護、保存を図るため、試掘・確認調査及び本発掘調査を実施する。
- (2) 国指定史跡大串貝塚の保護、保存に努めるとともに、大串貝塚ふれあい公園等において、市内の埋蔵文化財の魅力を発信するため、出土品の公開を行い、埋蔵文化財等を活用した学習や体験活動等の充実を図る。

4 伝統芸能の継承と発展

無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、市内の民俗芸能伝承団体の活動に対する支援を実施する。

5 世界遺産登録・日本遺産周知に向けた取組の推進

- (1) 近世日本の重要な教育遺産であり、日本遺産の構成文化財である弘道館・偕楽園の世界遺産登録に向け、関係自治体との推進協議会を通じた広域連携による活動を推進するとともに、市民との協働による取組を進め、登録に向けた機運と郷土愛の醸成に努める。
- (2) 日本遺産「近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一」の魅力を国内外に向けて発信し、弘道館などの国際的な知名度を高めるとともに、観光や教育の振興、地域のブランド力の向上を図る。

水戸市の文化財一覧

【国指定文化財（18件）】

（令和6年4月1日現在）

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
1	建 造 物	八幡宮本殿	八幡町	八幡宮	昭29. 9. 17
2	建 造 物	旧弘道館(正庁・至善堂・正門附塀)	三の丸	茨城県	昭39. 5. 26
3	建 造 物	薬王院本堂	元吉田町	薬王院	昭41. 6. 11
4	建 造 物	中崎家住宅	鯉淵町	個人蔵	昭43. 4. 25
5	建 造 物	佛性寺本堂(附旧露盤1個)	栗崎町	佛性寺	昭63. 1. 13
6	彫 刻	木造 聖徳太子立像	酒門町	善重寺	大 4. 8. 10
7	工 芸 品	太刀(銘則包作 附糸巻太刀拵)	緑町	茨城県立歴史館	明44. 4. 17
8	工 芸 品	朱漆足付盥	六反田町	六地藏寺	平 3. 6. 21
9	考 古 資 料	茨城県三味塚古墳出土品	緑町	茨城県立歴史館	平30. 10. 31
10	歴 史 資 料	一橋徳川家関係資料	緑町	茨城県立歴史館	令 2. 9. 30
11	特 別 史 跡	旧弘道館	三の丸	茨城県	昭27. 3. 29
12	史 跡	常磐公園(偕楽園)	常磐町・見川町	茨城県	大11. 3. 8
13	史 跡	吉田古墳	元吉田町	水戸市	大11. 3. 8
14	史 跡	愛宕山古墳	愛宕町	水戸市・愛宕神社	昭 9. 5. 1
15	史 跡	大串貝塚	塩崎町	水戸市	昭45. 5. 11
16	史 跡	台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)	渡里町	水戸市	平17. 7. 14
17	名 勝	常磐公園(偕楽園)	常磐町・見川町	茨城県	大11. 3. 8
18	天 然 記 念 物	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	八幡町	八幡宮	昭 4. 4. 2

【記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財（国選択）】

*	無形民俗文化財	大串のささらと大野のみろく	大串町・下大野町	大串ささらばやし保存会 大野みろくばやし保存会	昭48. 11. 5
---	---------	---------------	----------	----------------------------	------------

【県指定文化財（69件）】

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
1	建 造 物	水海道小学校玄関	緑町	茨城県立歴史館	昭33. 3. 12
2	建 造 物	薬王院仁王門	元吉田町	薬王院	昭34. 5. 22
3	建 造 物	旧茂木家住宅	緑町	茨城県立歴史館	昭45. 5. 28
4	建 造 物	四脚門	六反田町	六地藏寺	昭46. 12. 2
5	建 造 物	旧水戸城薬医門	三の丸	茨城県教育委員会	昭58. 3. 18
6	建 造 物	綿引家住宅(主屋・倉)	元吉田町	個人蔵	平 3. 1. 25
7	絵 画	絹本著色 弁財天画像	緑町	茨城県立歴史館	昭39. 7. 31
8	絵 画	絹本著色 両界曼荼羅	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
9	絵 画	絹本著色 弘法大師像	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
10	絵 画	絹本著色 真言八祖像	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
11	絵 画	絹本著色 十二天立像	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
12	絵 画	絹本著色 六字経曼荼羅	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
13	絵 画	絹本著色 十三仏図	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
14	絵 画	絹本著色 釈迦十六善神図	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
15	絵 画	紙本著色 制吒迦童子像	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
16	絵 画	絹本墨画 芦雁図 立原杏所筆	緑町	茨城県立歴史館	平14. 1. 25
17	絵 画	絹本著色 流燈 横山大観筆	千波町	茨城県近代美術館	平16. 1. 8
18	絵 画	カルピスの包み紙のある静物 中村彝筆 油絵 麻布 1923年	千波町	茨城県近代美術館	平18. 11. 16
19	絵 画	紙本淡彩 海島秋来 小川芋銭筆	千波町	茨城県近代美術館	平22. 11. 18
20	絵 画	絹本著色 阿房劫火 木村武山筆	千波町	茨城県近代美術館	平22. 11. 18
21	彫 刻	鍍金仏	緑町	信願寺	昭29. 8. 18
22	彫 刻	阿弥陀如来像	緑町	茨城県立歴史館	昭30. 1. 25
23	彫 刻	木造 薬師如来坐像	元吉田町	薬王院	昭34. 5. 22
24	彫 刻	木造 釈迦如来坐像	緑町	茨城県立歴史館	昭35. 12. 13
25	彫 刻	銅造 大黒天像	河和田町	報佛寺	昭37. 10. 24
26	彫 刻	金銅化仏	千波町	個人蔵	昭44. 3. 20
27	彫 刻	木造 阿弥陀如来脇侍三尊像	緑町	茨城県立歴史館	昭47. 12. 18
28	彫 刻	木造 十二神将像	元吉田町	薬王院	昭49. 11. 25
29	彫 刻	銅造 大日如来及三十日仏坐像	栗崎町	佛性寺	平12. 11. 27
30	工 芸 品	黒韋肩浅葱筋兜	八幡町	八幡宮	昭32. 6. 26
31	工 芸 品	蒔絵櫃	緑町	茨城県立歴史館	昭33. 3. 12
32	工 芸 品	つのたらい	緑町	茨城県立歴史館	昭33. 7. 23
33	工 芸 品	軍陣鞍	新莊	個人蔵	昭35. 3. 28
34	工 芸 品	六地藏石幢	緑町	茨城県立歴史館	昭37. 10. 24
35	工 芸 品	鎧(兜, 大袖付)	県外	個人蔵	昭37. 10. 24
36	工 芸 品	鎧(兜, 大袖付)	千波町	個人蔵	昭37. 10. 24
37	工 芸 品	鎧	緑町	茨城県立歴史館	昭37. 10. 24
38	工 芸 品	鞍	大町	市立博物館	昭37. 10. 24
39	工 芸 品	大薙刀	緑町	茨城県立歴史館	昭37. 10. 24
40	工 芸 品	銅製経筒	天王町	神崎寺	昭37. 10. 24
41	工 芸 品	鎧	大町	市立博物館	昭38. 8. 23
42	工 芸 品	太刀(銘吉房)	緑町	茨城県立歴史館	昭38. 8. 23
43	工 芸 品	大袖鎧	千波町	個人蔵	昭39. 7. 31
44	工 芸 品	鎧	千波町	個人蔵	昭39. 7. 31
45	工 芸 品	金梨地蒔絵鞍	緑町	茨城県立歴史館	昭41. 3. 7
46	工 芸 品	灌頂用具	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
47	工 芸 品	密教法具	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
48	工 芸 品	銅装龍輪宝羯磨文戒体箱	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
49	工 芸 品	銅装龍輪宝羯磨文説相箱	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
50	工 芸 品	銅板貼山伏笈	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
51	工 芸 品	漆塗経櫃	六反田町	六地藏寺	昭50. 3. 25
52	工 芸 品	総毛引紅糸威胴丸具足	緑町	茨城県立歴史館	平10. 1. 21
53	工 芸 品	鰐口 如意寺, 嘉暦三年在銘	緑町	茨城県立歴史館	平16. 1. 8
54	書 跡	大般若波羅密多經	県外	個人蔵	昭38. 8. 23
55	書 跡	唐本一切經	緑町	茨城県立歴史館	昭42. 11. 24
56	書 跡	六地藏寺所蔵典籍・文書	六反田町	六地藏寺	昭46. 3. 29
57	書 跡	紙本墨書 神皇正統記 六地藏寺本	六反田町	六地藏寺	平16. 1. 8

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
58	考 古 資 料	銅印	緑町	茨城県立歴史館	平 4. 1. 24
59	考 古 資 料	海後遺跡出土人面付土器	緑町	茨城県立歴史館	平14. 12. 25
60	考 古 資 料	小野天神前遺跡出土土器	緑町	茨城県立歴史館	平16. 11. 25
61	考 古 資 料	舟塚古墳出土遺物39点 (円筒埴輪16点・朝顔形埴輪5点・ 人物埴輪17点・器財埴輪1点)	緑町	茨城県立歴史館	平27. 1. 22
62	歴 史 資 料	訂正常陸国風土記版木(附箱板2枚)	緑町	茨城県立歴史館	昭60. 12. 16
63	歴 史 資 料	徳川光圀書翰集	三の丸	茨城県立図書館	平23. 11. 17
64	無形民俗文化財	大串のささらばやし	大串町	大串ささらばやし保存会	昭41. 3. 7
65	無形民俗文化財	大野のみろくばやし	下大野町	大野みろくばやし保存会	昭41. 3. 7
66	無形民俗文化財	水戸大神楽	元山町 常磐町	柳貴家正楽社中 柳貴家勝蔵社中	平 3. 1. 25 平20. 11. 17
67	史 跡	笠原水道	千波町・笠原町・本町・元吉田町	水戸市	昭13. 3. 11
68	史 跡	台渡里官衙遺跡群 (台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡)	渡里町	水戸市	昭20. 7. 16
69	史 跡	水戸城跡(塁及び濠)	三の丸	茨城県・茨城大学・水戸市	昭42. 11. 24

【市指定文化財（110件）】

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
1	建 造 物	杉崎八幡神社本殿	杉崎町	杉崎区	昭57. 7. 1
2	建 造 物	中原不動尊本堂及び厨子	中原町	中原区	昭61. 4. 1
3	建 造 物	東光寺薬師堂及び厨子	大場町	東光寺	平 2. 3. 2
4	建 造 物	六地藏寺本堂(地藏堂)	六反田町	六地藏寺	平 2. 3. 2
5	建 造 物	六地藏寺法寶蔵	六反田町	六地藏寺	平 2. 3. 2
6	建 造 物	和光院不動堂	田島町	和光院	平 9. 9. 1
7	建 造 物	八幡宮拝殿及び幣殿	八幡町	八幡宮	平 9. 11. 7
8	建 造 物	八幡宮神楽殿	八幡町	八幡宮	平 9. 11. 7
9	建 造 物	八幡宮随神門	八幡町	八幡宮	平 9. 11. 7
10	建 造 物	薬王院四脚門	元吉田町	薬王院	平17. 3. 10
11	建 造 物	春日神社本殿 附棟札2枚、扉板2枚	赤尾関町	春日神社	平25. 2. 8
12	建 造 物	水戸東武館(道場・正門附塀)	北見町	水戸東武館	平25. 10. 25
13	建 造 物	鹿島神社本殿・拝殿・中門及び瑞 垣(附設計図9点)	三の丸	鹿島神社	平29. 2. 3
14	絵 画	三十六歌仙扁額	緑町	茨城県立歴史館	平 5. 4. 14
15	絵 画	紙本著色 不動明王像	田島町	和光院	平 6. 2. 1
16	絵 画	絹本著色 那珂湊口晩望図 立原杏所筆	緑町	茨城県立歴史館	平19. 5. 9
17	絵 画	絹本著色 雪中小禽・柳下水禽図 立原杏所筆	大町	水戸市	平19. 5. 9
18	絵 画	絹本著色 旭日に波図 狩野興也筆	大町	水戸市	平22. 2. 18
19	絵 画	絹本水彩 晃嶺群芳之図 五百城文哉筆	大町	水戸市	平22. 2. 18
20	絵 画	絹本著色 聖徳太子絵伝(断簡)	酒門町	善重寺	平23. 10. 28
21	絵 画	絹本著色 阿弥陀如来来迎図	酒門町	善重寺	平23. 10. 28
22	絵 画	紙本墨画 蜻蛉図 林十江筆	緑町	茨城県立歴史館	令 5. 2. 10
23	彫 刻	銅造 阿弥陀如来及両脇侍立像	八幡町	祇園寺	昭31. 12. 17
24	彫 刻	木造 阿弥陀如来立像	吉沼町	吉沼観音堂保存会	昭37. 2. 24
25	彫 刻	木造 十一面観音立像	飯富町	個人蔵	昭47. 11. 28

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
26	彫 刻	木造 薬師如来坐像	大場町	東光寺	昭56. 3. 9
27	彫 刻	十一面観音像	鯉淵町	個人蔵	昭56. 10. 1
28	彫 刻	石造 六地藏	栗崎町	佛性寺	昭60. 3. 25
29	彫 刻	石造 金剛力士立像	栗崎町	佛性寺	昭60. 6. 1
30	彫 刻	銅造 阿弥陀如来立像	飯富町	真佛寺	平 5. 4. 14
31	彫 刻	木造 金剛力士立像	元吉田町	薬王院	平 6. 6. 3
32	彫 刻	木造 神事面	元山町	別雷皇太神	平 8. 11. 15
33	彫 刻	木造 阿弥陀如来及両脇侍立像	酒門町	定善寺	平16. 2. 6
34	彫 刻	木造 狛犬	八幡町	八幡宮	平21. 2. 6
35	彫 刻	木造 菩薩立像	元吉田町	薬王院	平23. 10. 28
36	工 芸 品	常葉山時鐘	宮町	東照宮	昭28. 9. 10
37	工 芸 品	太極砲	常磐町	常磐神社	昭37. 2. 24
38	工 芸 品	陣太鼓	常磐町	常磐神社	昭37. 2. 24
39	工 芸 品	備人形	大町	水戸市	昭47. 5. 19
40	工 芸 品	五輪塔	元吉田町	薬王院	昭48. 1. 20
41	工 芸 品	刀 (市毛徳鄰作)	袴塚	個人蔵	昭40. 6. 22
42	工 芸 品	刀 (徳川斉昭作)	緑町	茨城県立歴史館	昭40. 6. 22
43	工 芸 品	刀 (直江助政作)	宮町	個人蔵	昭40. 6. 22
44	工 芸 品	刀 (直江助政作)	袴塚	個人蔵	平 8. 2. 23
45	工 芸 品	刀 (勝村徳勝作)	袴塚	個人蔵	平 8. 2. 23
46	工 芸 品	安神車	宮町	東照宮	昭42. 3. 22
47	工 芸 品	銅造 燈籠	宮町	東照宮	昭54. 8. 3
48	工 芸 品	銅造 釣燈籠	緑町	茨城県立歴史館	昭54. 8. 3
49	工 芸 品	陣太鼓附台車	八幡町	八幡宮	昭54. 8. 3
50	工 芸 品	須恵器壺	塩崎町	水戸市	昭57. 2. 22
51	工 芸 品	石造 宝篋印塔	大串町	水戸市	昭59. 3. 30
52	工 芸 品	大串稻荷神社神輿並びに日月鉾	大串町	大串稻荷神社	平 4. 2. 5
53	工 芸 品	黒漆金銅装八角神輿, 台輪付き (附 瓔珞・風鐸・神鏡等装飾金 具, 案2脚, 銘札2枚)	八幡町	八幡宮	平21. 2. 6
54	工 芸 品	七面焼土瓶(蓋付)・土鍋	見川	個人蔵	平22. 2. 18
55	工 芸 品	六角宝幢形経筒	六反田町	六地藏寺	令 4. 2. 10
56	典 籍	左近詠草	緑町	茨城県立歴史館	昭59. 3. 7
57	典 籍	紙本墨書 傳燈山和光院過去帳	田島町	和光院	平22. 2. 18
58	古 文 書	紙本墨書 足利氏満感状	備前町	個人蔵	平21. 2. 6
59	考 古 資 料	石枕・立花	内原町	水戸市	昭56. 10. 1
60	考 古 資 料	埴輪武装男子	塩崎町	水戸市	平 8. 11. 15
61	考 古 資 料	三角縁神獸鏡残欠	緑町	茨城県立歴史館	平13. 8. 31
62	考 古 資 料	大串貝塚出土遺物	塩崎町	水戸市	平18. 4. 18
63	考 古 資 料	大串遺跡第四号住居跡出土遺物	塩崎町	水戸市	平18. 4. 18
64	考 古 資 料	台渡里官衙遺跡出土銅印	塩崎町	個人蔵	平23. 10. 28
65	考 古 資 料	台渡里廃寺跡南方地区第1号 工房跡出土資料	塩崎町	水戸市	平23. 10. 28
66	考 古 資 料	日新塾跡出土オランダ陶器	塩崎町	水戸市	平25. 10. 25

番号	種 別	名 称	所在地	管理・所有者	指定年月日
67	考 古 資 料	水戸台地出土弥生・古墳時代折衷土器群6点	塩崎町	水戸市	平30. 2. 9
68	考 古 資 料	水戸城二の丸角櫓跡出土鬼瓦	塩崎町	水戸市	令 4. 2. 10
69	歴 史 資 料	算額	大場町	東光寺	昭59. 3. 30
70	歴 史 資 料	板碑	六反田町	六地藏寺	昭60. 6. 1
71	歴 史 資 料	板碑	平戸町	個人蔵	昭60. 6. 1
72	歴 史 資 料	五輪塔	千波町	個人蔵	平14. 4. 5
73	歴 史 資 料	日新塾母屋棟札	大町	水戸市	平22. 2. 19
74	歴 史 資 料	石河明善日記 附 学制略1部, 弘道館教育に関する意見書1部	大町	水戸市	平23. 10. 28
75	歴 史 資 料	獨杯集	塩崎町	個人蔵	平25. 2. 8
76	歴 史 資 料	加倉井砂山夫妻の墓	成沢町	個人蔵	平25. 2. 8
77	歴 史 資 料	慷慨淋漓の碑拓本附台石	元山町	神應寺	平27. 2. 5
78	歴 史 資 料	小泉家文書	大町	水戸市	令 2. 2. 10
79	歴 史 資 料	海河魚属・山海庶品	大町	水戸市	令 5. 2. 10
80	歴 史 資 料	伝三ノ町出土常総系双式板碑	六反田町	六地藏寺	令 5. 2. 10
81	歴 史 資 料	林十江の墓石	元吉田町	清巖寺	令 6. 2. 9
82	歴 史 資 料	大日本史編纂記録	緑町	茨城県立歴史館	令 6. 2. 9
83	無 形 文 化 財	水府流水術	城東	水府流水術協会	平 6. 6. 3
84	無 形 文 化 財	田谷の棒術	田谷町	田谷の棒術保存会	平23. 10. 28
85	無 形 文 化 財	北辰一刀流	北見町	水戸東武館古武道保存会	平25. 2. 8
86	無 形 文 化 財	新田宮流抜刀術	北見町	水戸東武館古武道保存会	平25. 10. 25
87	無形民俗文化財	水戸の獅子舞	浜田町	個人蔵	昭45. 4. 17
88	無形民俗文化財	大根むき花	元石川町	大根むき花保存会	昭50. 6. 19
89	無形民俗文化財	有賀神社の磯渡御	有賀町	有賀神社	昭59. 5. 1
90	無形民俗文化財	吉田神社の秋季祭礼	宮内町	吉田神社	平28. 1. 29
91	史 跡	義公生誕の地	三の丸	常磐神社	昭28. 9. 10
92	史 跡	藤田東湖生誕の地	梅香	水戸市	昭28. 9. 10
93	史 跡	常磐共有墓地	松本町	常磐共有墓地管理委員会	昭29. 7. 10
94	史 跡	水戸殉難志士の墓	松本町	水戸殉難志士の墓保存会	昭29. 7. 10
95	史 跡	会沢正志斎の墓	千波町	本法寺	昭29. 7. 10
96	史 跡	武田耕雲斎の墓	見川	妙雲寺	昭29. 7. 10
97	史 跡	酒門共有墓地	酒門町	酒門共有墓地管理委員会	昭30. 7. 23
98	史 跡	千束原追鳥狩本陣跡	元石川町	常磐神社	昭54. 8. 3
99	史 跡	日新塾跡	成沢町	日新塾精神顕揚会	平21. 2. 6
100	史 跡	横山大観生誕の地	城東	水戸市	平22. 2. 19
101	史 跡	唯円道場跡伝承地	河和田町	報佛寺	平23. 3. 7
102	史 跡	水戸城跡	三の丸	水戸市・茨城大学	平28. 1. 29
103	天 然 記 念 物	光藻	備前町	水戸市	昭28. 9. 10
104	天 然 記 念 物	かたくりの里	有賀町	有賀北区	昭56. 10. 1
105	天 然 記 念 物	六地藏寺のスギ	六反田町	六地藏寺	昭58. 3. 16
106	天 然 記 念 物	六地藏寺のイチヨウ	六反田町	六地藏寺	昭58. 3. 16
107	天 然 記 念 物	六地藏寺のシダレザクラ	六反田町	六地藏寺	昭60. 6. 1
108	天 然 記 念 物	愛宕山古墳のコブシ	栗崎町	芳賀神社	昭61. 3. 25
109	天 然 記 念 物	水戸城跡の大シイ	三の丸	水戸市	平10. 8. 5
110	天 然 記 念 物	八幡宮の大ケヤキ	八幡町	八幡宮	平31. 2. 8

【指定文化財数】

(単位：件)

区 分	有 形 文 化 財										無 形 文 化 財	民俗文化財		記 念 物			合 計
種 類	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡	典 籍	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料	小 計		有 形 民 俗 文 化 財	無 形 民 俗 文 化 財	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物	
国指定	5	-	1	2	-	-	-	1	1	10	-	-	-	6	1	1	18
県指定	6	14	9	24	4	-	-	4	2	63	-	-	3	3	-	-	69
市指定	13	9	13	20	-	2	1	10	14	82	4	-	4	12	-	8	110
計	24	23	23	46	4	2	1	15	17	155	4	-	7	21	1	9	197

【登録有形文化財（4件）】

種別	名 称	数量	所在地	管 理 者	登録年月日
建造物	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	1	新荘	茨城県	平 8. 12. 20
建造物	水戸市水道低区配水塔	1	北見町	水戸市	平 8. 12. 20
建造物	祐月本店雛蔵	1	末広町	(株)祐月本店	平27. 11. 17
建造物	和田家住宅延年楼	1	自由が丘	個人蔵	平27. 11. 17

【水戸市内における埋蔵文化財包蔵地種別一覧】

(単位：件)

集落跡	包蔵地	貝 塚	古 墳 (群)	塚	寺院・ 官衙跡	生産遺跡 (窯跡)	城館跡	水道跡	火葬墓	その他	合 計
158	185	4	107	15	4	17	30	1	2	2	525

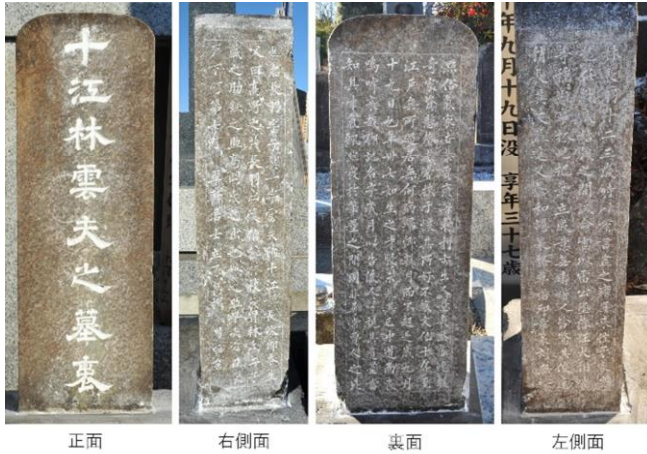
【水戸市地域文化財※（10件）】

種別	名 称	所在地	管 理 者	認定年月日
史跡	河和田城跡	河和田町	水戸市	平 31. 3. 20
無形民俗文化財	薬師堂の民間信仰資料群	上国井町	上国井自治会薬師樹林を再生する会	平 31. 3. 20
名勝	保和苑	松本町	水戸市	令 2. 3. 11
建造物	満蒙開拓幹部訓練所 事務棟・講義棟	鯉淵町	鯉淵学園農業栄養専門学校	令 4. 3. 22
歴史資料	木村家住宅 水戸空襲遺構（附焼夷弾1点）	上水戸	個人	令 4. 3. 22
天然記念物	見川小学校のシダレザクラ	見川	水戸市	令 4. 3. 22
有形民俗文化財	見川一本松の供養塔	見川	住みよい見川をつくる会	令 5. 3. 23
無形民俗文化財	向井町の散々楽	元山町	向井町散々楽保存会	令 5. 3. 23
彫刻	木造 如意輪観音坐像	内原町	江川鹿島神社氏子会	令 6. 3. 22
歴史資料	D51 形 515 号蒸気機関車	千波町	水戸市	令 6. 3. 22

※ 指定・登録を受けていないものの、地域で大切に守り伝えられている文化財を認定し、保存活用につなげる市独自の制度（平成 30 年 4 月制定）

新指定・認定の文化財

・新指定の市指定文化財



歴史資料
林十江の墓石



歴史資料
大日本史編集記録

・新認定の市地域文化財



彫刻
木造 如意輪観音坐像



歴史資料
D51 形 515 号蒸気機関車

日本遺産「近世日本の教育遺産群 一学ぶ心・礼節の本源一」



日本最大規模の藩校 弘道館



学業休息の庭園 借楽園



大日本史の編さん所 水戸彰考館跡



日本屈指の私塾 日新塾跡



徳川光圀の命により編さんされた歴史書 大日本史

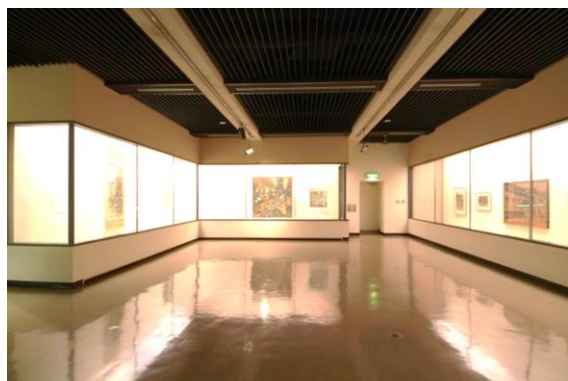
博 物 館

昭和 55 年 7 月 1 日に中央図書館との複合施設として開館した総合博物館であり、郷土水戸に関する資料を自然・歴史・民俗・美術の 4 部門において収集し、展示公開している。

地下 1 階、地上 4 階建ての施設で、2 階・3 階・4 階に展示室があり、水戸の自然・歴史・文化の特性や現状について広く理解できるよう、2 階に民俗・歴史、3 階に自然・美術Ⅰ、4 階に美術Ⅱという構成で常設展を開催している。企画展・特別展は、主に 4 階の展示室を会場として、テーマに沿って広く資料を集め展示を行っている。



博物館外観



展 示 室

1 施設の概要

所 在 地	水戸市大町 3 - 3 - 20
電 話	029-226-6521
敷地面積	2,708.13 m ²
延床面積	1,922.72 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 4 階
開館時間	9 : 30 ~ 16 : 45
休 館 日	月曜日（祝日と重なった場合は翌日）、国民の祝日（特別展開催時は開館）、年末年始
入 場 料	常設展は無料 特別展は一般のみ有料

2 運営方針

郷土水戸に関わりのある自然・歴史・民俗・美術等の資料を収集・保管し、調査・研究を行う。また、展覧会の開催等を通して、郷土の歴史や文化、自然にふれることのできる機会を提供するなど、地域、学校との連携のもと、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

(1) 特別展等の開催

ア 特別展・企画展等を年 3 回開催して、郷土の歴史や文化、自然に対する新たな視点からの興味・関心を引き起こし、市民文化の向上に努める。

イ 展覧会の関連行事など博物館内外での活動を通して、展示の補完に努める。

(2) 収藏品等による常設展の開催

ア 調査・研究・展示等に活用するため、郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。

イ 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど、常設展の展示内容の充実に努める。

(3) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

市指定文化財であり、本市の歴史を語る貴重な知的資源である「石河明善日記」の刊行を推進し、平成 24 年度から解説を進めてきた成果の公表に努める。

(4) 学校等との連携事業の推進

小学校等の校外学習として博物館見学を受け入れ、「むかしの道具の実体験講座」を実施するほか、出前授業や資料の貸出を行うなど、学校教育との連携に努める。

(5) 各種教育普及事業の推進

ア 戦争体験者から当時の体験を聞く「わたしは戦争を忘れない」を実施し、平和の大切さを伝えるとともに、記憶が風化しないよう記録に努める。

イ 自然観察会等の博物館外での活動を実施し、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

3 教育普及事業

自然観察会等の参加体験型の教育普及事業を実施する。

また、学校教育との連携にも力を入れ、収蔵資料の貸出や、学校単位の実体験講座を行っている。



自然観察会（野鳥観察会）



体験講座（昔のアイロン）

4 博物館の利用状況（令和5年度）

(1) 常設展

部門	テーマ	期 間	入場者数
自然	水戸のいきもの	通 年	13,141 人
歴史	テーマ1 旅・観光から見る水戸の歴史 テーマ2 戦争に行った者たち	通 年	
民俗	『何を願って、どう戦った!!』 － 戦時下の暮らし － 関連行事 ① 国策紙芝居と実物 ② パールハーバーを知っていますか？	通 年	
		① 7月22日 ② 12月9日	
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ1 近現代の彫刻家たち テーマ2 稲田三郎の抽象版画	9月9日～10月1日	
	水戸の美術Ⅱ テーマ1 近現代の洋画 － 人物を描く －	12月9日 ～ 令和6年1月8日	
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 工芸 テーマ2 水戸の日本画、山のある風景	令和6年3月22日～ 3月31日 ※5月下旬まで展示	

(2) 企画展・特別展

ア 企画展

部 門	展 覧 会 名	期 間	入場者数
自 然	子どもミュージアム 昆虫の不思議	7月25日 ～ 8月27日	3,458 人

イ 特別展

部 門	展 覧 会 名	期 間	入場者数
美 術	中村光哉の染色 黒の時代 ― 蠟の仕事 ―	10月21日 ～ 11月26日	999 人
歴 史	江戸氏 ― 知られざる水戸の戦国時代 ―	令和6年2月3日 ～ 3月10日	4,257 人

ウ その他

部 門	展 覧 会 名	期 間	入場者数
歴 史 美 術	水戸市民会館オープン記念特別展示 市立博物館コレクション展	6月10日 ～ 令和6年1月8日	6,857 人

(3) 教育普及事業

ア 参加体験型事業

事 業 名		期 日	場 所	対 象	参加者数
自然観察会		5 月 1 日	逆 川 緑 地	子 ども か ら 一 般	14 人
		7 月30日			20 人
		10月 8 日			20 人
		1 月14日			12 人
		2 月 3 日	大 塚 池		20 人
みと歴史講座		10月 1 日	中央図書館	一 般	38 人
		12月 2 日			36 人
		12月16日			39 人
その他の講座					
	令和 5 年度基本研修第 1 部課程 前期研修「水戸の歴史」	4 月13日	市 内	新規採用職員	58 人
	中世都市水戸の成立 ー水戸と江戸氏ー	5 月26日	市 内	一 般	21 人
	水浜電車とその歴史	6 月 6 日	市 内	一 般	35 人
	令和 5 年度茨城県市町村歴史民俗 資料館連絡協議会第 1 回研修会	10月 6 日	市 内	一 般	14 人
	令和 5 年度高齢者福祉講座 「水戸城とその歴史」	11月 8 日	市 内	一 般	33 人
	源氏物語女人絵巻	1 月17日	市 内	一 般	13 人

イ 学校連携事業

事業名	学校数	人数・件数	備考
見学・体験講座	8校	503人	
博物館見学	2校	56人	
資料の貸出	4校	51件	戦争関係資料, 昔の道具

(4) 市民や地域との連携事業

事業名	期間	場所	対象	参加者数
ひ～すプロジェクト (博物館・平和記念館・芸術館)				
わたしは戦争を忘れない — 戦中・戦後を生きて —	8月2日	みと文化交流 プラザ	子ども から 一般	72人
	8月15日			56人
私たちが受け継ぐ戦争の 記録 — つなげ, 過去と 未来 東京と水戸 —	8月19日	オンライン	子ども から 一般	高校生 32人 戦争体験者 1人 一般視聴者 19回線

大塚農民館

昭和61年4月17日に開館した大塚農民館では、機械化が進む中で姿を消した農具や、農民の生活に使われた道具などを展示している。

この農民館は、古来の農民の生活を永く後世に伝えたいという大塚町出身の安蔵勉氏の志により建設され、昭和61年2月25日に水戸市に寄贈された。

1 施設の概要

所在地	水戸市大塚町1223-2
電話	029-251-9402 (上中妻市民センター)
敷地面積	493.03m ²
延床面積	77.76m ²
構造	木曾檜校倉造り, 平屋, 銅葺き屋根
開館時間	10:00 ~ 16:00
休館日	月曜日, 年末年始
入場料	無料



大塚農民館

2 展示内容

農家の土間や囲炉裏の周りなどで使われていた民具をはじめ、代表的な農具を展示している。

大串貝塚ふれあい公園

平成3年7月に国指定史跡大串貝塚を保護・保存・活用するため、歴史公園として整備した。園内にそびえるダイダラボウ像は、常澄地区のシンボルとして親しまれている。平成22年4月には、園内に本市における埋蔵文化財の保護・保存・活用の拠点となっている埋蔵文化財センターを設置した。



巨人像（ダイダラボウ）



古代復元住居

1 運営方針

- (1) 『常陸国風土記』や国指定史跡大串貝塚を中心とした歴史公園という特色を生かし、大串貝塚の魅力を積極的に発信することにより、本市の文化振興に寄与できるよう努める。
- (2) 本市に関連する埋蔵文化財の調査及び出土品等の整理・収蔵・展示等を行い、資料の適切な保存管理と積極的な公開活用に努める。
- (3) 風土記の丘ふるさとまつりをはじめとする事業を通して、地域の活性化に寄与するとともに、本市の豊かな歴史文化への理解が深まるよう努める。
- (4) 未来をリードする児童生徒の郷土を愛する心を育むため、体験学習や出前授業等をはじめとする学校支援事業の推進に努める。

2 公園及び施設の概要

所在地	水戸市塩崎町1064-1
電話	029-269-5090
開園日	平成3年7月23日（巨人像オープンは平成4年2月20日）
駐車場	120台（普通車）収容

〈埋蔵文化財センター〉

構造	鉄筋コンクリート造	2階建
延床面積	1,225.79㎡	
開館時間	9:00～16:15	
休館日	月曜日（祝日と重なった場合は翌日）、年末年始	
入館料	無料	
主要室名	1階 縄文くらしの四季館（市内遺跡出土品を主とする資料館） 休憩ホール、収蔵庫、事務室	
	2階 埋蔵文化財整理作業室	

〈巨人像（ダイダラボウ）〉

奈良時代の文献『常陸国風土記』に記された巨人伝説をもとに建設

座 高：15.25m ※台座5mを含めると地上20.25m

材 質：FRP（特殊強化プラスチック）製

展 望 台：左手のひら，地上約10m及び台座上

展 示 室（台座内）：ダイダラボウ説明パネル，土偶の部屋，巨人の手，水の彫刻

〈古代復元住居〉

縄文，弥生，古墳時代の住居を復元

〈貝層断面観覧施設〉

大串貝塚の発掘調査をもとに貝塚を忠実に復元

〈テニスコート〉

2面：夜間照明付，全天候型

〈屋外プール〉

25m×15m

利用期間：7月下旬～8月下旬

〈その他〉

巨人足跡池（ダイダラボウの右足を型どった池）

各種広場（おまつり広場，イベント広場）

【利用料】

施設の名称	区 分		利用料金
テニスコート ※照明使用料は別途	1面につき	高校生以下の者のみが利用する場合	1時間につき210円
		上記の場合以外の場合	1時間につき350円
屋外プール	3歳以下の幼児		無料
	中学生以下		1回につき160円
	高校生以上		1回につき330円

【埋蔵文化財センター入館者数】（令和5年度）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入館 人数	1,186	1,283	1,112	1,272	1,080	1,300	1,513	4,915	1,039	1,098	1,141	1,376	18,315

内原郷土史義勇軍資料館

平成 15 年 2 月 1 日に開館し、「内原の郷土史」、「満蒙開拓青少年義勇軍」に関する資料を収集、展示している。外観は「日輪舎」をモチーフにした丸い屋根が特徴で、西側には、復元日輪舎が建てられている。

【施設の概要】

所在地	水戸市内原町 1497-16
電話	029-257-5505
敷地面積	3,664.81 m ²
延床面積	568.07 m ² (資料館) 93.40 m ² (復元日輪舎)
構造	鉄筋コンクリート 平屋
開館時間	9:00~16:45
休館日	月曜日 (祝日と重なった場合は翌日)、 年末年始
入場料	無料
駐車場	8 台



内原郷土史義勇軍資料館



復元日輪舎

くれふしの里古墳公園

水戸市内原地区の北部丘陵地帯は県内でも有数の古墳密集地である。この古墳群の正式名称は「牛伏古墳群」といい、全部で 16 基の古墳から構成されている。公園内には整備された前方後円墳がそのまま残されており、当時の権力者の隆盛や高度な土木技術がしのばれる。シンボルの「はに丸タワー (高さ 17.3m)」に登ると内原地区が見渡せ、特に桜の季節は花見のベストスポットとして人気がある。

【施設の概要】

所在地	水戸市牛伏町 201-2 外
利用時間	入園自由 はに丸タワー 4月~9月 (9:00~17:00) 10月~3月 (9:00~16:00) ※ ただし、1月1日~3日を除く。
敷地面積	31,142.84 m ²
休園日	無休
入場料	無料
駐車場	24 台



はに丸タワー

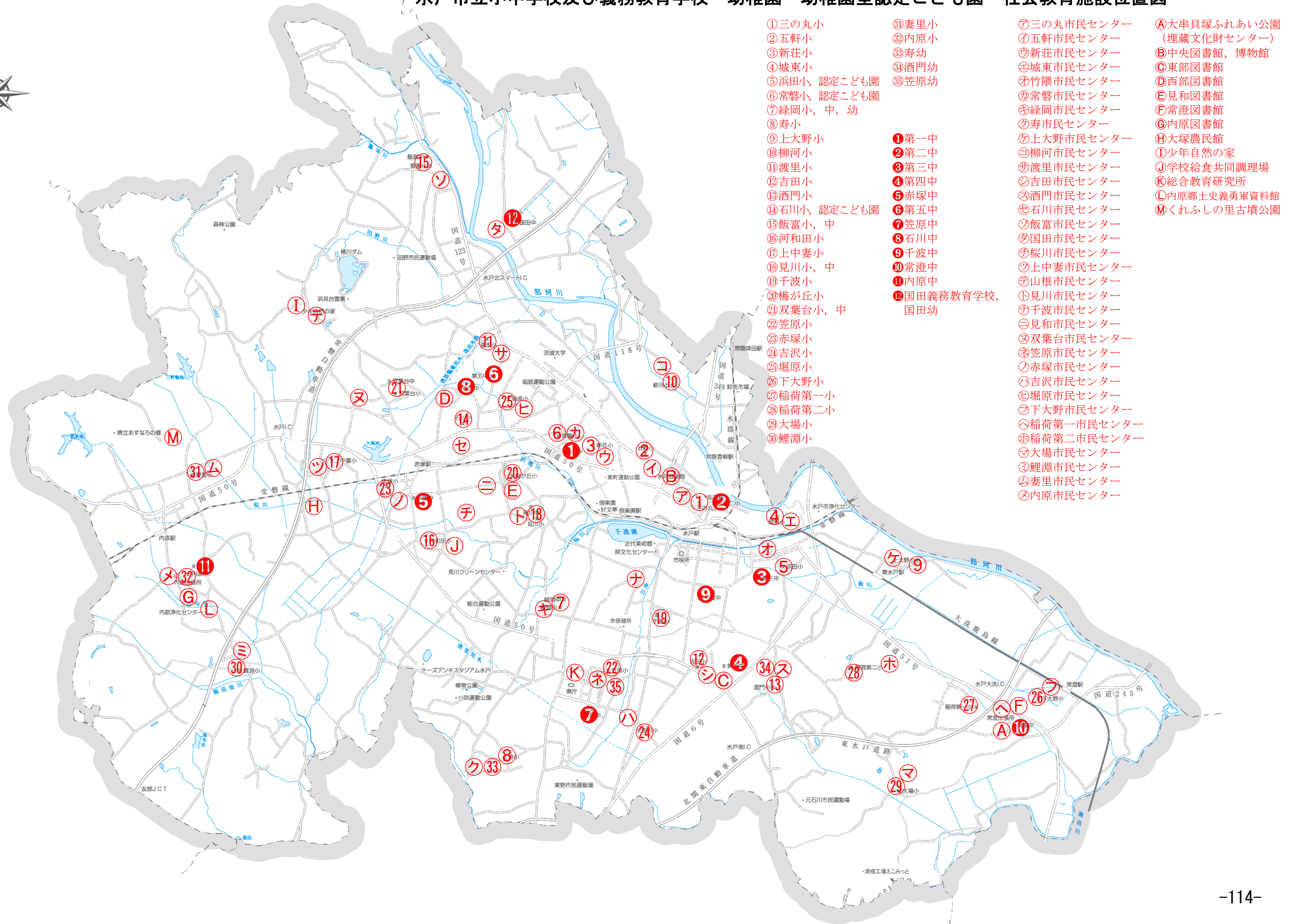
資 料

附属機関等一覧

名 称	設置年月日	設 置 目 的	組 織		設置規定	所管課等
			委員数	構 成		
市立小中学校 等学区審議会	昭36.12.25	教育委員会の諮問に応じ、 水戸市立小中学校等の学区 に関する事項を審議する。	20人以内	市議会代表 小中学校代表 小中学校PTA代表 学識経験者	水戸市立小 中学校等学 区審議会条 例	学校管理課
共同調理場運 営委員会	昭47.6.28	共同調理場の適正かつ円滑 な運営を図るため審議し、 教育委員会に助言する。	15人以内	学識経験者 学校長 PTA関係者	水戸市立学 校給食共同 調理場条例	学校保健給 食課
社会教育委員	昭25.3.31	社会教育に関する諸計画の 立案及び教育委員会の諮問 に応じ審議する。	20人以内	学識経験者 社会教育関係者 学校長	水戸市社会 教育委員条 例	生涯学習課
青少年問題協 議会	昭30.3.31	青少年の指導、育成、保護 及び矯正に関する総合的施 策の樹立に関する重要な事 項を調査審議する。	20人以内	学識経験者 関係機関代表	水戸市青少 年問題協議 会条例	生涯学習課
みと好文カレ ッジ運営審議 会	平6.4.1	みと好文カレッジの適正か つ円滑な運営を図る。	10人以内	学識経験者 社会教育関係団体関係者	みと好文カ レッジ条例	生涯学習課
少年自然の家 運営委員会	昭50.5.23	少年自然の家の円滑な運営 を図る。	10人以内	学校関係者 青少年団体関係者 学識経験者	水戸市少年 自然の家条 例	生涯学習課
文化財保護審 議会	昭51.10.1	文化財の保存及び活用につ いて調査及び審議する。	10人以内	学識経験者 関係機関の役職員	水戸市文化 財保護審議 会条例	歴史文化財 課
博物館協議会	昭55.7.15	博物館の運営に関し、館長 の諮問に応ずるとともに、 博物館の行う展覧会等の行 事について、館長に建議す る。	15人以内	学校代表 社会教育関係者 学識経験者	水戸市立博 物館条例	歴史文化財 課
図書館協議会	昭55.3.28	図書館の運営に関し、館長 の諮問に応ずるとともに、 図書館の行う図書館奉仕に つき、館長に対して意見を 述べる。	15人以内	学校代表 社会教育関係者 学識経験者	水戸市立図 書館条例	中央図書館
教育支援委員 会	昭40.3.31	教育委員会の諮問に応じ、 障害児の適正な教育支援及 びこれに関わる必要な事項 について審議する。	22人以内	学校教育関係者 専門医師 児童福祉施設等職員 学識経験者	水戸市教育 支援委員会 条例	教育研究課
総合教育研究 所運営委員会	平6.4.1	総合教育研究所の適正かつ 円滑な運営を図る。	10人以内	学校関係者 学識経験者	水戸市総合 教育研究所 条例	教育研究課

名 称	設置年月日	設 置 目 的	組 織		設置規定	所管課等
			委員数	構 成		
市立小中学校 等教科用図書 審議会	平19. 4. 1	教科用図書の採択を適正かつ公平に行う。	14 人以内	学校関係者 学識経験者 保護者	水戸市立小 中学校等教 科用図書審 議会条例	教育研究課
いじめ問題対 策連絡協議会	平27. 4. 1	いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図る。	20 人以内	関係行政機関の職員	水戸市いじ め問題対策 連絡協議会 等の設置に 関する条例	教育研究課
いじめ問題調 査委員会	平27. 4. 1	いじめの防止等のための対策を実行的に行う。	10 人以内	関係行政機関の職員 学識経験者	水戸市いじ め問題対策 連絡協議会 等の設置に 関する条例	教育研究課

水戸市立小中学校及び義務教育学校・幼稚園・幼稚園型認定こども園・社会教育施設位置図



題字 吉澤 鐵之 先生

日展会員

現代書道二十人展メンバー

茨城県芸術祭美術展覧会副会長

本書の題字は、書家 吉澤 鐵之 先生に、
篆書の意を踏まえ、揮毫いただきました。

水 戸 の 教 育

令和6年度版

令和6年7月 発行

編集・発行

水戸市教育委員会事務局教育部教育企画課

水戸市中央1丁目4番1号

電 話 029 (306) 8672



みとちゃん